陳氏弟3万							<b>争</b> 份争未改	ТІШАХ										
事業コード		864			課コード	<u> </u>	0705		会計種別	一般会計				予算0	D種類	□政策    Ⅰ	□経常	■なし
1. 事業の	概要(PLAN)																	
		①事業名	基本事業							実施計画		O <b></b>	<b>●無</b>		②部課名	都市部・市街	ī地整備課	
		③事業主体	個別事業	公有地の		する法律に係る事務			)	位置づ ④対象地区		我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市	
/1\ <del>=</del> *** 100 ==		⑤事業期間	J			成14年度 ~				⑥担当職員		201/K 1		6 人	(換算人数		0.3 人)	
(1)事業概要		⑦事業費	総事業費			0 千円				当該(開始)	年度 (当			2,610 千円	(うち人件費	2,	610 千円)	
		(人件費含む)					0 .0 .				(変更	(後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		61002		プロジェクト の位置づけ	重点なし		基本計画地 計画への位		O	●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
(2)目的		施策目的・				利用を実現するため、 建築行為の適正な規制	都市計画法をはじめる	とする関係法令	や開発行為に	事業目					拡法」という。) と計画的に先行取		ち公共団体等が	道路、公園な
(2) 🖽 🗓		展開方向	○公拡法第			佳来11荷の適正な税制	・弱辱で進めより。			尹未口							- L + /	まなけ 中山ま
(3)事業内容		内容	・土地所有 方メートル 約の3週間 ると拡法第 ・土地所有	者は、届 以上、市 間優先的に ほ5条によ でまな、都	出の対象となる。 街化区域内の土均 我孫子市長に届り 買取りの協議を行 る申出	地5, 000平方メー け出なければならない 行うことができる。 所在する100㎡以上	に(都市計画施設の区域 - トル以上)を有償で記 い。地方公共団体等は、 の土地を地方公共団体	譲渡しようとす。 、当該土地の買	るときは、契 取りを希望す	当該年原 執行計[	要理しは、質動の表現では、質力を表現である。これでは、質力を表現である。これでは、質力を表現である。これでは、質力を表現である。	したときは 買取りの協 これは、届	、その日から 1 議を行う団体の	週間以内に地 決定若しくは	る者に対して随時 方公共団体等に交 に買取希望団体がイ から起算して2遅	けして買取希望の で存在であること	の有無を照会す とを届出者又は ように努める。 想定値	る。我孫子市: 申出者に通知
(4)達成目標(期	#待する成果)				達成日	目標(期待する成果)				指標種類			#	旨 標		単位	(5) 現況値	(6)目標値
当該年度	1117 (1707)			じりのため			・用地を計画的に取得	し、良好な都市	環境の計画的		bn TELIA	牛数/届出	件数、申出件数			%	100	
令和 3年度			よいまちづく	じりのため	に必要な道路、	公園、学校などの公共	・用地を計画的に取得	し、良好な都市	環境の計画的	直接	処理件	+数/届出	件数、申出件数	!		%		10
令和 4年度			よいまちづく	じりのため	に必要な道路、	公園、学校などの公共	共用地を計画的に取得	し、良好な都市	環境の計画的	直接	処理件	<b>牛数/届出</b>	件数、申出件数			%		10
		な整備を推進する	0															
(7)事業実施上の	の課題と対応									代替案検	討	O <sup>‡</sup>	頁 ●無					
			平成31:	年度		) 政	令和 2:			:		令和	3年度		政	令和	4年度	
(8) 施行事項	実施内容 費 用	策: 公拡法に基づく 事務	内容(届出書、申	出書に係る		策	内容		0		公拡法に基づく 事務	内容容		金額(千円)	策	内 容性の おいまい ちんかい おいかい おいかい おいかい かいかい おいかい おいかい かいかい おいかい かいかい かいかい おいかい かいかい ない かいかい ない ない かいかい かいかい かいかい かいかい ない ない かいかい ない ない ない かいかい ない かいかい かい	申出書に係る	金額(千円)
-	予算(決算)額	4	s 計			0	合 計		0	0	4	合 計			0	合 計		
(9)財源内訳 -	国庫支出金 県支出金 起債 一般財源 その他の財源	補助率 補助率 充当率 □特会 □受		0 % 0 % 0 % Iその他		0 補助率 0 補助率 0 充当率 0 □ □特会 □受	0 % 0 % 0 % ±益 □基金 □その他		0 0 0 0	0 補 0 補 0 充 0	i助率 i助率 5当率 □特会 □受		0 % 0 % 0 %			□受益 □基金	0 % 0 % 0 % □その他	
(10) 人件費等	換算人数(人) 正職員人件費				0. 2, 64	40		2	, 610	0. 3 2, 610				0. 2, 6	10			0. 3 2, 610
	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額					0			0	0					0			(
(11)単位費用	(1)額+正職員人件費)		880千円	1/性	2, 64	40	326.25千円/件	2	, 610	2, 610 326, 25				2, 6	10			2, 610
	活動結果指標) <b>評価 (DO+CHECK</b> )	<u> </u>	000 111	12 11			020.20 1117 11			020.20								
	西項目	<u> </u>			市	前評価					<b>*</b>	26. ≅π	压 (部压结用)-	・広じ 事業を		· )		改善検討
nT II		法に基づき、道路	、公園などの	)公共施設				必要がある。	•	①事前確認での		12 aT	四 (計画和末)	-心し、以音系	(現代) (地元で古代	, ,		以音快的
	今必要である理由・ ? (事業の必要性)								<b>&lt;</b> 천	定どおりとし	の想定どおりて た理由/想定 詳進に関する法	どおりでな	なかった原因>					 ○要 ●不要
必 要 性 (2) 市が実施	施する必要性は	口その他	で市が実施す 体が市しかな	ることが	定められている	くその他の内容				②市が主導で ③市が先導役 促進された ④市の支援が	進めなければ実 となったことで 政策・施策の目	実効性がな で市民へ普 目標の実現	及が一層		⑤の具体的な内容・ ○拡大の推進に関す			0.#
あるか, (市実施	? 西の必要性)	サービ 口市が支 実現が	導で進めるこ 施・提供する スが保証され 援することに 図られる	ことにより ことによ いる							準が確保された 安定供給基盤か		.tc					○要 ●不要 ——
		<u>□その他</u>	参加・協働	動の内容			工夫の具体的な内	容			ロ・協働の具体 動が考えられる				参加・協	3働の程度・内容	<b>?</b>	
参加・協働の工夫していて、		○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ●⑥その他	こ市民の参画 こ市民の参画 内な活動と連	有り 有り 携している	3				該当	多加・励性	~~~ <del>-3</del> √ <del>-</del> 24 † 6	<u>gi ⊒ (~ lo</u> k	、·//13百/	●②当: ○③当:	初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理	里由/期待以下 <sup>-</sup>	であった原因>	○要 • ●不要
夫		くその他の内容>				I												
			配慮の	祖占			取組む内容				実施した具体	おかか中空			T.000 .1	境への配慮		
環境に配慮いるか?	覚して事業を進めて	□①自然環境を生 □②生き物と共存 □③手賀沼を意韻 □④環境負荷低源 ■⑤その他	Eかしている 字している 戦している				収益で内谷		該当	4なし	<b>美胞した具体</b>	주어상면4		0②想:	定じおり 定どおりでなかっ ごおりでなかった原	<i>t</i> =		○ 要 ● 不要
慮		< その他の内容>																
		対象なし											-A					
		現況値(a)(%)	目標値(b	o) (%)	■①変組めたご	目標値の妥 ータ・事実に基づき	会当性のチェック 設定している				成状況 達成率(	(%)	●①目標値達成 ○②目標値未返			<del>_</del>		
(1)目標設定	定は適切か?	100	100		□②現況値と比 □③現況値との □④適当な比較	ベ実現性が乏しい値 差が小さい値ではなり 対象が有る場合、比	ではない	値(と現況値の)		E績値(f)(%) 100	连风华(f/b×1	100)	<目標を達成し 適切に事務を行		成となった原因>	•		—— ○要 ●不要
		対策実施によ	る事業費削	減	同等の水準		予定の対策			実			〇①想定事業費		事業	費の削減対策に	こついて	
δh		事業費(c)(千円)	事業費削減	或額 (d)	□①国・県助成 ■②現有体制で	制度活用	□⑤PFI等民 □⑥受益者負担		実終	責値(g)(千円)	- 対車業費		●②概ね想定 ○③想定事業		●①事前の想			
	削減の工夫をして	2, 610	30			の削減策の実施	口⑦その他			2, 610	100					!走こおりでなか		O要
性			  削減率(%)     14		□(4)氏間安託 <削減の内容>				< b	超過理由等>	1	J			〜応化⊂のり自	<i>∵™~ (cuti</i> )707	_ <i>D</i> Y (C) /	●不要
			目標値対事業	<b>業費 (e)</b>			計算方法			達	成状況		〇①目標値以		 標値以上となった	:理由/目標値以	J下であった原	因>
	を実現する為に 事業費は適正か?  捜用)	3. 83		単位	費用単位		: 目標値×費用単位/ 票: (目標値-現況値)		業費	実績値(h)	対目標値 (h/e) ×	100	●②目標値と同 ○③目標値以下					〇要 ●不要
3. 事後評	佈									3. 83	100							
3. 事後評値		○縮小	〇結合	〇休止	〇廃止	○事業手法見直し	○その他(事業完	てなど)										
				評価コ	メント	こ。不」四元旦し	ン、ツ心、尹木兀	/					改善贫	<b>策及び展開方</b> に	ā			
評 本事業は、	法令に基づく必要を	不可欠なものである	ため、今後も	ら現状通り	推進していく。													

				事務事										
事業コード	865		課コード	0705	숲함	種別 一般	设会計			予算の	種類 □	]政策	□経常	■なし
1. 事業の概要(PLAN)														
	①事業名	基本事業					証計画への	_	有 ●無	6	2)部課名	都市部・市行	打	
				也売買等届出書に係る事務			位置づけ							
	③事業主体 ⑤事業期間	O市 ●そ	の他(			) ④対象	を地区  4職員数	□我孫子	□天王台 [	□湖北 6 人	□新木  (換算人数	□布佐	●全市 0.3 人)	
(1)事業概要	⑦事業費		十八八					(当 初)	2, 6	10 千円	(うち人件費	2	(,610 千円)	
	(人件費含む)	総事業費		0 千円		当該	(開始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策	61002	重点プロジェクト	重点なし		計画地区別		)有 ●無		部門別計画への	(計画名)		
		コード 無秩序な開発を防	止し、滴正な土地利用	への位置づけ への位置づけ 目を実現するため、都市計画法をは	まじめとする関係法令や開発		への位置づけ		法に基づき、一定規模	草の土地取	位置づけ 引については、都	道府県知事に	届出なければな	らず、都道府
(2)目的	施策目的· 展開方向			楽行為の適正な規制・誘導を進め a			業目的		応じて助言や勧告を行					, HE
				㎡、市街化調整区域5000㎡以」 約の日から起算して2週間以内に国					て、届出をしよとす。 届出に係る土地の規制					
		て千葉県知事に届	出なければならない。			<b>*</b>	<b>i該年度</b>	台で雑誌し、	田山に旅る土地の焼り	可仏が守に	ノい (忌兄音で1)	して、延滞な	く景に区凹する	0
(3) 事業内容	内 容	・中は、油田を安	埋したとざは、自該加	<b>届出の内容について意見書を付して</b>	. 、 遅滞なく 十美県に 达付 9	「る。   野	九行計画							
						<u> 11</u>	 á該年度	土地売買等届	出書の送付件数。				想定值	
							劫結果指標					単位	件 実績値	;
(4)達成目標(期待する成果)	足山地を含む田辺	の地域の溶正かっ合		票(期待する成果) るために、著しい支障があるかを署	マネナス ための音目書 たエ	· 旧 · 如 · 車	f標種類 	加理此类/十4	指	標		単位	(5) 現況値	(6)目標値
当該年度 ————————————————————————————————————	に送付する。			るために、著しい支障があるかを覆		<b>年月 477 市</b>	直接					%	100	10
令和 3年度 ————————————————————————————————————	に送付する。						直接		b売買等届出件数 			%		10
令和 4年度	に送付する。	の地域の過止かっ合	理的な工地利用を凶・	るために、著しい支障があるかを署 	≨盆9句にめの息見書を干♪ 	<b>长</b> 県知事	直接	処理件数/工工	b売買等届出件数 ————————————————————————————————————			%		10
(7)事業実施上の課題と対応						代	替案検討		)有 ●無		_			
		平成31年度		4	令和 2年度			- 令	和 3年度			令和	4年度	
	政	内容	金額(千円)	政 内 容		決算額(千円)	政			金額(千円)	政	内 容	- 1 2	金額(千円)
		〈土地売買等届出書に		東 国土法に基づく土地売買等届				に基づく土地売					等届出書に係	
	事務		0	る事務	0		る事務	•			る事務			(
実施内容														
(8) 施行事項 費 用														
予算(決算)額 国庫支出金	補助率	<b>⇒ 計</b> 0 %	0		0 % 0	0		合 計	0 %		) 補助率	合 計	0 %	(
県支出金	補助率	0 % 0 %	0	補助率	0 % 0 0 % 0	0	補助率		0 % 0 %		0 補助率 0 充当率		0 % 0 %	(
(9) 財源内訳 一般財源 その他の財源		益 口基金 口その他	0		0	0		会 口受益 口基:		1	0	□ 受益 □ 基金		(
換算人数(人)			0. 3 2. 640		0. 3 2. 610	0. 3 2. 610		五 口文皿 口坐。		0. 2, 61	3			0. 3
(10) 人件費等	Ą		0		0	0					0			. (
│ 臨時職員賃金額 事業費(予算(決算)額+正職員人件			0 2, 640		0 2, 610	2, 610				2, 61	0			2, 610
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		660千円/件		326. 25千円	/件	870								
2. 事業の評価(DO+CHE	CK)													
評価項目			事前	方評 価				事 後 評	価(評価結果に応	じ、改善案	検討(拡充も含む	·) )		改善検討
		規模以上の土地売買 言や勧告を行う必要		、市を経由して千葉県知事に届出た	ょければならず、千葉県知 <b>雲</b>		推認での想定 推認での想定	?どおり ?どおりでなかっ	t:					
(1)事業が今必要である理! 背景は?(事業の必要性						<想定どお	りとした理E	由/想定どおりで	でなかった原因>					O要 ●不要
1,3,000 (7,3,000,20,20,20,20,20,20,20,20,20,20,20,20						国土利用計								
is i		NPO、市民団体等でで市が実施すること		<その他の内容>				、市民団体等で ければ実効性が	は実施できなかった なかった		の具体的な内容・ 計画法第23条によ		>	
要		体が市しかない	10 AC 03 3 10 C C C				E導役となっ	たことで市民へ			ar mayareyer eo.	•		
性 (2)市が実施する必要性は		る市が推進すべきでよ	: 7	くるの性の中容と		□④市の支	を援が政策・	施策の目標の実	現に貢献した					O.#
あるか? (市実施の必要性)	(理由) 口市が主	導で進めることによ	り実効性が得られる	くその他の内容> ,		ローロード		ほなれた は給基盤が確保さ	れた					〇要 ●不要
.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	サーヒ	スが保証される	より、良質で安定した	rc		□⑦その他 <その他のI								
	実現か	援することにより政 図られる	策・施策の目標の											
	□その他	参加・協働の内容	1	工夫の具体	的な内容			働の具体的な内			去 hn . th	働の程度・内	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		こ市民の参画有り		上大の具体	4 area in a fair	参加 該当なし	・協働が考	えられる場合に	はその内容)		別期待した以上	別の住及 * 内	='	
参加	〇②事業実施時	こ市民の参画有り こ市民の参画有り								●②当初	別期待したとおり 別の期待以下			
・ 市民の参加や市民との協働 協 工夫しているか?		内な活動と連携してい	いる								た以上となった理	由/期待以下	であった原田へ	○要 ●不要
協働 エ夫しているか? (体制づくり)	●⑥その他	- , c A // ii								\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		MITAL		J.1.2
*	<その他の内容> 対象なし			1										
	7138.0				do sin				÷					
	□①自然環境を	配慮の視点 生かしている		取組む	八谷	該当なし	実施	した具体的な内	<del>首</del>	●①想定		での配慮		
	口②生き物と共口②毛架辺を音	字している									ことおりでなかっ; さおりでなかっ;	Ė		
境 へ いるか? いるか? 記 慮		載に貢献している								<想定ど	おりでなかった原	因>		 ○ 要 ● 不要
電						_								0.1.2
	<その他の内容> 対象なし													
		目標値(b)(%)		目標値の妥当性のチェック	7		達成状況	₹	●①目標値達成					
	現況値(a)(%)	日保险(0)(///		タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない		実績値(f)	) (%)	達成率(%) (f/b×100)	〇②目標値未達成					O要
(1)目標設定は適切か?	現況値(a)(%)	日孫但切八切				100		100	く目標を達成した 適切に事務を行った		<sub>以となった原因&gt;</sub>			●不要
(1)目標設定は適切か?	現況値 (a) (%)	100	□③現況値との差		る目標値(と現況値の差) し	100		100						1
(1)目標設定は適切か?	100	100	□③現況値との差	象が有る場合、比較対象例におけ ある	る目標値(と現況値の差)と 		ch #= 1 h +=		○①相定重拳曲+	満		井の坐がまれ	-01	
(1)目標設定は適切か?	100	100 よる事業費削減 事業費削減額(d)	□③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F	I 等民間資本の活用	宝结床/-\\		対事業費(%)	○①想定事業費未 ●②概ね想定事業 ○③相定事業費級	費以内	●①事前の想			
9	100 対策実施に 事業費(c)(千円)	100 よる事業費削減 事業費削減額(d) (千円)	□③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費の	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥受益:	I 等民間資本の活用 者負担	実績値(g)(	(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		費以内	●①事前の想 ○②事前の想	定どおり 定どおりでな;	かった	
効 (2)事業費削減の工夫をし いるか?	100 対策実施に 事業費(c)(千円) C 2,610	100 よる事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 30	□③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制での	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥受益:	I 等民間資本の活用 者負担	実績値(g)( 2,610 <起過理由	(千円)	対事業費(%)	●②概ね想定事業	費以内	●①事前の想	定どおり 定どおりでな;	かった	 ○要 ●不要
効 (2)事業費削減の工夫をし	対策実施に 事業費(c)(千円) 2,610 事業費	100 はる事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 30 削減率(%)	□③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制で □③34持管理費の □④民間委託	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥受益:	I 等民間資本の活用 者負担	2, 610	(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●②概ね想定事業	費以内	●①事前の想 ○②事前の想	定どおり 定どおりでな;	かった	
効 (2)事業費削減の工夫をし いるか?	対策実施に 事業費(c)(千円) 2,610 事業費	100 よる事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 30	□③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制で □③34持管理費の □④民間委託	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥受益:	I 等民間資本の活用 者負担	2, 610	(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●②概ね想定事業	費以内	●①事前の想 ○②事前の想	定どおり 定どおりでな;	かった	
効 (2)事業費削減の工夫をしいるか?	対策実施に 事業費(c)(千円) 2,610 事業費	100 はる事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 30 削減率(%)	□③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託 <削減の内容>	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益・ 削減策の実施 □⑦その付	I 等民間資本の活用 者負担 他	2, 610	等>	対事業費(%) (g/c)×100 100	●②概ね想定事業 ○③想定事業費超 ○①目標値以上	費以内過	●①事前の想 ○②事前の想	定どおり 定どおりでな; 減できなかっ	かった	●不要
物 (2) 事業費削減の工夫をしいるか? (3) 目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か	100 対策実施に 事業費(c)(千円) 2,610 事業費(	100  本る事業費削減  事業費削減額(d) (千円) 30  削減率(%)  .14  目標値対事業費(e) 単位	□③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費 ○●・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益・ 削減策の実施 □⑦その付	I 等民間資本の活用 者負担 他 性 生 単位/事業費	2, 610	等>	対事業費(%) (g/c)×100 100	●②概ね想定事業 ○③想定事業費超	費以内過	●①事前の想 ○②事前の想 <想定どおり削	定どおり 定どおりでな; 減できなかっ	かった	●不要
効 (2)事業費削減の工夫をしているか?  (3)目標値を実現する為に	対策実施に 事業費(c)(千円) て 2,610 事業費	100  本る事業費削減  事業費削減額(d) (千円) 30  削減率(%)  .14  目標値対事業費(e) 単位	□③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費 ○●・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益・ 削減策の実施 □⑦その何 計算方法	I 等民間資本の活用 者負担 他 性 生 単位/事業費	2,610 <超過理由	等> 達成状況	対事業費 (%) (g/c) × 100 100 100 元 対目標値 (%)	●②概ね想定事業 ○③想定事業費超 ○①目標値以上 ●②目標値と同程	費以内過	●①事前の想 ○②事前の想 <想定どおり削	定どおり 定どおりでな; 減できなかっ	かった	●不要
物 (2) 事業費削減の工夫をしいるか? (3) 目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か	100 対策実施に 事業費(c)(千円) 2,610 事業費(	100  本る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 30  削減率(%) .14  目標値対事業費(e) 単位	□③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託 <削滅の内容>	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益・ 削減策の実施 □⑦その何 計算方法	I 等民間資本の活用 者負担 他 性 生 単位/事業費	2,610 <超過理由	等> 達成状況	対事業費 (%) (g/c) × 100 100 100 で 対目標値 (%) (h/e) × 100	●②概ね想定事業 ○③想定事業費超 ○①目標値以上 ●②目標値と同程	費以内過	●①事前の想 ○②事前の想 <想定どおり削	定どおり 定どおりでな; 減できなかっ	かった	■不要
物 (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か(目標対費用)	対策実施に 事業費(c)(千円) 2,610 事業費(	100  本る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 30  刺減率(%) .14  目標値対事業費(e) 単位 %	□③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託 <削減の内容> 費用単位 10万円	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥ 受益 削減策の実施 □⑦ その付 計算方法 ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値-5	I 等民間資本の活用 者負担 他 性 生 単位/事業費	2,610 <超過理由	等> 達成状況	対事業費 (%) (g/c) × 100 100 100 で 対目標値 (%) (h/e) × 100	●②概ね想定事業 ○③想定事業費超 ○①目標値以上 ●②目標値以下	費過 <目	●①事前の想 ○②事前の想 <想定どおり削 素値以上となった	定どおり 定どおりでな; 減できなかっ	かった	●不要
数 (2)事業費削減の工夫をしいるか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か(目標対費用) 3.事後評価	100 対策実施に 事業費(c)(千円) 2,610 事業費 2 3.8	100   本る事業費削減   事業費削減額 (d) (千円)   30	□③現況値との差□④適当な比較対同等の水準で □①国・県助成制■②現有体制での□③維持間委託 <削減の内容>  費用単位 10万円  ○廃止  ○外止  ○外に  ○の応止  ○の応止  ○の応止	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥ 受益・ 削減策の実施 □⑦ その付 計算方法 ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値-5	I 等民間資本の活用 者負担 他 生 生 単位/事業費 現況値)×費用単位/事業費	2,610 <超過理由	等> 達成状況	対事業費 (%) (g/c) × 100 100 100 で 対目標値 (%) (h/e) × 100	●②概ね想定事業 ○③想定事業費超 ○①目標値以上 ●②目標値以下	費以内過	●①事前の想 ○②事前の想 <想定どおり削 素値以上となった	定どおり 定どおりでな; 減できなかっ	かった	●不要
効 (2)事業費削減の工夫をしいるか?  (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か(日標対費用)  3.事後評価  ●現状どおり推進 ○拡	100 対策実施に 事業費(c)(千円) 2,610 事業費 2 3.8	100   本る事業費削減   事業費削減額 (d) (千円)   30	□③現況値との差□④適当な比較対同等の水準で □①国・県助成制■②現有体制での□③維持間委託 <削減の内容>  費用単位 10万円  ○廃止  ○外止  ○外に  ○の応止  ○の応止  ○の応止	象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥ 受益・ 削減策の実施 □⑦ その付 計算方法 ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値-5	I 等民間資本の活用 者負担 他 生 生 単位/事業費 現況値)×費用単位/事業費	2,610 <超過理由	等> 達成状況	対事業費 (%) (g/c) × 100 100 100 で 対目標値 (%) (h/e) × 100	●②概ね想定事業 ○③想定事業費超 ○①目標値以上 ●②目標値以下	費過 <目	●①事前の想 ○②事前の想 <想定どおり削 素値以上となった	定どおり 定どおりでな; 減できなかっ	かった	●不要

<b>录式第3号</b>				争務争	<b>莱評価表(</b> 令	11 2年度)							
事業コード	866		課コード	0705	会計	種別 一般会計			予算(	の種類	〕政策 [	□経常   Ⅰ	■なし
1. 事業の概要(PLAN)													
	①事業名	基本事業				実施計画~	<b>、</b> の	○有 ●無		②部課名	都市部・市街	抽救儘钾	
			宅地開発事業是正指導	事務		位置づけ	7						
	③事業主体 ⑤事業期間	●市 O·	その他(	~		<ul><li>④対象地区</li><li>⑥担当職員数</li></ul>	□我孫子	- □天王台		□新木 (換算人数	□布佐 (	■全市 0.95 人)	
(1)事業概要	⑦事業費					0,122,111,111	(当 初)	8	8,265 千円	(うち人件費		265 千円)	
	(人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始)	年度 (変更後)	8	8,357 千円	(うち人件費	8,	265 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	61002	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし	基本計画地計画への位置		○有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
	施策目的・	無秩序な開発を		 用を実現するため、都市計画法を(		行為に	・市内で行	われた都市計画法に	違反する宅地		┃   ┃ 背導を推進し、昇	早期是正を図る。	
(2)目的	展開方向	関する条例等に	基づき、開発行為や建	築行為の適正な規制・誘導を進める	ます。	事業目的	・違反宅地	開発事業を未然に防	止する。				
				同法第43条第1項本文の許可処タ 反宅地開発事業者に対して、是正打		れらの		して、定期的な宅地 パトロール等により					
		・違反宅地開発	事業を未然に防止する	ため、必要な措置を講じる。		当該年度 執行計画		,					
(3)事業内容	内 容												
						当該年度	ŧ   '	発事業の是正件数			単位	想定值件	
(A) \t A = IZ (H) (4 \ L \ A \ B \ B)			V+ - A - D - I	(T. (H) (1. 1. 7. N. T.)		活動結果指		116				実績値	(0) = 1=1
(4)達成目標(期待する成果) 当該年度	違反宅地開発事業	の是正を図る。	達成日本	標(期待する成果)		指標種類 直接	是正件数	指	標		単位	(5) 現況値	(6)目標値
	違反宅地開発事業	の是正を図る。					是正件数					0	
令和 3年度	違反宅地開発事業					直接	是正件数				件		
令和 4年度 			道において 籾市計画	法の目的、制限等を的確かつ論理	めに指道できるよう職員の答	直接	ZETI W				件		
(7) 事業実施上の課題と対応				スの目的、制成等を的確かり調達 の広報及びホームページを活用した。		代替案検	討	○有 ●無					
		平成31年度		,	令和 2年度		,	<b>令和 3年度</b>	L		令和	4年度	
	政策	内 容	金額(千円)	政 内 容	予算額(千円)	決算額(千円) 政策	内	容	金額(千円)	) 政	内 容		金額(千円)
	違反宅地開発	事業是正指導に係る	5事務 0	違反宅地開発事業是正指導に 表示板設置委託料	·係る事務 0 92	89 1 1	建反宅地開発事業是.	正指導に係る事務		0 違反宅地開	発事業是正指導	算に係る事務	
				· 农小似改巨安癿村	32	09							
実施内容													
(8) 施行事項 費 用													
7 Mr (14 Mr) 44		A =1		0 5	00	00	^				A =1		
予算(決算)額 国庫支出金	補助率	<u> </u>		補助率	92 0 % 0		助率	0 %		0 補助率	合 計	0 %	
県支出金 (9) 財源内訳 起債	補助率 充当率	0 9	6 0	充当率	0 % 0 0 % 0	0 充	助率 当率	0 % 0 %		0     補助率       0     充当率		0 % 0 %	
一般財源 その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口その作		□特会 □受益 □基金 □		89	□特会 □受益 □	基金 □その他			□受益 □基金	□その他	
(10) 人件費等 煙缸 大田			0. 95 8, 360		0. 95 8, 265	0. 95 8, 265			0. 9 8, 20				0. 9 8, 26
嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額			0		0	0				0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費 (11)単位費用	<b>b</b> )		8, 360		8, 357	8, 354			8, 2	65			8, 26
(事業費/活動結果指標)	210	1,672千円/件	-	1, 671. 4 <del>千</del> F	4/件	4, 177							
2. 事業の評価(DO+CHEC	JK)					1							
評価項目	注に其づ/ 車 敬加	理古レーケ 惣古		前 評 価 開発事業の是正指導を推進するこ。	とは、適正な土地利用を実現	<ul><li>●①事前確認での</li></ul>		評価(評価結果に	応じ、改善家	を検討(拡充も含む 	3))		改善検討
(1)事業が今必要である理由	するために必要不		们画丛に座及り の七地	ガルデ来の足工指導とほどすること	こは、過止な工心が用と大切		D想定どおりでなか	った					〇要
背景は?(事業の必要性)							た理由/想定どおり						— ●不要
	<b>▲</b> ①□Ⅲ△₩ <b>&gt;</b>	150 TRE	**************************************	<b>ノスの性の中</b> 南へ			第1節及び第6章によ		* /+++	t 0 8 4 4 4 4 4 5	<b>ツ亜性の四十</b> ン		
必	(理由) ■法令等	で市が実施するこ	手では実施できない とが定められている	くその他の内容>		□②市が主導で進	<b>進めなければ実効性</b>			極の具体的な内容・ 画法第3章第1節及び		>	
要	□提供王□その他	体が市しかない				促進された	となったことで市民						
性 (2) 市が実施する必要性は あるか?		る市が推進すべきて		<その他の内容>		□⑤サービス水準							O要
(市実施の必要性)			より実効性が得られる により、良質で安定し			□⑥サービスのst □⑦その他	安定供給基盤が確保	された					●不要
		スが保証される 援することにより	政策・施策の目標の			<その他の内容>							
	実現が □その他	図られる											
	200	参加・協働の内	容	工夫の具体	的な内容		]・協働の具体的な▷ カが考えられる場合↓			参加・協	働の程度・内容	<b>?</b>	
参	〇①事業計画時(I					該当なし	ったり46の場合	o ( V/ 7 位 /		初期待した以上 初期待したとおり			
参   加   ・ 市民の参加や市民との協働る	○③管理・運営!	こ市民の参画有り	7117							初期付したとおり 初の期待以下			
協 工夫しているか? (体制づくり)	〇⑤市民と共同で	りな活動と連携して で事業を実施	. v⊘						<期待し	した以上となった理	B由/期待以下で	であった原因>	○要 ●不要
大	●⑥その他					_							
	<その他の内容> 対象なし												
		配慮の視点		取組む	内容		実施した具体的な「	内容		環均	竟への配慮		
<b>7</b> ==	□①自然環境を生 □②生き物と共存					該当なし				定どおり 定どおりでなかっ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
環   境   環境に配慮して事業を進めて へ   環境に配慮して事業を進めて	口②手架辺太音器	載している								どおりでなかった原			
境 へ いるか? 記慮 慮	□④環境負荷低湯	~~~ 名声へ している							\心压	- *** / くゆかうだり	· EII /		● 不要
慮	くその他の内容>			ı		1							
	対象なし							1000000					
	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)		目標値の妥当性のチェック -タ・事実に基づき設定している	7		成状況 ┃  達成率(%)	<ul><li>○①目標値達成</li><li>●②目標値未達</li></ul>					
(1)目標設定は適切か?	0	5	口②現況値と比べ	ジェ事業に盛って設定している ジ実現性が乏しい値ではない きが小さい値ではない		実績値(f)(件)	(f/b×100)			成となった原因>			────────────────────────────────────
		3	□④適当な比較対	対象が有る場合、比較対象例におけ	る目標値(と現況値の差)と	2	40	違反宅地開発事	業者に対し、	都市計画法の趣旨 関解・協力が得られ	及び制限の内容	<b>序等を説明し、自</b>	当ら ●小妥
	対策実施によ	    よる事業費削減	同等の水準で	: ある 実施予定の対策		実施		〇①想定事業費	<b>是未満</b>		費の削減対策に	ついて	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d (千円)	<ul><li>□①国・県助成制</li><li>■②現有体制での</li></ul>		I 等民間資本の活用 者負担	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<ul><li>●②概ね想定事</li><li>○③想定事業費</li></ul>		●①事前の想 ○②事前の想	定どおり 定どおりでなか	いった	
かわ	8, 357	3	□③維持管理費の □④民間委託			8, 354	99. 96	7			)減できなかっ <i>t</i>		O要
× (2)事業費削減の工夫をして		   減率(%)	<削減の内容>			<超過理由等>	1			- へ心たこのり目	.m. くとはかつ1	-m 🖾 /	●不要
率 (2)事業費削減の工夫をして いるか?	事業費削												
率 (2)事業費削減の工夫をして いるか?		04	1										
率 (2)事業費削減の工夫をして いるか?	0	. 04							1		1		
性 (3)目標値を実現する為に	0	目標値対事業費(e		計算方法 ●①単年度の指揮·日標値×雰田			成状況 ▼ 対日堙値(%)	<ul><li>○①目標値以上</li><li>○②目標値と同</li></ul>	程度 違反	標値以上となった 宅地開発事業者に	対し、都市計画	三法の趣旨及び制	制限 ○亜
率 (2)事業費削減の工夫をして いるか? 性	0	目標値対事業費(e	位費用単位	計算方: ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値→要	単位/事業費	達原 実績値(h)	或状況 対目標値(%) (h/e)×100		同程度 違反 の内		対し、都市計画 ら是正するよう	三法の趣旨及び制	制限
率 (2)事業費削減の工夫をしているか?性 (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か?	0	目標値対事業費(e	位費用単位	●①単年度の指標:目標値×費用	単位/事業費		対目標値(%)	─ ○②目標値と同	同程度 違反 の内	宅地開発事業者に 日容等を説明し、自	対し、都市計画 ら是正するよう	三法の趣旨及び制	制限 〇要
率 (2)事業費削減の工夫をしているか?性 (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か?	0	目標値対事業費(e	位費用単位	●①単年度の指標:目標値×費用	単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	─ ○②目標値と同	同程度 違反 の内	宅地開発事業者に 日容等を説明し、自	対し、都市計画 ら是正するよう	三法の趣旨及び制	制限 〇要
率 (2)事業費削減の工夫をしているか?性性 (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用)	0.06	目標値対事業費(e	位 費用単位 : 10万円 止 〇廃止 (	●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値-型	単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<ul><li>○②目標値と同</li><li>●③目標値以下</li></ul>	同程度 違反 の内 ・協	宅地開発事業者に 日容等を説明し、自 日のお得られていな	対し、都市計画 ら是正するよう	三法の趣旨及び制	制限 〇要
本 (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	0.06	目標値対事業費(e	位 費用単位 10万円 C廃止 (価コメント	●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値-型	単位/事業費 現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<ul><li>○②目標値と同</li><li>●③目標値以下</li></ul>	同程度 違反 の内	宅地開発事業者に 日容等を説明し、自 日のお得られていな	対し、都市計画 ら是正するよう	三法の趣旨及び制	制限 〇要

事業コード								2年度								
	867		罰	果コード	0705		会計種別	一般	会計			予算(	の種類 [	□政策	□経常	■なし
1. 事業の概要(PLAN)																
	①事業名	基本事業							計画への	0	有 ●無		②部課名	都市部 · 市	<b>市街地整備課</b>	
					こ基づく建築証明事務				置づけ				0.1, 2.1			
	③事業主体 ⑤事業期間	●市	〇その他				)	④対象: ⑥担当!		□我孫子	□天王台	□湖北 6 人	□新木 □ (換算人数	□布佐	●全市 0.45 人)	
(1)事業概要	⑦事業費	40 主 # #								(当 初)		3,915 千円	(うち人件費		3,915 千円)	
	(人件費含む)	総事業費			0 千円			当該(「	開始) 年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		かり かまり かん かんしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ		61002	重点プロジェクト への位置づけ	重	点なし		·画地区別 の位置づけ	0	有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
	## D #		発を防止し、	適正な土地利用	用を実現するため、都市計画法を	 はじめとする関	系法令や開発行為に		が 位 で つい		すを受けようとす	 る者に対して	で、建築基準法に基	づく確認申	 清の際に必要とな	る都市計画法
(2)目的	施策目的 · 展開方向				<b>楽行為の適正な規制・誘導を進め</b>				業目的				2第1項等の規定に			
					2第1項に基づき、確認済証の交			ŧ					とときは、適正な其	間内で速や	かに審査を行い、	内容が適合し
		42条、4	3条第1項0	の規定に適合して	2 9条第1項若しくは第2項、第 ていることを証する書面が必要と	なる場合がある	とから、都市計画		該年度	いるものについ	<b>いて証明書を交付</b>	90.				
(3) 事業内容	内 容	法施行規則		より、法第29第	条第1項等に適合する旨の証明書	を催認済証の交	すを受けよっとする	(執行	行計画							
								74	該年度	証明書の交付作	‡数				想定值	
									k年及 結果指標					単位	立 件 実績値	
(4)達成目標(期待する成果)			10-1		票(期待する成果)			指	漂種類			旨 標		単位	位 (5)現況値	(6)目標値
当該年度	都市計画法施行規							ī	直接		+数/申請件数)			%	100	10
令和 3年度	都市計画法施行規							Ī	直接		+数/申請件数)			%		10
令和 4年度	都市計画法施行規	見則第60条の	規定に基づる	き、適正な期間で	で交付する。			Ī	直接	証明率(証明体	‡数/申請件数)			%		10
(7)事業実施上の課題と対応								代替	案検討	0	有●無					
		₩ c#21.4	左阵			△和 0左座		'''			0 3年度		$\overline{}$		和 4年度	
	政	平成31年 内 容	午及	金額(千円)	政 内 容	令和 2年度	算額(千円) 決算	香(エ四)	政	内 容		金額(千円)	) 政			金額(千円)
	策! 建築証明に係			並領(117)	策・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一	Ir	0	泉(117)	策!	明に係る事務	•	並領(11)	/ 策: 0 建築証明に		<del></del>	並領(111)
実施内容																
(8)施行事項 費 用																
予算(決算)額	1	合 計		0	合計		0	0		合 計			0	合 計		
国庫支出金県支出金	補助率		0 %	0	1111 12 1	0 %	0	0	補助率 補助率		0 % 0 %		0 補助率 0 補助率		0 % 0 %	
(9) 財源内訳 起債 一般財源	充当率		0 %	0	充当率	0 %	0	0	充当率		0 %		0 充当率		0 %	
その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口	その他	0, 35	□特会 □受益 □基金 □	その他	0 0.45	0	□特会	会 口受益 口基金	〕□その他		0 □特会[	□受益 □基金	金 口その他	(
換算人数(人) 正職員人件費				3, 080			3, 915	0. 45 3, 915				0. 3 3, 0	45			0. 3 3, 04
鳴託噸貝報酬 臨時職員賃金額	i			0			0	0					0			(
事業費(予算(決算)額+正職員人件 (11)単位費用	費)	385千円/	Z I#	3, 080	783千円.	/#	3, 915	3, 915 978, 75				3, 04	45			3, 04
(事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価(D0+CHE		2007-17	/ I <del>T</del>		/00TH	✓ 1†		970.75								
	UN)															
評価項目	<b>注に其づく車務</b> が	1.理市として	建筑磁钢溶影		〕 評 価 ようとする者に対して、都市計画	<b>辻</b> 第 2 Q 冬 第 1	1年の担定に ■	① 車 前 確 :	認での想定。		価(評価結果に	応じ、改善第	案検討(拡充も含む 	3))		改善検討
(1)事業が今必要である理E	適合していること				メノと する台に対して、 部川 計画	ム おとり 木 お 1				どおりでなかった	Έ					
背景は?(事業の必要性	1 1			5,2.1. 0, 0,			C	(2)事前確認								
							<:	見定どおり		自/想定どおりで	なかった原因>					 ●不要
								想定どおり 計画法第	3章第1節に	こよる。				V## 0.77	1.	
必	●①民間企業、 (理由) ■法令等	で市が実施す	ることが定め	施できない	<その他の内容>		<br 都ī	思定どおり 計画法第 ①民間企業 ②市が主	33章第1節に 業、NPO、 導で進めない	こよる。 、市民団体等でに ければ実効性がな	は実施できなかっ なかった		<b>もの具体的な内容</b> 画法第3章第1節によ		由>	
必 要	●①民間企業、 (理由) ■法令等	で市が実施す E体が市しかな	ることが定め	施できない	<その他の内容>		<br 都ī	思定どおり 計画法第 ①民間企業 ②市が主	33章第1節に 業、NPO、 尊で進めなり 尊役となった。	こよる。	は実施できなかっ なかった				由>	
要性 (2) 市が実施する必要性は	●①民間企業、 (理由) ■法令等 □提供3	手で市が実施す E体が市しかな b	ることが定め :い	施できない	<その他の内容>		< < < < < < < < < < < < < < < < < < <	思定どおり 市計画法第 ①民間企業 ②市が主意 のでである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 ので。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 。 ので。 ので	33章第1節に 業、NPO、 尊で進めな! 尊役となっ? れた	による。 、市民団体等では ければ実効性がが たことで市民へ音 施策の目標の実理	は実施できなかっ なかった 普及が一層				由>	
要	●①民間企業 (理由) ■法令等 □提供3 □その他	きで市が実施す E体が市しかな b る市が推進すへ E導で進めるこ	ることが定め い べきである とにより実象	施できないかられている	<その他の内容>		*** ***	見定どおり 計画法第 ①民前企業 ②市が発生 ③ のでは ③ のでは ④ のでして ⑤ サービ	第3章第1節に 業	による。 、市民団体等では ければ実効性がが たことで市民へ音 施策の目標の実理	は実施できなかっ なかった 普及が一層 見に貢献した				由>	●不要
要 性 (2) 市が実施する必要性は あるか?	●①民間企業、(理由) ■法令等 □提供当 □その作 ○②自治体であ (理由) □市が当 □市が当 □市が当	きで市が実施す を体が市しかな も る市が推進すへ を に に に に に に に に に に に に に	ることが定め い べきである とにより実交 ことにより、	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容>		<, ##	思定どおります。 京計画法第 ①民市が経 ②市ががきる。 ④市のビン	第3章第1節に 業、NPO、 尊で進めなり 尊役となった れた 大が政策・・ 大が政が確 ススの安定供	による。 、市民団体等では ければ実効性がが たことで市民へ音 施策の目標の実現 保された	は実施できなかっ なかった 普及が一層 見に貢献した				由>	●不要
要 性 (2) 市が実施する必要性は あるか?	●①民間企業、(理由) ■法令等 □提供3 □その他 □をがり □市が3 サート □ □ 市が3 実現が	で市が実施すた。 を体が市しかな を であれて、 を であれて、 を では、 を では、 を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ることが定め い べきである とにより実交 ことにより、	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容>		<, ##	見定どおり 計画法第 ①民前の主 ②の市が進のでは のでは、	第3章第1節に 業、NPO、 尊で進めなり 尊役となった れた 大が政策・・ 大が政が確 ススの安定供	による。 、市民団体等では ければ実効性がが たことで市民へ音 施策の目標の実現 保された	は実施できなかっ なかった 普及が一層 見に貢献した				由>	●不要
要 性 (2) 市が実施する必要性は あるか?	●①民間企業、(理由) ■法令等 □提供当 □ での の での の でである (理由) □ 市が 3 ロ 市が 3 サート し □ 市が 3 サート □ 下 □ 市が 3 サート □ 市が 3 サート □ 市が 3 サート □ 下 □ 下 □ 下 □ 下 □ 下 □ 下 □ 下 □ 下 □ 下 □	で市が実施すた。 を体が市しかな を であれて、 を であれて、 を では、 を では、 を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ることが定め べきである とにより実え ことにより、 る より政策・前	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容>	*的な内容	<, ##	限定とおは、 原方計 (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	第3章第1節に 業。NPO 以下では 事尊で で進めなった で進めなった で進めた。 で進めた。 で進めた。 で進めた。 でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	こよる。 、市民団体等でにければ実効性がれたことで市民へ着施策の目標の実現保された 給基盤が確保された動動の具体的な内容	は実施できなかっ なかった 音及が一層 見に貢献した れた		画法第3章第1節に。			●不要
要 性 (2) 市が実施する必要性は あるか?	●①民間企業、(理由) ■法令令 □提供当 □その他 ○②自治体であ (理由) □市が3	で市が実施ない。 を存がする。 で進機・いてこるでは、 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	であることが定めている。 べきである実う、 とによいまり、 ない、 ない、 ない、 とによい、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 な	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容>	本的な内容	** <td>限定とおは、 原方計 (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7</td> <td>第3章第1節に 業。NPO 以下では 事尊で で進めなった で進めなった で進めた。 で進めた。 で進めた。 で進めた。 でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで</td> <td>こよる。 、市民団体等では ければ実効性がれたことで市民へも たことです。 施策の目標の実現保された 徐基盤が確保され</td> <td>は実施できなかっ なかった 音及が一層 見に貢献した れた</td> <td>都市計画</td> <td>■法第3章第1節に。 参加・協 初期待した以上</td> <td></td> <td></td> <td>●不要</td>	限定とおは、 原方計 (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	第3章第1節に 業。NPO 以下では 事尊で で進めなった で進めなった で進めた。 で進めた。 で進めた。 で進めた。 でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	こよる。 、市民団体等では ければ実効性がれたことで市民へも たことです。 施策の目標の実現保された 徐基盤が確保され	は実施できなかっ なかった 音及が一層 見に貢献した れた	都市計画	■法第3章第1節に。 参加・協 初期待した以上			●不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	●①民間企業、(理由) ■法令共同企業、(理由) ■法令共同 □提供 □ その他 □ □ 市が ジャック ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で市が実施な。 といるでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ではい べきにとい べきにとい べきにとい か ちゅう ない か 内 容 りり りりりりり	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容>	本的な内容	** <td>限定どお法第企主法 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)</td> <td>第3章第1節に 業。NPO 以下では 事尊で で進めなった で進めなった で進めた。 で進めた。 で進めた。 で進めた。 でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで</td> <td>こよる。 、市民団体等でにければ実効性がれたことで市民へ着施策の目標の実現保された 給基盤が確保された動動の具体的な内容</td> <td>は実施できなかっ なかった 音及が一層 見に貢献した れた</td> <td>都市計画</td> <td><b>参加・協</b></td> <td></td> <td></td> <td>●不要</td>	限定どお法第企主法 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	第3章第1節に 業。NPO 以下では 事尊で で進めなった で進めなった で進めた。 で進めた。 で進めた。 で進めた。 でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	こよる。 、市民団体等でにければ実効性がれたことで市民へ着施策の目標の実現保された 給基盤が確保された動動の具体的な内容	は実施できなかっ なかった 音及が一層 見に貢献した れた	都市計画	<b>参加・協</b>			●不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	●①民間企業、(理由) ■法令会 1 提供出 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ではい べきにとい べきにとい べきにとい か ちゅう ない か 内 容 りり りりりりり	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容>	本的な内容	** <td>限定どお法第企主法 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)</td> <td>第3章第1節に 業。NPO 以下では 事尊で で進めなった で進めなった で進めた。 で進めた。 で進めた。 で進めた。 でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで</td> <td>こよる。 、市民団体等でにければ実効性がれたことで市民へ着施策の目標の実現保された 給基盤が確保された動動の具体的な内容</td> <td>は実施できなかっ なかった 音及が一層 見に貢献した れた</td> <td>都市計画 ○①当 ●②当 ○③当</td> <td>参加・協 初期待した以上 初期待したとおり</td> <td>・働の程度・「</td> <td>内容</td> <td>●不要 ○要 ●不要</td>	限定どお法第企主法 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	第3章第1節に 業。NPO 以下では 事尊で で進めなった で進めなった で進めた。 で進めた。 で進めた。 で進めた。 でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	こよる。 、市民団体等でにければ実効性がれたことで市民へ着施策の目標の実現保された 給基盤が確保された動動の具体的な内容	は実施できなかっ なかった 音及が一層 見に貢献した れた	都市計画 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり	・働の程度・「	内容	●不要 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	●①民間企業、(理由) ■法令等 :	で本が市が生生のです。 で本が市が推進のするでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ではい べきにとい べきにとい べきにとい か ちゅう ない か 内 容 りり りりりりり	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容>	体的な内容	** <td>限定どお法第企主法 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)</td> <td>第3章第1節に 業。NPO 以下では 事尊で で進めなった で進めなった で進めた。 で進めた。 で進めた。 で進めた。 でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで</td> <td>こよる。 、市民団体等でにければ実効性がれたことで市民へ着施策の目標の実現保された 給基盤が確保された動動の具体的な内容</td> <td>は実施できなかっ なかった 音及が一層 見に貢献した れた</td> <td>都市計画 ○①当 ●②当 ○③当</td> <td>参加・協 初期待した以上 初初期待したとおり 初の期待以下</td> <td>・働の程度・「</td> <td>内容</td> <td>●不要 ○要 ●不要</td>	限定どお法第企主法 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	第3章第1節に 業。NPO 以下では 事尊で で進めなった で進めなった で進めた。 で進めた。 で進めた。 で進めた。 でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	こよる。 、市民団体等でにければ実効性がれたことで市民へ着施策の目標の実現保された 給基盤が確保された動動の具体的な内容	は実施できなかっ なかった 音及が一層 見に貢献した れた	都市計画 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 初期待した以上 初初期待したとおり 初の期待以下	・働の程度・「	内容	●不要 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	●①民間企業、(理由) ■法令会 1 提供出 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	で本が市が生生のです。 で本が市が推進のするでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ではい べきにとい べきにとい べきにとい か ちゅう ない か 内 容 りり りりりりり	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容>	体的な内容	** <td>限定どお法第企主法 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)</td> <td>第3章第1節に 業。NPO 以下では 事尊で で進めなった で進めなった で進めた。 で進めた。 で進めた。 で進めた。 でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで</td> <td>こよる。 、市民団体等でにければ実効性がれたことで市民へ着施策の目標の実現保された 給基盤が確保された動動の具体的な内容</td> <td>は実施できなかっ なかった 音及が一層 見に貢献した れた</td> <td>都市計画 ○①当 ●②当 ○③当</td> <td>参加・協 初期待した以上 初初期待したとおり 初の期待以下</td> <td>・働の程度・「</td> <td>内容</td> <td>●不要 ○要 ●不要</td>	限定どお法第企主法 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	第3章第1節に 業。NPO 以下では 事尊で で進めなった で進めなった で進めた。 で進めた。 で進めた。 で進めた。 でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	こよる。 、市民団体等でにければ実効性がれたことで市民へ着施策の目標の実現保された 給基盤が確保された動動の具体的な内容	は実施できなかっ なかった 音及が一層 見に貢献した れた	都市計画 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 初期待した以上 初初期待したとおり 初の期待以下	・働の程度・「	内容	●不要 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	●①民間企業令(理由) ■法保付 (理由) ■法保付 (理由) □ (理由) □ (理由) □ (可市がが (理由) □ (可市が明かず (理由) □ (事業業・運自共同で係る) ②・(事業・運自共同で係る) (事業・運自共同で係る) (事務・(事務・(事務・(事務・(事務・(事務・(事務・(事務・(事務・(事務・	で体が市が生進のでは、 を連進のでは、 を導施がで、提供証こる をでは、 をでは、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	ではい べきによい か	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容> 工夫の具体		** <td>限定どお法第企主法 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)</td> <td>33章第1節に NPO N進と N進と N進と が改準定 Nを 対策が の Nを Nを</td> <td>こよる。 、市民団体等でに ければ実効性が たことで 研察の 目標の 実践 に は ない を は ない を ない を ない を ない を ない を ない を</td> <td>は実施できなかっないった。 普及が一層 見に貢献した れた  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「</td> <td>都市計画 ○①当 ●②当 ○③当</td> <td>参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 した以上となった到</td> <td>る。 働の程度・「 型由/期待以</td> <td>内容</td> <td>●不要 ○要 ●不要</td>	限定どお法第企主法 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	33章第1節に NPO N進と N進と N進と が改準定 Nを 対策が の Nを	こよる。 、市民団体等でに ければ実効性が たことで 研察の 目標の 実践 に は ない を は ない を ない を ない を ない を ない を ない を	は実施できなかっないった。 普及が一層 見に貢献した れた  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「	都市計画 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 した以上となった到	る。 働の程度・「 型由/期待以	内容	●不要 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	●①民間企業、令供達性の相	で体が市が推進のするするとと を	ではい べきによい か	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容>			限定どお法第企主法 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	33章第1節に NPO N進と N進と N進と が改準定 Nを 対策が の Nを	こよる。 、市民団体等でにければ実効性がれたことで市民へ着施策の目標の実現保された 給基盤が確保された動動の具体的な内容	は実施できなかっないった。 普及が一層 見に貢献した れた  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「	都市計區  ○①当  ○②当  <期待し	参加・協 初期待したととおり 初の期待以た下 した以上となった理 でに以上となった理 でにより	を 働の程度・「 理由/期待以 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容	●不要 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おるか? (市実施の必要性) ホモスしているか? (体制づくり)	●①民間企業、令供担的 □ 提供の相 □ 提供の相 □ は で が 引 し □ を で が 引 し □ 市 市 市 市 が 引 し □ 市 市 中 が 現 が 引 し □ で 3 管 市 市 民 の 他 ○ ②	で体が市が市体と、	ではい べきによい か	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容> 工夫の具体			原定 どお は から	33章第1節に NPO N進と N進と N進と が改準定 Nを 対策が の Nを	こよる。 、市民団体等でに ければ実効性が たことで 研察の 目標の 実践 に は ない を は ない を ない を ない を ない を ない を ない を	は実施できなかっないった。 普及が一層 見に貢献した れた  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「	都市計區  ○①当  ○②当  <期待し	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 した以上となった到 環境	を 働の程度・「 理由/期待以 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容	●不要 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おるか? (市実施の必要性) ホモスしているか? (体制づくり)	●①民間企業、令供されています。 ●①日本 (理由) ■ 提供の作品 (理由) □ 提供の作品 (理由) □ 市市 (可力 (理由) □ 市市 (可力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理	で体が市が作業を表現している。 本学性の大学では、	では、	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容> 工夫の具体			原定 どお は から	33章第1節に NPO N進と N進と N進と が改準定 Nを 対策が の Nを	こよる。 、市民団体等でに ければ実効性が たことで 研察の 目標の 実践 に は ない を は ない を ない を ない を ない を ない を ない を	は実施できなかっないった。 普及が一層 見に貢献した れた  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「	都市計画 ○①当 ○②当 ○ ③当 ○ ①想 ○ ②想	参加・協 初期待したととおり 初の期待以た下 した以上となった理 でに以上となった理 でにより	の程度・「 理由/期待以 ・ 食への配慮	内容	● 不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おるか? (市実施の必要性) ホース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カ	●①民間●注集令供用 ②2自二 提供の (理由) ■ 1 提供の (理由) □ 1 提供の (理由) □ 1 中 1 が 1 に で 1 が 1 に で 1 に	で体が市が市体とでは、	では、	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容> 工夫の具体			原定 どお は から	33章第1節に NPO N進と N進と 大変を使れた 関ススの 容 ・ 1	こよる。 、市民団体等でに ければ実効性が たことで 研察の 目標の 実践 に は ない を は ない を ない を ない を ない を ない を ない を	は実施できなかっないった。 普及が一層 見に貢献した れた  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「	都市計画 ○①当 ○②当 ○ ③当 ○ ①想 ○ ②想	参加・協 初期待したとより 初期待したとおり 初の期待したとなった理 た以上となった理 定定どおりでなかっ	の程度・「 理由/期待以 ・ 食への配慮	内容	●不要 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おるか? (市実施の必要性) ホモスしているか? (体制づくり)	●①民間企業、令供されています。 ●①日本 (理由) ■ 提供の作品 (理由) □ 提供の作品 (理由) □ 市市 (可力 (理由) □ 市市 (可力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理力 (理	で体が市が市体とでは、	では、	ができない かられている が性が得られる 良質で安定した	<その他の内容> 工夫の具体			原定 どお は から	33章第1節に NPO N進と N進と 大変を使れた 関ススの 容 ・ 1	こよる。 、市民団体等でに ければ実効性が たことで 研察の 目標の 実践 に は ない を は ない を ない を ない を ない を ない を ない を	は実施できなかっないった。 普及が一層 見に貢献した れた  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「  「	都市計画 ○①当 ○②当 ○ ③当 ○ ①想 ○ ②想	参加・協 初期待したとより 初期待したとおり 初の期待したとなった理 た以上となった理 定定どおりでなかっ	の程度・「 理由/期待以 ・ 食への配慮	内容	● 不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おるか? (市実施の必要性) ホモスしているか? (体制づくり)	●①民間 産業令(理由) ■ 提供 の	で体が市が市体とでは、	である さい である さいという さいという さいという でいるという かのはいりでいる でいる。 ないが、からないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	施できないのられているのでは、	マその他の内容> エ夫の具体 取組む 取組む 日標値の妥当性のチェッ	<b>心内容</b>		原定 どお は から	33章第1節に NPO	こよる。 、市民団体等でに ければ実で 目標の効性が たた 実現 に 策された を 策されが を ない	は実施できなかった 等及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 よその内容)	都市計画  ○①当  ②②当  <期待し  ○②想  ○②想  ○②想  ○②想  ○②想  ○②  □□  □□  □□  □□  □□  □□  □□  □□  □□	参加・協 初期待したとより 初期待したとおり 初の期待したとなった理 た以上となった理 定定どおりでなかっ	の程度・「 理由/期待以 ・ 食への配慮	内容	● 不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おるか? (市実施の必要性) ホモスしているか? (体制づくり)	●①民間 ●①民間 ●② (理由) □□ (型) □□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□	で体が市が市体と を を を を を で体が市が を を では を を では を を では と では と では と では と では と では と では と に に に に に に に に に に に に に	である さい べとにと が定める 変り がといる でありよよ 策 ののりりりている である 変り ・ が でありまる でる でありまる でも でありまる でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも	施できない かられている が性が得られる の性質で を策の目標の	マイク (その他の内容) エ 大の具体 エ 大の具体 取組 を できます できます できます アン・ 事実に基づき設定している	<b>心内容</b>		原定 どお は から	33章第1節節 NPO N進と N進と 下で投た 改革を (大) では N が で 大 が で 大 が で 大 が が が オ シード	こよる。 、市民団体等でに ければ実で 目標の 大きな 様々 大きな 様々 大きな 様々 大きな 様々 ない はない はない はない はない はない はない はない はない はない	は実施できなかっ なかった 普及が一層 見に貢献した れた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市計画  ○①当当 ○②3当  <期待し  ○②2割  <想定と	動法第3章第1節による 参加・協 初期待したととおり でなかった理 定定どおりでなかった原	動の程度・「 理由/期待以 竟への配慮 た 原因>	内容	● 不要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 ■
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働の工夫してくり) 環境に配慮して事業を進めいるか?	●①民間 ●①民間 ●② (理由) □□ (型) □□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□	で体が市が市体と を を を を を で体が市が を を では を を では を を では と では と では と では と では と では と では と に に に に に に に に に に に に に	で と	施できない かられている 効性が得られる が性質で標の で観視の値とと ②現況値 ととる	マ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない	ウ		思定的 関定と 関定と 関定と 関定と 関で では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	33章第1節節 NPO N進と N進と 下で投た 改革を (大) では N が で 大 が で 大 が で 大 が が が オ シード	こよる。 、市民団体等でに ければ実効性がた たことで 市民へ 施策の目標の実理 保含れた になる場合に は といる場合に は といる場合に は 達成率(%) (f/b×100)	は実施できなかっ なかった 普及が一層 見に貢献した れた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市計画  ○①当当当 ○②3当  <期待し ○②2割  <想定と  た理由/未達	参加・協 初期待したとより 初期待したとおり 初の期待したとなった理 た以上となった理 定定どおりでなかっ	動の程度・「 理由/期待以 竟への配慮 た 原因>	内容	● 不要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働の工夫してくり) 環境に配慮して事業を進めいるか?	●①民間■注集令供用 ②自治□□中が現内 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で体が市が作業の で体が市が推進の供証による。 を導施ス援図を を開発したでは、 をでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で さい	施できない かられている 効性が得られる が性質で標の で観視の値とと ②現況値 ととる	マ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない ある場合、比較対象例におけ	ウ		思定的 開た計 (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	33章 第1節  PO	こよる。 、市民団体等でに ければ実効性がた ければ実 で 市民団 標の実 施策の目標の実 を	は実施できなかった 等及が一層 見に貢献した れた  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市計画  ○①当当 ○②当当 ○類待し ○②想 ○②想 ○○②想 ○○○表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	参加・協 参加・協 初期特した以上 初初の期待したと下 した以上となった理 定定どおりでなかった原 どおりでなかった原 どおりでなかった原	の程度・「 理由/期待以 意への配慮 た	内容	● 不要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働の工夫してくり) 環境に配慮して事業を進めいるか?	●①民間●注機の作 ②自治□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	で体が市が市で体ができます。 では、	である 実り ・ が 容 を	施できない かられている  効性が質が質が質が質が質が質ができた。 一で記現現況にはといる  のはといる対 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マチの他の内容>  「工夫の具体  工夫の具体  取組む  日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない ある  実施予定の対策	ウ	マップ	思定 どお法 企主 ・	33章 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	こよる。 、市民団体等でに ければ実効性がた ければ実 で 市民団 標の実 施策の目標の実 を	は実施できなかっから は実施できなかった 等ながかの	都市計画  ○①①当当当 ○②②当当 ○②③当当 ○②担想 ○②②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担 ○○②担応 ○○②担応 ○○○○○○○○○○	参加・協 参加・協 初期特した以上 初初の期待したと下 した以上となった理 定定どおりでなかった原 どおりでなかった原 どおりでなかった原	の程度・「 理由/期待以 意への配慮 た 原因>	内容	● 不要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おるか? (市実施の必要性) ホモスの参加や市民との協働の工夫 (体制づくり) (体制づくり) (体制がくり) (1) 目標設定は適切か?	●①民間 ■ 2 乗 会 ( ) (理由) ■ 1 乗 案 会 ( ) 会 ( ) 日本	で体が市が進場では、 で体が市が進場では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ではい ではに	施できない。 かられている  が性が質でもない。 が性質での目標の  で変現現の値にといれるといれるといい。 では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	▼	ク ナる目標値(と現) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マップ	思定的 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	33章	こよる。 、市民団体等でに ければ実で 特にと で は ればとで を に な の は な の は な の は な の は な な の は な な の は な の は な の は な の は な の は な の は な の は な の は の は	は実施できなかっ ななかった 音及が一層 見に貢献した れた (又は今後) 1日標標値達末 ○②目標標を発達成して ○③切に要素を行 ○③切を定事業	都市計画  ○①①当当当 ○②②当当 ○②③当当 ○②担想 ○②②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担 ○○②担応 ○○②担応 ○○○○○○○○○○	参加・協 初期特した以上 初初期特したと下 した以上となった理 定定どおりでなかった原 でなかった原 を成となった原因〉	である。 ・ の配慮 ・ た ・ 原因>	内容 下であった原因:	● 不要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働の工夫してくり) (体制づくり) (は適して事業を進めいるか? (1) 目標設定は適切か?	●①民間 ●② (理由) ■ 2 (理由) ■ 2 (理由) ■ 2 (理由) □ 2 (理由) □ 2 (理由) □ 3 (理由) □ 1 (理由) □ 1 (理由) □ 1 (理由) □ 2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (	で体が市が推進のは、 で体が市が推進のは、 を導施ス投資の。 を一下でも提証に、 を一下では、 を一では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	では、	施できない。 かられている かけいができない。 かけいができない。 かけいができない。 かけいができない。 かけいがではない。 ないというではない。 ないというではない。 ないというでは、 ないというには、 ないといいは、 ないというには、 ないといいは、 ないといいいは、 ないといいは、 ないといいいいは、 ないといいいいは、 ないといいいいは、 ないといいいいいいいいいいは、 ないは、 ないは、 ないは、 ないは、 ないは、 ない	▼	ク ナる目標値(と現) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)<td>思定的 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7</td><td>33章 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東</td><td>こよる。 、市民団体等でに ければ実で はれてとで に接って を接って に接って になって になって になって になって になって になって になって にな</td><td>は実施できなかっから は実施できなかった 等ながかの</td><td>都市計画  ○①①当当当 ○②②当当 ○②③当当 ○②担想 ○②②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担 ○○②担応 ○○②担応 ○○○○○○○○○○</td><td>参加・協 初期待したとより 初期待したとより 初初の期待したとなった到 定定どおりでなかった原 定だおりでなかった原 となった原因〉</td><td>の程度・「型曲/期待以 ・ 関本 グロー 関本 で が で が で が で が で が で が で が で が で が で</td><td>内容 下であった原因:</td><td>● 不 要 要 要 要 要 要 要</td></li></ul>	思定的 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	33章 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東	こよる。 、市民団体等でに ければ実で はれてとで に接って を接って に接って になって になって になって になって になって になって になって にな	は実施できなかっから は実施できなかった 等ながかの	都市計画  ○①①当当当 ○②②当当 ○②③当当 ○②担想 ○②②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担 ○○②担応 ○○②担応 ○○○○○○○○○○	参加・協 初期待したとより 初期待したとより 初初の期待したとなった到 定定どおりでなかった原 定だおりでなかった原 となった原因〉	の程度・「型曲/期待以 ・ 関本 グロー 関本 で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	内容 下であった原因:	● 不 要 要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働の工夫人に対して(体制づくり) (体制づくり) (1) 目標設定は適切か? (1) 目標設定は適切か?	●①民間 ● (理由) ■ (理由) ■ (理由) ■ (理由) □ 提供 の (理由) □ 提供 の (理由) □ 中市 切 の (理由) □ 中市 実 の (型面) □ 中市 実 の (型面) □ (□ (型面) □ (型面) □ (□ (□ (□ (□ (□	で体が市が進場では、 で体が市が進場では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	では、	施できない。 かられている が性が質の目標の が質の目標の のはこととの できたとの できたのでは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	▼	ク ナる目標値(と現) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)<td>思定的 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (</td><td>33章 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東</td><td>こよる。 、市民団体等でに ければ実で 特にと で は ればとで を に な の は な の は な の は な の は な な の は な な の は な の は な の は な の は な の は な の は な の は な の は の は</td><td>は実施できなかっから は実施できなかった 等ながかの</td><td>都市計画  ○①①当当当 ○②②当当 ○②③当当 ○②担想 ○②②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担 ○○②担応 ○○②担応 ○○○○○○○○○○</td><td>参加・協 初期特した以上 初初初期待したと下 した以上となった にはとなった 定定どおりでなかった にとどおりでなかった にとどおりでなかった にはとなった原因〉 ●①事前の の ②</td><td>の程度・「型曲/期待以 ・ 関本 グロー 関本 で が で が で が で が で が で が で が で が で が で</td><td>内容 下であった原因:</td><td>● 不 要 要 要 要 要 要 要</td></li></ul>	思定的 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	33章 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東	こよる。 、市民団体等でに ければ実で 特にと で は ればとで を に な の は な の は な の は な の は な な の は な な の は な の は な の は な の は な の は な の は な の は な の は の は	は実施できなかっから は実施できなかった 等ながかの	都市計画  ○①①当当当 ○②②当当 ○②③当当 ○②担想 ○②②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担 ○○②担応 ○○②担応 ○○○○○○○○○○	参加・協 初期特した以上 初初初期待したと下 した以上となった にはとなった 定定どおりでなかった にとどおりでなかった にとどおりでなかった にはとなった原因〉 ●①事前の の ②	の程度・「型曲/期待以 ・ 関本 グロー 関本 で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	内容 下であった原因:	● 不 要 要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働の工夫人に対して(体制づくり) (体制づくり) (1) 目標設定は適切か? (1) 目標設定は適切か?	●①民間■注集令供金化 (理由) ■記提供金化 (理由) □記提供金化 (理由) □記提供金化 (理由) □市市市市市市市市市市市市市東京 (記書・本本 (本本 (本本 (本本 (本本 (本本 (本本 (本本 (本本 (本本	で体が市が推進のは、 で体が市が推進のは、 を導施ス投資の。 を一下でも提証に、 を一下では、 を一では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	では、	施できない。 かられている かけいができない。 かけいができない。 かけいができない。 かけいができない。 かけいがではない。 ないというではない。 ないというではない。 ないというでは、 ないというには、 ないといいは、 ないというには、 ないといいは、 ないといいいは、 ないといいは、 ないといいいいは、 ないといいいいは、 ないといいいいは、 ないといいいいいいいいいいは、 ないは、 ないは、 ないは、 ないは、 ないは、 ない	▼	ク ナる目標値(と現) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)<td>思定的 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7</td><td>33章 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東</td><td>こよる。 、市民団体等でに ければ実で 特にと で は ればとで を に な の は な の は な の は な の は な な の は な な の は な の は な の は な の は な の は な の は な の は な の は の は</td><td>は実施できなかっから は実施できなかった 等ながかの</td><td>都市計画  ○①①当当当 ○②②当当 ○②③当当 ○②担想 ○②②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担 ○○②担応 ○○②担応 ○○○○○○○○○○</td><td>参加・協 初期特した以上 初初初期待したと下 した以上となった にはとなった 定定どおりでなかった にとどおりでなかった にとどおりでなかった にはとなった原因〉 ●①事前の の ②</td><td>の程度・「型曲/期待以 ・ 関本 グロー 関本 で が で が で が で が で が で が で が で が で が で</td><td>内容 下であった原因:</td><td>● 不 要 要 要 要 要 要 要</td></li></ul>	思定的 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	33章 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東	こよる。 、市民団体等でに ければ実で 特にと で は ればとで を に な の は な の は な の は な の は な な の は な な の は な の は な の は な の は な の は な の は な の は な の は の は	は実施できなかっから は実施できなかった 等ながかの	都市計画  ○①①当当当 ○②②当当 ○②③当当 ○②担想 ○②②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担応 ○○②担 ○○②担応 ○○②担応 ○○○○○○○○○○	参加・協 初期特した以上 初初初期待したと下 した以上となった にはとなった 定定どおりでなかった にとどおりでなかった にとどおりでなかった にはとなった原因〉 ●①事前の の ②	の程度・「型曲/期待以 ・ 関本 グロー 関本 で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	内容 下であった原因:	● 不 要 要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おるか? (市実施の必要性) ホモ民の参加や市民との協働 (本制づくり) (本制づくり) (1) 目標設定は適切か? (1) 目標設定は適切か? (2) 事業費削減の工夫をしているか?	●①民間■注集令供金化 (理由) ■記提供金化 (理由) □記提供金化 (理由) □記提供金化 (理由) □市市市市市市市市市市市市市東京 (記書・本本 (本本 (本本 (本本 (本本 (本本 (本本 (本本 (本本 (本本	で体が市が中では、	で さい とこと が 定 が を を を な 、 か か 有 有 有 男 し い る	施できない。 かられている かけいができない。 かけいができない。 かけいができない。 かけいができない。 かけいがではない。 ないというではない。 ないというではない。 ないというでは、 ないというには、 ないといいは、 ないというには、 ないといいは、 ないといいいは、 ないといいは、 ないといいいいは、 ないといいいいは、 ないといいいいは、 ないといいいいいいいいいいは、 ないは、 ないは、 ないは、 ないは、 ないは、 ない		ク ナる目標値(と現) 1 等民間資本の 者負担	<ul><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)</li><li>(本語)<td>思定的 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7</td><td>33章 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東</td><td>こよる。 、市民団 体等でに ければとで 相の対 にと を では なった に に なった に は なった に は は なった なった は なった なった なった なった なった なった なった なった なった なった</td><td>は実施できなかっきなかっきなが一層 見に たいた (マの内 を) (マ</td><td>都市計画  ○①①当当当  ○②②③  ○②②③  ○ 期待し  ○②②③  ○ 想定と  ○ 表達過  たったたたたき  表達過  上</td><td>参加・協 初期特した以上 初初初期待したと下 した以上となった にはとなった 定定どおりでなかった にとどおりでなかった にとどおりでなかった にはとなった原因〉 ●①事前の の ②</td><td>を できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか きなか かり できな かり できなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか</td><td>内容 下であった原因 策について はかった った原因〉</td><td>● 不 要 要</td></li></ul>	思定的 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	33章 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東京 **東	こよる。 、市民団 体等でに ければとで 相の対 にと を では なった に に なった に は なった に は は なった なった は なった	は実施できなかっきなかっきなが一層 見に たいた (マの内 を) (マ	都市計画  ○①①当当当  ○②②③  ○②②③  ○ 期待し  ○②②③  ○ 想定と  ○ 表達過  たったたたたき  表達過  上	参加・協 初期特した以上 初初初期待したと下 した以上となった にはとなった 定定どおりでなかった にとどおりでなかった にとどおりでなかった にはとなった原因〉 ●①事前の の ②	を できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか きなか かり できな かり できなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか	内容 下であった原因 策について はかった った原因〉	● 不 要 要
要性 (2) 市が実施する必要性は ある字施の必要性は ある実施の必要性) (2) 市が実施する必要性は ある実施の必要性) (表別のでは、 (本制づくり) (本制づくり) (4) 日標設定は適切か? (1) 日標設定は適切か? (2) 事業費が (2) 事業費が (3) 日標値を実現する適に 投じる事業費は適にかって (3) 日標値を実現する適にかって (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	●①民間 ■ ※ 令供え (理由) □□ ※ (理由) □□ ※ (理由) □□ ※ (事ま) ※ (事ま) ※ (理由) □□ ※ (事ま) ※ (事	で体が市が連進の では、	でよい べきによ り 政 容 でよに 女 の 内 りり て い る 実り 、 が 有 有 有 男 し て い る の り り て い る の り り て い る の り り て て い る で よ に 策 (	施できている からられている かけ にない からられている かけ にない からられている かけ にない が質 の目 標の のは なとと などとと り で は親現 通等 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マ・事実に基づき設定している実施がよい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからも場合、比較対象例におけるる実施予定の対策を対応しい値ではないのではない。まが有る場合、比較対象例におけるという。  東施予定の対策を対応を対応の対策の実施・□⑦その  計算方	ク かる目標値(と現) 1 等民間資本の 1 者負担 法 1 単位/事業費	マップ	思定的 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	3章 業 導導 ( N ) (	こよる。 、市民団体等でに ければ実で は 標の 実	は実施できなかった まなかった 情別に まなかった 見に できなかった 見に できなかった できなかった 見に できなかった できなかった できなかった (本の内内容) 「自目標標準 達務 定れを できる。 できなかった できなかった。 できなかった。 できなかった。 できながった。 できながった。 できる。	都市計画  ○①①当当当 ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②② 数定 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協 初期待した以上 りがでなかった 定定どおりでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった になるとなった の②②事前前のの を表している。	を できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか きなか かり できな かり できなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか	内容 下であった原因 策について はかった った原因〉	● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更加的。  ○ ● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更加的。 ○ ● 不要求要求可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以
要性 (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) おおるか? (市実施の必要性) おおるか? (市実施の必要性) おおるか? (本制づくりり) は 環境に配慮 (1) 目標設定は適切か? (2) 事業者か? (3) 目標値を実現する為に (3) 目標値を実現する為に	●①民間■注集令供金化 (理由) □□ 注集令供金化 (理由) □□ 注集 (であまままで) □□ は (理由) □□ 市市市市市市市市市市市東の (記事事事業・のは、 (記事事事を) ○②・金の (記事事を) ○○・金の (記事事を) ○○・金の (記事を) ○○・金の (記事を) (記事を) (記事を) (記事を) (記事を) (記事を) (記事を) (記事を) (記事を) (記事業費(に) (記事業) (記事業費(に) (記事業) (記事業費(に) (記事業) (記書》) (記書》	で体が市が連進の では、	ではいいできた。	施できている からられている かけ にない からられている かけ にない からられている かけ にない が質 の目 標の のは なとと などとと り にない かい は で は の の は ない は の の の は ない は で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	マ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないが小さい値ではない。 実施予定の対策 度活用 口⑤ P F 方対応 間減策の実施 ロ⑦その	ク かる目標値(と現) 1 等民間資本の 1 者負担 法 1 単位/事業費	マップ	思定制 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	3章 業 導導 ( N ) (	こよる。 、市民団 体等でに ければとで 市標の 東京 様の 大きな を	は実施できなかっき まなかが一層 見に できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるない。 できるなない。 できるなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	都市計画  ○①①当当当 ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②② 数定 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協 初期待した以上 りがでなかった 定定どおりでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった になるとなった の②②事前前のの を表している。	を できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか きなか かり できな かり できなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか	内容 下であった原因 策について はかった った原因〉	● 不要要 要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必要性は ある字施の必要性は ある実施の必要性) (2) 市が実施する必要性は ある実施の必要性) (本 の	●①民間 ■ ※ 令供え (理由) □□ ※ (理由) □□ ※ (理由) □□ ※ (事ま) ※ (事ま) ※ (理由) □□ ※ (事ま) ※ (事	で体が市が連進の では、	るい	施できない。 かられている か性が質の目標の が質の目標の のはこととの をととの をととの をといる のででは、 のでは、 の	マ・事実に基づき設定している実施がよい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからも場合、比較対象例におけるる実施予定の対策を対応しい値ではないのではない。まが有る場合、比較対象例におけるという。  東施予定の対策を対応を対応の対策の実施・□⑦その  計算方	ク かる目標値(と現) 1 等民間資本の 1 者負担 法 1 単位/事業費	マップ	思定的 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	3章 業 導導 ( N ) (	こよる。 、市民団体等でに ければ実で は	は実施できなかっき まなかが一層 見に できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるない。 できるなない。 できるなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	都市計画  ○①①当当当 ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②② 数定 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協 初期待した以上 りがでなかった 定定どおりでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった になるとなった の②②事前前のの を表している。	を できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか きなか かり できな かり できなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか	内容 下であった原因 策について はかった った原因〉	● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更加的。  ○ ● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更加的。 ○ ● 不要求要求可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以
要性 (2) 市が実施する必要性は ある字施の必要性は ある実施の必要性) (2) 市が実施する必要性は ある実施の必要性) (本 の	●①民間■2 ※令供金 (理由) ■記提供の他 (理由) □□②自治□□中が現立   □□	で体が市が中では、	るい	施できないのかられている。  沈 を できないのかられている。  沈 性が質 の目標ののはないのでは、 のできないでは、 のでは、 のではないでは、 のではないでは、 のではないでは、 のではないでは、 のではないでは、 のではないでは、 のではないでは、 のではないでは、 のではないでは、 のではないでは	マ・東に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない がからる 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑦ その □⑦ その □⑦ その □② 複数年度の指標: [目標値 × 費用 ○② 複数年度の指標: [目標値 - 三 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ク かる目標値(と現) 1 等民間資本の 1 者負担 法 1 単位/事業費	マップ	思定的 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	3章 業 導導 ( N ) (	こよる。 、市民団体等でに ければ実で は	は実施できなかっき まなかが一層 見に できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるなかっ できるない。 できるなない。 できるなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	都市計画  ○①①当当当 ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②② 数定 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協 初期待した以上 りがでなかった 定定どおりでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった に定じるというでなかった になるとなった の②②事前前のの を表している。	を できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか きなか かり できな かり できなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか	内容 下であった原因 策について はかった った原因〉	● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更加的。  ○ ● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更加的。 ○ ● 不要求要求可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おおる実施の必要性はある実施の必要性) ホステン (市実施の必要性) ホステン (本)	●①民間 ●② (理由) □□ (理由) □□ (理年) □□ (理年) □□ (理年) □□ (理年) □□ (理年) □□ (理年) □□ (② (③ (④ (1年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (	では、	を に で とこるよ よ の 内 の りりして に と の の りりして に と の の の りりして に と の の の の の の の の の の の の の	施できないかられている かられている かられている かられている かられている かられた のでは、 のでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のののでは、 ののでは、 ののでは	マ・東に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない がからる 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑦ その □⑦ その □⑦ その □② 複数年度の指標: [目標値 × 費用 ○② 複数年度の指標: [目標値 - 三 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ククナる目標値(と現) 「著他し」 「著典型位/平本費用単位/本、大学のでは、100円では、100	マップ	思定的 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	3章 業 導導 ( N ) (	こよる。 、市民団体等でに ければ実で は	は実施でた できなかってきなかってきる に できまた でき 見 に た でき 見 に た マスの内内 で でき で	都市計画  ○①①当当当 ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②② 数定 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	●①②事がある。  「本語を表現している。」  「本語を表現を表現している。」  「本語を表現している。」  「本語を表現している。」  「本語を表現している。」  「本語を表現している。」  「本語を表現している。」	を できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか きなか かり できな かり できなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか	内容 下であった原因 策について はかった った原因〉	● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更加的。  ○ ● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更加的。 ○ ● 不要求要求可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以
要性 (2) 市が実施する必要性はあるが? (市実施の必要性はある実施の必要性) おる(事業を進める) 本 (4) 目標設定は適切か? (2) 事業費削減の工夫をして投じる事業費は過正が、(1) 目標値を実現する適正が、(目標対費用) 3. 事後評価	●①民間 ●② (理由) □□ (理由) □□ (理年) □□ (理年) □□ (理年) □□ (理年) □□ (理年) □□ (理年) □□ (② (③ (④ (1年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (	では、	を に で とこるよ よ の 内 の りりして に と の の りりして に と の の の りりして に と の の の の の の の の の の の の の	施できないかられている かられている かられている かられている かられている かられた のでは、 のでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のののでは、 ののでは、 ののでは	マ・東に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない がからる 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑦ その □⑦ その □⑦ その □② 複数年度の指標: [目標値 × 費用 ○② 複数年度の指標: [目標値 - 三 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ククナる目標値(と現) 「著他し」 「著典型位/平本費用単位/本、大学のでは、100円では、100	マップ	思定的 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	3章 業 導導 ( N ) (	こよる。 、市民団体等でに ければ実で は	は実施でた できなかってきなかってきる に できまた でき 見 に た でき 見 に た マスの内内 で でき で	都市計画  ○①①① 当当当 ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②②③ 特し ○②② 想定と ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	●①②事がある。  「本語を表現している。」  「本語を表現を表現している。」  「本語を表現している。」  「本語を表現している。」  「本語を表現している。」  「本語を表現している。」  「本語を表現している。」	を できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか かり できなか きなか かり できな かり できなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか きなか	内容 下であった原因 策について はかった った原因〉	● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更加的。  ○ ● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更加的。 ○ ● 不要求要求可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以

### 1979 #	· 式第3号					事務事 ————	業評価表	(令和 2	年度,	)							
14   15   15   15   15   15   15   15	事業コード	868			課コード	0705		会計種別	一般会	計			予算(	の種類	]政策	■経常	□なし
March   Marc	1. 事業の概要(PLAN)																
Part		①車業々	基本事業						実施計	画への	_	<b>左</b> • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		②如冊を	##±## →	件·₩ 李 /====	
Part		①事業名	個別事業	都市計画法	法第29条に基づく	開発行為許可事務					0	有 ● 無		②部謀名	都市部・市	<b>街地整備</b> 課	
The part			●市	〇その他		0 fer rhr		)			□我孫子	□天王台			□布佐		
March   Marc	1)事業概要				平成2	9年度 ~			6担当職	.貝欽	(当 初)	1			1		
			総事業費			0 千円			当該(開	始)年度			, , , , ,		<u> </u>		
### 1985   1985		②体生の位置づけ	施策		61002	重点プロジェクト	素占 <i>†</i> :	.1	基本計画	画地区別		<b>. . . . . . . . . .</b>		部門別計画への	(計画名)		
### 1		の 施来の 位置 ラバ		1 2% + 17+ .L. I						位置づけ			1 ± # # 1 = =			4. オフナ服み	* 仁 サ   - 日日 <del>-  </del> フ
### PART   PART	2)目的							<b>令や開発行為に</b>		目的							
### PARTY CONTROLLED TO STATE OF THE PARTY CONTROLLED TO STATE OF		ניין נלנתן אנו	我孫子市に	おける建築	を、開発行為等に(	系る紛争の予防と調整に関する条例	列に基づく近隣住民	への説明や、我			・年間を通して	て、開発許可申請	青書を受理した	ときは、適正な期	間内で速やか	に審査を行い、	基準に適合し
The content of the	3)事業内容	内 容	為に関する 及び我孫子 査を行い、	条例に基つ 市開発行為 適合すると	づく事前協議書を結 為に関する条例、 と認めた場合は、	締結するとともに、事前協議締結征 我孫子市開発行為等運用・審査基準 開発許可申請者に対して開発許可	後の開発許可申請書 準に適合することの	に基づき、法令 書類・図書の審	当該 執行	計画	・年間を通して て検査済証を3 ・年度内に我系	て、工事完了届を 交付し完了公告を 孫子市開発行為に	受理したとき を行う。			基準の一部見直	しを行う。
The Company of th											別元計り週24日	三の文 凹 下敷。			単位	Ⅰ 件 ┣━━━	
### 167 The PROCESS AND STORY OF THE PROCESS A	4)達成目標(期待する成果)											-	指標		単位	1	(6)目標値
19   19   19   19   19   19   19   19	当該年度	都市計画法第29	条の規定に基	さる適正な	は期間で許可する.	•			直	.接	許可率(許可修	件数/申請件数)			%	100	10
### 15 1	令和 3年度	都市計画法第29	条の規定に基	はづき適正な	な期間で許可する。	•			直	.接	許可率(許可作	件数/申請件数)			%		10
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	令和 4年度	都市計画法第29	条の規定に基	よづき適正な	な期間で許可する。	•			直	接	許可率(許可修	件数/申請件数)			%		10
Tell	prin 112	都市計画法第29条	の規定に基づ	づき開発行為	為許可申請を適正	に審査するため、都市計画法の目的	的、制限等を明確、	かつ論理的に把									
### 1	7) 事業実施上の課題と対応	握するよう職員の	資質の向上に	好める。					代替到	案検討	0	有●無					
			平成314	年度		,	令和 2年度					和 3年度			令和	4年度	_
			内 容		金額(千円)	政 内 容	予算額	決算額	(千円) 政	Į ξ	内容		金額(千円)	) 政策	内 容		金額(千円)
## 100 PM		開発行為許可	に係る事務		00			66	66			<b>答</b>					6
### 1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1985   198	8) 施行東頂	15, 000F 48, 600F 15, 000F	円 円×1.10*			15,000円×1.10*	4 🛛 =			15,	000円×1.	1 0*4 回=		15, 00	0円×1.1	0*4 🔟 =	
### 1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1995   1984   1985   198																	
1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.	予算(決算)額	1 1	숙 計		99	合計		66	66	<u> </u>	合 計			66	合 計		6
15 日本の	国庫支出金	補助率	н ні		0	補助率		0	0		н н	0 %		0 補助率	н н		
************************************	0) 財源内記 起債				0	充当率		0	0					0 充当率			
1.100   1.	一般財源	□特会 □受	益 口基金 口	その他			その他			□特会	会 口受益 口基金	☆ □その他			□受益 □基金	口その他	6
10   10   10   10   10   10   10   10	換算人数(人)	=112 =2		<b>V</b> • • • • • • • • • • • • • • • • • • •										. 7		_ ( /2	1. 14, 79
### 1.500	10) 人件實寺 嘱託職員報酬額				0			0	0					0			14, 78
************************************								•	_					•			14, 85
1			836.61千日	円/件		874. 13千円	]/件		932. 4								
************************************		eK)															
() () () () () () () () () () () () ()					事前						事後評	価(評価結果に	に応じ、改善案	を検討(拡充も含む	:) )		改善検討
10 日本の名の名本を含せる。					開発行為に関する:		・審査基準に基づき				どおり						
# の方面を含まれている。	(1)事業が今必要である理由		する開発行為	もの許可をす	する必要がある。			00	2事前確認	での想定。	どおりでなかった	t					〇要
### 1995/1995 (1997) 本学の経過することがあったでは、「全の社の内容)	背景は?(事業の必要性)											なかった原因>					●不要
□ のの		●①早問企業 N	NDO 市民	団体笙でけ	宇体できたい	くその他の内容>						+実施できたかっ	たして市実施	第の目体的な内容・	必要性の理は	15	
日本の地域の大きの発生に対している。	3.	(理由) ■法令等	で市が実施す	ることが定		くての他の内容と			②市が主導	で進めなり	ければ実効性がな	なかった				1/	
のご思想を含め、このでは、	要			:()							たことで市氏へ	普及が一層					
「日本の公司を担いった。	(2) 17万一大ルラ の必安には	○②自治体である	る市が推進する	べきである		<その他の内容>						閉に貢献した					〇要
□ 1 日本の表面に対した。		(理由) 口市が主	導で進めるこ	とにより実	実効性が得られる							れた					●不要
### 10 日本版	(11)(11)(11)				り、良質で安定した	t= 				容>							
# 20 (				より政策・	・施策の目標の												
### 10   10   10   10   10   10   10   1									実施した	参加・拉馬	動の具体的な内容	マ (又は今後					
□ 20 表現 (14) (14) (14) (14) (14) (14) (14) (14)		○○★★□▼□				工夫の具体	的な内容	AL.	参加・				000		働の程度・内	容	
	<b>≱</b>	〇②事業実施時	こ市民の参画	有り				該当	はし				●②当	初期待したとおり			
(別制では) ***	市民の参加や市民との協働る												03当	初の期待以下			〇要
対象の上   10	動 (体制づくり)	〇⑤市民と共同で											<期待し	た以上となった理	由/期待以下	であった原因>	
対象の正の	ŧ																
□ 日本																	
□ 通知に配慮して事業を進めている			配慮の	視点		取組む	内容			実施Ⅰ	した具体的な内 <b>容</b>	\$		·	危への配慮		
選換に配慮して事業を進めているのであるため、今後も表状とおり作業の行業を   20 事業別は選出している   100			生かしている			・緑地の確保						<del>-</del>		定どおり			
(1) 目標値の(3) 目標値の(4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	環    -   一環境に配慮して重要を進める	□③手賀沼を意詞	載している			・肉水を浸透させ地下水の涵養	さ図る	· 1	小を浸透る	させ、地下	小小の脳養を図る	0.0					
(1) 目標値の(3) 目標値の(4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	、 <sup>  株児に</sup> 配慮して事果を進める   いるか?	■④環境負荷低源		いる									<想定と	どおりでなかった原	因>		〇 要 ● 不要
(1) 目標値の(3) 目標値の(4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	d 數																<b>→</b> 113
100   10		<b>〜ての他の内容&gt;</b>															
100   10		現況値 (a) (%)	日煙値 (b	o) (%)		日標値の妥当性のチェック	ל			達成共识		●①目標値達	<mark>I</mark> 成				
100   10		2070 IE (Q/ (/II)	山 7末 (L)	I		·タ・事実に基づき設定している		<b>#</b>	a積値(f)(®	0	達成率(%)						
□③適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と 同等の水準である 実施下定の対策 実施状況 事業費 (a) (千円) (千円) (千円) (三十円) (三の力対応 三の受益者負担 コの 単数の対応 三の受益者負担 コの 単数の内容ン (上の人の) (上	(1)目標設定は適切か?	100	100						-includ (17 (7)	*	(f/b × 100)			成となった原因>			—— ○要 ●不要
対策実施による事業費削減 実施予定の対策 実施状況 実施が況 事業費の削減対策について □⑤ PF I 等民間資本の活用 □⑤ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等 PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等用の想定とおり不成の □⑥ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等用の想定とおり不成の □⑥ PF I 等用の想定とおり不成かった □⑥ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等表質を表質 PF I 等用の想定とおり不成かった □⑥ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等民間資本の活用 □⑥ PF I 等用の想定とおり不変による事業費以同 ○③ 想定事業費以内 ○③ PF I 等用の想定とおり不成かった □⑥ PF I 等に関本を表質とおりを表質を表質とおりを表質を表質とおりを表質とおりを表質とおりを表質の表質を表質といます。 PF I 等表質の規定とよりを表質の規定とよりを表質の規定とよりを表質を表質と同様の □ PF I 等に対している。 ■ PF I 等表質の規定とよりを表質の規定とよりを表質の規定とよりを表質を表質と同様の □⑥ PF I 等に関するの □⑥ PF I 等表質の規定とよりでは、PF I PF I 等に関するの表質を表質の規定とよりを表質の規定とよりを表質の規定とよりを表質の規定とよりを表質を表質を表質を表質を表質を表質を表質を表質を表質を表質を表質を表質を表質を		.,,,			□④適当な比較対	象が有る場合、比較対象例におけ	る目標値(と現況値	の差) と	100		100	適切に事務を行	rったため。				
カ 事業費(a) (千円)		対策実施によ	 よる事業費削減	減	四寺の小牛で					実施状況				事業	費の削減対策	について	
型型 (2) 事業費削減の工夫をして いるか?		事業費(c)(千円)						実終	責値 (g) (千1							t) = t-	
1 日	(の) 主要 書物 オのフェナー			٦ [	□③維持管理費の				13, 986								
The angle of the state of th	いるか?		<u> </u>	l				<b>&lt;</b> 超		>		J		<想定どおり削	澱できなかっ	に原因>	〇要 ●不要
3 目標値対事業費(e) 計算方法 達成状況 (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (日標対費用) 0.72 単位 費用単位 % 10万円 ●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業費 (2)2模数年度の指標:(目標値一現況値)×費用単位/事業費 (3)1 目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> (2)2 目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> (3)1 目標値以下 (3)1 目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> (3)1 目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> (3)1 目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> (4)1 目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> (4)1 目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> (4)1 目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> (4)1 目標値以下であった原因> (4)1 目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> (4)1 目標値以下のように関するは、(4)1 目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> (4)1 目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上によるに関するは、(4)1 目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった理由/目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった理由/目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった理由/目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった理由/目標値以上となった理由/目標値以上となった原因とは、(4)1 目標値以上となった理由/目標値以上を表面は由生体由/目標値以上を表面は由生体に由用性由生体由生体由/目標値以上を表面は由生体由生体由生体由生体由生体由生体由生体由生体由生体由生体由生体由生体由生体由																	
(3) 目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用)		7	. 13														
接じる事業費は適正か? (目標対費用)  0.72  単位 費用単位	(2) 日播牌+由电土 * * * *		目標値対事業	美費 (e)		計算方法	去			達成状況				標値以上となった	理由/目標値	以下であった原	(因)
(日標対資用) 0.72 100 0	投じる事業費は適正か?			単位				/事業费	実績値(h)								○要 ●不要
3. 事後評価  ●現状どおり推進 O拡充 O縮小 O結合 O休止 O廃止 O事業手法見直し Oその他(事業完了など)  評価コメント  本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。				%	1	○℃攻奴弁攻切汨係:(日標旭一切	ルルピノヘ复用単位/	尹木貝	0. 72								●个要
●現状どおり推進  〇拡充  〇縮小  〇結合  〇休止  〇廃止  〇事業手法見直し  〇その他(事業完了など)  評価コメント	3 事後評価								_								
評価コメント 本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。		℃ ○縮小	〇結合	〇休止	〇廃止 (	○事業手法見直し ○その他(	事業完了など)										
	, , , , , , , , , , , , , , , ,			評価コメ	メント		. ,					改善贫	策及び展開方向	白			
	<b>十市米は                                    </b>	TT 4++	+. 4. 4.4.	IBTA IS.	11## # 1												
		要不可欠なものである	ため、今後も	現状どおり	り推進していく。												

(1) 事業概要	予算の種類 □政策 □経常 ■なし
3事業名	
(1)事業根要     基本事業 個別事業 都市計画法第32条に基づく開発行為事前協議事務     実施計画への 位置づけ 口表孫子 口まる。       (3)事業主体     ●市 ○その他(     ) ④対象地区 口表孫子 □ (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	
□事業名 個別事業 都市計画法第32条に基づく開発行為事前協議事務 位位置づけ ③事業主体 ●市 ○その他( ) ④対象地区 □我孫子 □3 ⑤事業期間 平成14年度 ~ ⑥担当職員数	
(1) 事業概要  (1) 事業概要	● 無 ②部課名 都市部・市街地整備課
(1) 事業概要	J天王台     □湖北     □新木     □布佐     ■全市       7 人     (換算人数     1.3 人)
(当 初)	11,310 千円 (うち人件費 11,310 千円)
(人件費合む) 総事業費 0 千円 当該(開始)年度 変更後)	千円 (うち人件費 千円)
®施策の位置づけ     施策 コード     61002     重点プロジェクト への位置づけ     重点なし     基本計画地区別計画への位置づけ	●無 部門別計画への (計画名)
Mac   Ma	
展開方向 展開方向 展開方向	『理することとなる者と協議し同意を得なければならないことから、当該協議を行う
る事項(公共施設・公益的施設に関する事項、緑化の推進に関する事項、その他市長が必要と認める事項) い、協議が整った	■前協議申請者から事前協議申請書を受理したときは、適正な期間内で関係課と協議 □場合は協議書を作成し締結する。
執行計画	) 〇平方メートル以上の開発行為にあっては、原則として開発検討会を開催する。
(3)事業内容 内容 日本	1 90
当該年度 当該年度 活動結果指標	#数。 単位 件 字積値
(4)達成目標(期待する成果)     指標種類	指標 単位 (5)現況値 (6)目標
当該年度 都市計画法第32条の規定に基づき適正な期間で協議書を締結する。 直接 事前協議締結率(事	事前協議締結件数/事前協議申請件数) % 100
令和 3年度 都市計画法第32条の規定に基づき適正な期間で協議書を締結する。 直接 事前協議締結率(事	§前協議締結件数/事前協議申請件数) %
令和 4年度 都市計画法第32条の規定に基づき適正な期間で協議書を締結する。 直接 事前協議締結率(事	事前協議締結件数/事前協議申請件数) %
市が定めた条例、施行規則及び運用・審査基準により、必要となる公共施設等の整備に関する基本的事項等の事業者との協議に (7)事業実施上の課題と対応 おいて、これらの基本的事項について、理解を得ることに相当の時間を要する場合があることから、事前協議締結に向けて、事 代替案検討 〇有	•#
業者に対し的確かつ論理的に指導できるよう職員の資質の向上に努める。 平成31年度	
政     内容     金額(千円)     政     内容     予算額(千円)     決算額(千円)     政	金額(千円) 改 内容 金額(千
策:	
実施内容	
(8) 施行事項 費 用 目 目 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
予算(決算)額     合計     0     合計	0 合計
国庫支出金         補助率         0 %         0 補助率         0 %         0 %         0 が         前助率	0 % 0 補助率 0 % 0 補助率 0 %
(O) 計源 that	0% 0 充当率 0%
その他の財源 □特会 □受益 □基金 □その他 0 □特会 □受益 □るせ □る金 □るめ □を□を□を□を□を□を□を□を□を□を□を□を□を□を□を□を□を□を□を	
換算人数(人)	1. 4 12, 180 12
順記帳員與新聞組     0       臨時職員賃金額     0	0 0
事業費(予算(決算)額+正職員人件費) 12,320 11,310 11,310 (11)単位費用 880千円/件 807.86千円/件 754	12, 180
(事業費/活動結果指標) 000TFI/ H 7/34 7/34 7/34 7/34 7/34 7/34 7/34 7/34	
	(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善
法に基づく事務処理市として、我孫子市開発行為に関する条例に基づき、道路、公園などの公共施設等の設置及び管理に ●①事前確認での想定どおり	WI MARKET TO ST STEPRED TO A STATE OF THE ST
関して、関係各課と協議し協議書を締結する必要がある。	
	OB
では、	
背景は?(事業の必要性) < 想定どおりとした理由/想定どおりでなかっ都市計画法第3章第1節の規定による。 ■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない < その他の内容> ■①民間企業、NPO、市民団体等では実施	った原因>  ● 7  他できなかった
背景は?(事業の必要性)  《想定どおりとした理由/想定どおりでなか・都市計画法第3章第1節の規定による。  ●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない  □②市が生導で進めなければ実効性がなかっ □③市が先導役となったことで市民へ普及が	った原因>  並できなかった
背景は?(事業の必要性)  ② ・	った原因>  並できなかった った が できなかった お市計画法第3章第1節の規定による。  が が が が が が が が が が が が が が が が が が
***	● 7
###	った原因>  並できなかった った。 が一層  貢献した  ○ 表示  「一度 できなかった のできなかった。  「一度 できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。 「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。 「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。 「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。 「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。 「できなかった。 「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。
●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他  ○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定した サービスが保証される □市が支援することにより、良質で安定した サービスが保証される □市が支援することにより、良質で安定した サービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の 実現が図られる	った原因>  並できなかった った。 が一層  貢献した  ○ 表示  「一度 できなかった のできなかった。  「一度 できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。 「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。 「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。 「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。 「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。 「できなかった。 「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。  「できなかった。
●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他  ○②自治体である市が推進すべきである 「市実施の必要性)  ○②自治体である市が推進すべきである 「西市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が支援することにより、良質で安定した サービスが保証される □市が支援することにより、良質で安定した サービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の 実現が図られる □その他  ※加・投稿の内容  ★加・投稿の内容  ▼施した参加・協働の具体的な内容	った原因>  ***********************************
#	● 7
# 表示	● 7
# 表示	● 7
●①艮間企業、NPO、市民団体等では実施できない。	● 7
### (2) 事業計画時に市民の参画有り  ② 1 表示の参加や古民との接触を  ***  **  **  **  **  **  **  **  **	● 7
### (本来の必要性)	● 7
###	● 7
### (本業の必要性)	● 7
### (本業の必要性)	● 7
### (本業の必要性)	● 7
●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施するごとが定められている □目のかまかに関すべきであるのででは実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □目のが実施する必要性はあるのででは実施できながである市が進すべきである。 □市が建すべきめることにより実施性がなかっ □市が実施・指揮することにより、良質で安定したサービスが保証された □のサービスが保証された □のサービスが保証された □のサービスが保証された □のサービスが保証された □のサービスが保証を対すに関かを開催した。 □のサービスが発証することにより、良質で安定したサービスが保証された □のサービスが表がに関すべきである。 □のサービスが発が、指揮することにより、良質で安定したサービスが発がされる 「未成り変による。 □のサービスが表がに関すべきで表した。 □のサービスが表がに関すべきである。 □のサービスが表がに関することにより、良質で安定したサービスが表がに関することにより、良質で安定したサービスが表が、指揮することにより、良質で安定したサービスが表が、表示の目標の実施が高限された □のオービスが表が、指揮することにより、良質で安定したサービスが表が、施策の目標の実施が高限をが確保された □のオービスが表が、施策の目標の実施が高限とされた □のオービスが表が、施策の目標の実施が高限とされた □のオービスが表が、施策の目標の実施が高限の内容 ・表述したのの内容>  「本施した場所が表えられる場合にはその) ○の事業と共同で事業を実施 ●⑥その他の内容>  「記述の構成 ・同かと注意が、表示の情報を図る ■の情報が表えられる場合にはその) ・経地の確保・・南水を浸透させ地下水の涵養を図る ■の非常が表示が、表示の情報・・一様地の確保・・南水を浸透させ地下水の涵養を図る ■の非常が表示が、表示の情報・・一様地の確保・・南水を浸透させ地下水の涵養を図る。 ■の非常が表示が、表示の情報・・一様地の確保・・一雨水を浸透させ地下水の涵養を図る。 ■の非常が表示が、表示の情報・・一様地の確保・・一雨水を浸透させ地下水の涵養を図る。 ■の非常は、表示が、表示が、表示が、表示が、表示が、表示が、表示が、表示が、表示が、表示が	● 7
●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理) ■②民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理) ■②民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理) □は持ちでは対象が表した。 「で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	● 7
●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (別金) ■○民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (別金) ■○民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (別金) ■公本で市が発展することが定められている □日氏は生体が市しかない □その他 〇2自治体である市が推進することが定められている □日が実施で進めなければ実験が見かることが定められている □日が実施で進めなければ実験が対象がなかった。ことで再と考案が (原金された。 ロールが主導で進めることにより実効性が得られる □市が発展・接体することにより、良質で変更した サービスの変定体熱基盤が確保された □の方型を変し、特別では、施工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	● 7
#	● 7
# 対象性 ( 「 中来の必要性)	● 7
# 素性で (事業の必要性)    ***********************************	● 7
#	● 7
#	● 7
# (日本の必要性)	● 7
	● 7
	● 7
	● 7
	● 7
	● 7
・	● 7

事業コード									2年度								
		870		į	課コード	0705		会計種別	一般会	計			予算(	の種類 [	□政策	□経常	■なし
1. 事業の概要(Pl	LAN)																
		①事業名	基本事業							画への	0.7	有 ●無		②部課名	都市部・市	市街地整備課	
		③事業主体	個別事業	都市計画法:	第43条に基づく到	<b>書築許可事務</b>		`	位置 ④対象均	置づけ 	□我孫子		□湖北	□─────────────────────────────────────	口布佐	■全市	
		⑤事業期間	UII)	しての他				,	⑥担当職		口找旅丁		6 人	 (換算人数	LITIME	0.45 人)	
(1)事業概要		⑦事業費	総事業費		1	0 千円			当該(阻	 開始) 年度	(当 初)	;	3,915 千円	(うち人件費		3,915 千円)	
		(人件費含む)	和于木具				<u> </u>		362 (17	1747 - 174	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策 コード		61002	重点プロジェクト への位置づけ	重点	まし		画地区別 )位置づけ	07	有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
(0) 日本						 用を実現するため、都市計画法を  第444年   禁煙を進む		令や開発行為に		* - 45				・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			Eしようとする <sup>5</sup>
(2)目的		展開方向				築行為の適正な規制・誘導を進め:				美目的 —————				3条に基づき建築			* I - W A I - I .
(3)事業内容		内 容	許可を得な 1種特定コ 第3号に規 このことか	はければ、第 E作物を新設 現定する建築 いら、立地の	29条第1項第2 してはならず、る 物以外の建築物と 適正性が確保され	域のうち開発許可を受けた開発区2 号若しくは第3 号に規定する建また、建築物を改築し、又はその)としてはならないと規定しているれていることが認められることの 適合すると認めた場合は、当該許	築物以外の建築物で 用途を変更して同い。 。 可否については、※	新築し、又は第 第2号若しくは 令の基準に適合	当 数 数 行 计 	核年度 計画		許可書を交付す		は、適正な期間内	りで速やかに 単化	想定值	1
/ A \ \ = -2					\± -4 - 0 10	= (+n/+ -1, 7 -1; B)				吉果指標 		11	- 1mm			実績値	
(4)達成目標(期待する成 当該年度	.果)	都市計画法43条	の規定に基づ	づき、適正な		票(期待する成果) 。			_	票種類  i接	許可率(許可件		標		単位		(6)目標値
一		都市計画法43条	の規定に基づ	づき、適正な	期間で許可する。	,			<u> </u>	- /×  〔接	許可率(許可件	-数/申請件数)			- 1%		10
		都市計画法43条	の規定に基づ	づき、適正な	期間で許可する。	,			<u> </u>		許可率(許可件	-数/申請件数)			- 1%		10
令和 4年度 									<u>E</u>	接					70		10
(7)事業実施上の課題と対	讨応								代替	案検討	07	有 ●無					
			平成31	年度			令和 2年度					] 3年度			令	和 4年度	
		政策	内 容		金額(千円)	政 内 容	予算:	頁(千円) 決算額	頃(千円)	改	内 容		金額(千円)	) 政策	内	容	金額(千円)
		建築許可に係る	事務		0	建築許可に係る事務		0		建築許可	可に係る事務			0 建築許可に	に係る事務		,
実施(8)施行事項 費	内容用																
予算(決 国庫支	七出金	補助率	計	0 %	0		0 %	0	0	補助率	合 計	0 %		0 補助率	合 計	0 %	1
県支		補助率 充当率		0 % 0 %	0	補助率 充当率	0 %	0	0	補助率 充当率		0 % 0 %		0 補助率 0 充当率		0 % 0 %	
(9) 財源内訳 一般 その他	財源	□特会 □受益	カー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		0			0	0		会 □受益 □基金			0	□受益 □基:		
換算人	数(人)	口付云 口叉1	1 口垄立 L	그건이면	0. 35	口付云 口文無 口基並 口	7 07世	0. 45	0. 45	<u>□117</u>	文 口文堂 口茎亚	口での他	0.	35		표 나 ( 어떤	0. 3
(10) 人件費等 正職員 嘱託職員	報酬額				3, 080 0			3, 915 0	3, 915 0					0			3, 04
┃ 臨時職員 事業費(予算(決算)額+正職					3, 080			0 3, 915	0 3, 915				3, 04	0 45			3, 045
(11)単位費用 (事業費/活動結果抗	旨標)		236. 92千	円/件		301.15千円	円/件		652. 5								
2. 事業の評価(DO	O+CHECK	)															
評価項目					事前	打評 価					事 後 評	価(評価結果に	応じ、改善家	を検討(拡充も含む	t))		改善検討
		法に基づく事務処3 3条に規定する建			<b>発行为に関する</b>					での想定の	どおり どおりでなかった						
(1)事業が今必要でも 背景は?(事業の			築物の建築計	許可をする必		条例及び我孫子市開発行為等運用	・審査基準に基づ					-					
月景16:《爭未》		0米10就足,0座;	築物の建築語	許可をする必		条例及び我孫子市開発行為等連用	・審査基準に基づる	0	②事前確認								O要 
	æ⊈I±/	0米10%足,0足。	築物の建築語	許可をする必		条例及ひ技孫子市開発行為等連用	・審査基準に基づる	○ <#	②事前確認	とした理由	1/想定どおりで 対定による。						 ○要 ●不要
Xia	æ⊈i±/	●①民間企業、N	PO、市民	団体等では写	要がある。	条例及び我孫子市開発行為等連用	・審査基準に基づる	○ <* 都市	②事前確認 想定どおり 計計画法第 ①民間企業	とした理由 3章第1節の <sup>美</sup> 、NPO、	1/想定どおりで 対定による。 、市民団体等では	なかった原因>		西の具体的な内容・15は第2章第1第の4		由>	
	æ <b>∀</b> i±/	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主	IPO、市民 で市が実施す 本が市しか <i>を</i>	団体等では9 することが定	要がある。		・審査基準に基づる	○	②事前確認 想定どおり 計画法第 ①民間企業 ②市が主導 ③市が先導	とした理由 3章第1節の 、NPO、 拿で進めなり 算役となった	1/想定どおりで )規定による。	なかった原因> t実施できなかっ tかった		西の具体的な内容・ 団法第3章第1節の対		由>	
必要性 (2)市が実施する必要		●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主付 □その他	IPO、市民で市が実施す をが市しかな	.団体等では写 することが定 ない	要がある。	<その他の内容>	・審査基準に基づ		②事前確認 想定どおり 市計画法第 ①民間企業 ②市ががきる ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	とした理由 3章第1節の 等、NPO、 等でとなった はた 最が政策・力	1/想定どおりで 規定による。 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現	なかった原因> は実施できなかっ いった そ及が一層				由>	●不要
要 性 (2) 市が実施する必3 あるか?	要性は	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主□その他 ○②自治体である (理由) □市が生き	PO、市民 で市が実施す 本が市しかな 市が推進す <b>・</b>	団体等ではず することが定 ない べきである ことにより実	要がある。	<その他の内容>         <その他の内容>	・審査基準に基づ		②事前確認 り第 製定計 民市が進の一一 (2) (3) (4) (5) (6) (6)	とした理由 3章第1節の き、NPO、 きで進なった きでとなった にた いた そ、が政策で確	1/想定どおりで 規定による。 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現	なかった原因> (実施できなかった)かった たみが一層 引に貢献した				由>	
要性 (2) 市が実施する必要	要性は	●①民間企業、N (理由) ■法件共生 □その他 ○②自治体である (理由) □市が実	PO、市民 で市が実施す 本が市しかな 市が推進す <b>・</b>	団体等では導することが定 ない べきである ことによりり	要がある。 実施できない められている	<その他の内容>         <その他の内容>	・審査基準に基づ	<	②事前確認 想定どおり 計計画法 可民間がが第 の市が進るが の市が進るが のでである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	とした理由 3章第1節の ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	1/想定どおりで 対策による。 市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現 保された	なかった原因> (実施できなかった)かった たみが一層 引に貢献した				由>	●不要
要 性 (2) 市が実施する必3 あるか?	要性は	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主 □その他 ○②自治体である (理由) □市が主 □市が支 □市が支	PO、市民で で市が東しかな す。 市が推進の供 で 連るで で 提証され な で な な る で る で る で る で る で る で も の で も の で る で る り る で る り る り る り る り る り る り る	団体等ではますることが定ない べきでありましたといる ことにといより なる	要がある。	<その他の内容>         <その他の内容>	・審査基準に基づ	<	②事前確認 り第 お法 日間がが進の一一の の	とした理由 3章第1節の ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	1/想定どおりで 対策による。 市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現 保された	なかった原因> (実施できなかった)かった たみが一層 引に貢献した				由>	●不要
要 性 (2) 市が実施する必 あるか?	要性は	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主 □その他 ○②自治体である (理由) □市が主 □市が支 □市が支	PO、市民すでであれた。 ですが推進するでは、市が推進するで、 は市が推進するで、 は市が推進するといる。 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できまれています。 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	団体等では写 することが定 ない べきである ことにより ことにより いる こより ひ策・	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容>		<	②事前確 お法 全事 に お法 金 を まま と 画 関が 主 たき まま きま まま きま きょう	とした理由 とした理由 を N P の い 等でをとなった ないなが、 を がながながながながない。 を がながながながない。 を がなながながない。 を がなながながない。 を がなながながない。 を がなない。 を がなない。 を がなない。 を がなない。 を がなない。 を がなながながない。 を がなない。 を がなながながない。 を がなない。 を がなない。 を がなながながない。 を がなない。 を できなない。 を できななない。 を できななない。 を できななない。 を できななない。 を できななない。 を できななない。 を できななない。 を できななない。 を できななない。 を できなななない。 を できなななななない。 を できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	1/想定どおりで 対策による。 市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現 保された	なかった原因> は実施できなかったかった かった そ及が一層 記に貢献した		函法第3章第1節の対	見定による。		●不要
要 性 (2) 市が実施する必3 あるか?	要性は	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主□その他 ○②自治体である (理由) □市が主ョ □市が実ニー □市が実に □市が変に □表理が □で表現が □その他	PO、市民すでであれた。 でで本が作進するで、 は市が推進するで、 は市が推進するで、 はいでは、 もいでは、 もいでは、 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。	団体等では写することが定ない べきでありることにといることによいること り 政策・	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容>         <その他の内容>			② ま計 1 (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	とした理由 多事1節の を、NPのなった を見で進めなった したした 最が東が確け、 大水準が確け、 なの安定供給 を を を かい、 を を を を を を を を を を を を を	は一想定どおりで 対策による。 市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現 深された 徐基盤が確保され	なかった原因> は実施できなかったかった F及が一層 はに貢献した たた	都市計画	参加・協			●不要
要性 (2) 市が実施する必多あるか? (市実施の必要性	<b>要性は</b> )	●①民間企業、N(理由) ■提供生 □ ほん である (理由) □ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	PO、市民で本が市民ので本が市事で、世界では、東海で、大学をできる。 中で、東海でで、東海でで、東海でで、東海でで、東京で、東京で、東京で、東京で、東京で、東京で、東京で、東京で、東京で、東	団体等ではますない べきにといる まいました ない ことにといる りゅう りゅう りゅう おり ・ 「	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容>			② 事前 では、	とした理由 多事1節の を、NPのなった を見で進めなった したした 最が東が確け、 大水準が確け、 なの安定供給 を を を かい、 を を を を を を を を を を を を を	は一想定どおりでは現定による。 市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ普施策の目標の実現になれた。 を発生を表現しています。 市民団体がなる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なかった原因> は実施できなかったかった F及が一層 はに貢献した たた	都市計画	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり	<b>品働の程度・</b>		●不要
要性 (2) 市が実施する必多 あるか? (市実施の必要性	<b>要性は</b> )	●①民間企業、N (理由) ■法供生の他 ○②自治体である(理由) □市かが実に、□市が支援、□市が支援、□市が支援、□市が支援が、□をの他 ○①事業計画時に○②事業・運・運・運・回りの。○③管市民の自主的	Pの、実し 進るすさとに 準るすさとに 準め供証こる ・ 参 民民のの参と に市市民民活 が	団体等では写するい べきにと り 内 内 りりしてい ない ない ない ない ない 内 内 りりしている いっこん ない	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容>			② ま計 1 (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	とした理由 多事1節の を、NPのなった を見で進めなった したした 最が東が確け、 大水準が確け、 なの安定供給 を を を かい、 を を を を を を を を を を を を を	は一想定どおりでは現定による。 市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ普施策の目標の実現になれた。 を発生を表現しています。 市民団体がなる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なかった原因> は実施できなかったかった F及が一層 はに貢献した たた	都市計画 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	<b>品働の程度・I</b>	内容	● 不要 ○ 要 ● 不要
要性 (2) 市が実施する必多 あるか? (市実施の必要性	<b>要性は</b> )	●①民間企業、N (理由) ■法令等主 □提供の他 ○②自治体である。 (理由) □市市が実 □市市が実現が □大がよりでする。 ○③事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に	Pの、実し 進るすさとに 準るすさとに 準め供証こる ・ 参 民民のの参と に市市民民活 が	団体等では写するい べきにと り 内 内 りりしてい ない ない ない ない ない 内 内 りりしている いっこん ない	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容>			② ま計 1 (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	とした理由 多事1節の を、NPのなった を見で進めなった したした 最が東が確け、 大水準が確け、 なの安定供給 を を を かい、 を を を を を を を を を を を を を	は一想定どおりでは現定による。 市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ普施策の目標の実現になれた。 を発生を表現しています。 市民団体がなる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なかった原因> は実施できなかったかった F及が一層 はに貢献した たた	都市計画 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり	<b>品働の程度・I</b>	内容	● 不要 ○ 要 ● 不要
要性 (2) 市が実施する必多 あるか? (市実施の必要性	<b>要性は</b> )	●①民間企業へ等等 □提供・1 ■ は法供・1 である。 □提供・1 □ を である。 □理由)□市市市市市市が実に □東東が、1 □ を である。 ・ できる。 ・ である。 ・ できる。 ・	Pの、実し 進るすさとに 準るすさとに 準め供証こる ・ 参 民民のの参と に市市民民活 が	団体等では写するい べきにと り 内 内 りりしてい ない ない ない ない ない 内 内 りりしている いっこん ない	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容>			② ま計 1 (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	とした理由 多事1節の を、NPのなった を見で進めなった したした 最が東が確け、 大水準が確け、 なの安定供給 を を を かい、 を を を を を を を を を を を を を	は一想定どおりでは現定による。 市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ普施策の目標の実現になれた。 を発生を表現しています。 市民団体がなる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なかった原因> は実施できなかったかった F及が一層 はに貢献した たた	都市計画 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	<b>品働の程度・I</b>	内容	● 不要 ○ 要 ● 不要
要性 (2) 市が実施する必多 あるか? (市実施の必要性	<b>要性は</b> )	●①民間企業、ペ (理由) ■ は提供である(理由) □ は は は は で は で が ま で が 現 が で で で で で で で で で で で で で で で で	P の、実施ので本が市岸で本が市岸で地域では、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京	団体によい では定 がことにという ありよに 政 容 の内 りりしているよい ない	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容>         <その他の内容>         工夫の具体	が的な内容		② ま計 1 (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	とした理由の	は一想定どおりで 対規定による。 ・市民団体等では 対ればまででは 施策の目標の 保された 経基盤が確保され を はなる場合には 動の具体的な内容 とのれる場合には	なかった原因> は実施できなかった。 たかかが一層 はに貢献した はた。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	都市計画 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった到	現定による。 品働の程度・I 里由/期待以	内容	● 不要 ○ 要 ● 不要
要性 (2) 市が実施する必多 あるか? (市実施の必要性	<b>要性は</b> )	●①民間企業へ等等 □提供・1 ■ は法供・1 である。 □提供・1 □ を である。 □理由)□市市市市市市が実に □東東が、1 □ を である。 ・ できる。 ・ である。 ・ できる。 ・	P の、実施の 市市で本 本 市	団体によい では定 が では かっかい かっぱい かんしょ かん からい かん	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容>	x的な内容	○	② 東 東 ま ま は い に で で の の の の の の の の の の の の の	とした理由の とした理由の では いかい にゅう とした 理由の できまず の いのなっつ に が で は のなっつ に が で は の で かい が な 安 かい が な かい	は一想定どおりでは現定による。 市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ普施策の目標の実現保された。 を基盤が確保された。	なかった原因> は実施できなかった たみが一層 は「貢献した した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市計画 ○①当当 ○②当 <期待 L	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった到	<b>品働の程度・I</b>	内容	● 不要 ○ 要 ● 不要
要性 (2) 市が実施する必多 あるか? (市実施の必要性 を加・協働の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	要性は )	●①民間企業、	P O が市市 が車 進るすさとに	団体によい では定 が では かっかい かっぱい かんしょ かん からい かん	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容>         <その他の内容>         工夫の具体	x的な内容	○	② 東 東 ま ま は い に で で の の の の の の の の の の の の の	とした理由の とした理由の では いかい にゅう とした 理由の できまず の いのなっつ に が で は のなっつ に が で は の で かい が な 安 かい が な かい	は一想定どおりでいます。 ・ 市民団体等では ・ 市民団体性がな ・ 市民では一様の主要では、 ・ 市民の目標の実際では、 ・ でなれた。 ・ では、 ・	なかった原因> は実施できなかった たみが一層 は「貢献した した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市計画 ○①当当 ○②当当 <期待し	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 」た以上となった到 環	現定による。 協働の程度・1 里由/期待以 境への配慮	内容	● 不要 ○ 要 ● 不要
要性 (2) 市が実施する必多 あるか? (市実施の必要性 ・ 市民の参加や市かの に(体制づくりり)	要性は )	●①民間 企業、N等等は 日本 の	P P 市が市	団体ではますない べきにと り 内 内 有有有携 の視点	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容>         <その他の内容>         工夫の具体	x的な内容	○	② 東 東 ま ま は い に で で の の の の の の の の の の の の の	とした理由の とした理由の では いかい にゅう とした 理由の できまず の いのなっつ に が で は のなっつ に が で は の で かい が な 安 かい が な かい	は一想定どおりでいます。 ・ 市民団体等では ・ 市民団体性がな ・ 市民では一様の主要では、 ・ 市民の目標の実際では、 ・ でなれた。 ・ では、 ・	なかった原因> は実施できなかった たみが一層 は「貢献した した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市計画 ○①当 ○②当 ○③当 ○ ○②想	参加・協 初期待したとより 初期待したとより 初の期待以下下 た以上となった理 定どおり	現定による。 協働の程度・1 理由/期待以 境への配慮 た	内容	● 不 要 要
要性 (2) 市が実施する必多 あるか? (市実施の必要性 ・ 市民の参加や市かの に(体制づくりり)	要性は )	●①民間 ②全等等に ②を であると ② ② 自治は 下の であると ※ を 等 (理由) □ は 体 で あると ※ で が 実 で で で が 実 で で が 実 で で で が 実 で で で で	P P 市が市	団体ではますない べきにと り 内 内 有有有携 の視点	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容>         <その他の内容>         工夫の具体	x的な内容	○	② 東 東 ま ま は い に で で の の の の の の の の の の の の の	とした理由の とした理由の では いかい にゅう とした 理由の できまず の いのなっつ に が で は のなっつ に が で は の で かい が な 安 かい が な かい	は一想定どおりでいます。 ・ 市民団体等では ・ 市民団体性がな ・ 市民では一様の主要では、 ・ 市民の目標の実際では、 ・ でなれた。 ・ では、 ・	なかった原因> は実施できなかった たみが一層 は「貢献した した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市計画 ○①当 ○②当 ○③当 ○ ○②想	参加・協 初期待したとより 初初期待したとより 初初期待したとより でなった では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	現定による。 協働の程度・1 理由/期待以 境への配慮 た	内容	● 不要  ○ 要要要  ○ 不要
要性 (2) 市が実施する必多 あるか? (市をかかののでののでは、 (市実施の必要性 では、 (市実施の必要性 では、 (市実施の必要性 では、 (市実施ののでは、) (市実施する必必要性 では、 (市実施する必必要性 では、 (市実施する必必要性 では、 (市実施する必必要性 では、 (市実施する必必要性 では、) (市実施する必必要性 では、) (市実施する必必要性 では、) (市実施する必必要性 では、) (市実施する必必要性 では、) (市実施する必必要性 では、) (市実施する必必要性 では、) (市実施する必必要性 では、) (市実施する必必要性 では、) (市実施ののと) (市実施ののと) (市実施ののと) (市実施ののと) (市実施ののと) (市実施のと) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、	要性は )	●①民間 企業、N等等は 日本 の	P P 市が市	団体ではますない べきにと り 内 内 有有有携 の視点	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容>         <その他の内容>         工夫の具体	x的な内容	○	② 東 東 ま ま は い に で で の の の の の の の の の の の の の	とした理由の とした理由の では いかい にゅう とした 理由の できまず の いのなっつ に が で は のなっつ に が で は の で かい が な 安 かい が な かい	は一想定どおりでいます。 ・ 市民団体等では ・ 市民団体性がな ・ 市民では一様の主要では、 ・ 市民の目標の実際では、 ・ でなれた。 ・ では、 ・	なかった原因> は実施できなかった たみが一層 は「貢献した した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市計画 ○①当 ○②当 ○③当 ○ ○②想	参加・協 初期待したとより 初初期待したとより 初初期待したとより でなった では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	現定による。 協働の程度・1 理由/期待以 境への配慮 た	内容	● 不 要 要
要性 (2) 市が実施する必多 あるか? (市実施の必要性 ・ 市民の参加や市かの に(体制づくりり)	要性は )	●①民間 ②全条、 N 会 等 (理由) ■ は	P P 市が市	団体には (すない では) では (では) では (では) では (でない でない でない でない でない でない でない (でない でない でない (ない でない でない でない (ない でない でない (ない ) では ) では (ない ) では ) では (ない ) では (ない ) では ) では (ない ) では (ない ) では ) で	要がある。 を施できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容>         <その他の内容>         工夫の具体	が が が 内容 養を図る	○	② 東 東 ま ま は い に で で の の の の の の の の の の の の の	とした理由の とした理由の では いかい にゅう とした 理由の できまず の いのなっつ に が で は のなっつ に が で は の で かい が な 安 かい が な かい	は一根定どおりでは 対規定による等では 対したことののたた 施策な主が確保とする。 にはまかが確保とする。 はなる場合には かのよれる場合には かのよれる場合には かのよれる場合には かのよれる場合には かのよれる場合には かのよれる場合には かのよれる場合には	なかった原因> は実施できなかった	都市計画  ○①当  ○②当  ○ ③ 3 当  ○ 1 想想  ○ 2 想定と	参加・協 初期待したとより 初初期待したとより 初初期待したとより でなった では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	現定による。 協働の程度・1 理由/期待以 境への配慮 た	内容	● 不 要 要
要性 (2) 市が実施する必必要性 (2) 市が実施する必必要性 (2) 市が実施する必必要性 (1) 市る方と (市を) かった (市 民ののでは、 (本 制 づくりり) (本 制 で は し て で 事業 環境への配慮	要性は ) の協働を を進めて	●①民間 企業へ等等(理由) ■ 提供の他   ○②自   ○②自   ○②自   ○②自   ○②自   ○③を   ○⑤を   ○○の   ○○の	P O が市 が 進提保 O A で A で A で A で A で A で A で A で A で A	団体には はない ではまではまた。 ででは、ででは、ででは、ででは、ででは、ででは、ででは、ででは、ででは、ででは	要がある。 と	マ・事実に基づき設定している	が が が 内容 養を図る	○	② 東 東 ま ま は い に で で の の の の の の の の の の の の の	とした理由の のない の で進と を で進と を で進と を で進と を が で が 皮 が で が 皮 が が 変 が が が な が な が な が な が な が な が な が	は一根定どおりで が規定による ・市民団体性がな ・市民団体性がな ・一部ではないでは ・一部ではないでは ・一部ではないでは ・一部ではないでは ・一部ではないでは ・一部ではないでは ・一部ではないでは ・一部ではないでは ・一部ではないでは ・一部ではないでは ・一では ・一	なかった原因〉  「実施できなかった」  「大人が一層  「は、一人では一人では一人では一人では一人では一人では一人では一人では一人でする。」  「「人人では一人でする」  「「人人でする」	都市計画  ○①当  ○②当  ○ ③ 3 当  ○ 1 想想  ○ 2 想定と	参加・協 初期待したとより 初初期待したとより 初初期待したとより でなった では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	現定による。 協働の程度・1 理由/期待以 境への配慮 た	内容	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 p
要性 (2) 市が実施する必多 あるか? (市実施の必要性 ・ 市民の参加や市かの に(体制づくりり)	要性は ) の協働を を進めて	●①民間 企業へ等等(理由) ■ 提供の他   ○②自   ○②自   ○②自   ○②自   ○②自   ○③を   ○⑤を   ○○の   ○○の	P O が市 が 進提保 O A で A で A で A で A で A で A で A で A で A	団体等には で は で が で が で が で が で と が で と が で と が で と が こ と こ も い の 内 り り り し て こ こ て る 実 り し て い な 容 で れ に ひ な の 内 り り し て い な 点 い る し ) (%)	要がある。		s的な内容 ウ ク	○	② また計 ①②③ ④⑤⑥⑦での 実 な な な と を 浸透 値 (f)()	とした理由の のない の で進と を で進と を で進と を で進と を が で が 皮 が で が 皮 が が 変 が が が な が な が な が な が な が な が な が	は一根定どおりでは、 対規定による等では ければ実効氏に 施策なが確保とする。 には、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 を	なかった原因>  宝実施できなかった  テみが一層  記して  ・ (又は今後、 その内容)  ・ (では今後、 ・ での内容)  ・ では今後、 ・ では今後、 ・ では今後、 ・ では今後、 ・ では今後、 ・ ではずればした。	都市計画  ○①当当当  ○②3当  <期待し  ○②2割  ○想想  ○②2を  ○②2を  ○○2を  ○○2	参加・協 初期待したとより 初初期待したとより 初初期待したとより でなった では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	現定による。 協働の程度・I 理由/期待以 境への配慮 た 原因〉	内容	● 不 要 要
要性 (2) 市が実施する必多が実施する必多ができた。 (市を変更性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市が実施の必要性 (1) 市る大学を (1) では、 (本部では、 (本語では、 (本語では	要性は ) の協働を を進めて	●①民間企業、N(理由) ■ほと (理由) ■ は (理由) ■ は (理由) ■ は (理由) □ (型を) を (型を)	P O が 市	団体等には で は で が で が で が で が で と が で と が で と が で と が こ と こ も い の 内 り り り し て こ こ こ も い の 内 り り し て い な に と な い の 内 り り し て い の 内 り り し で い の 内 り り し で い の 内 の り り し で い の 内 の り り し で い の 内 の り り し い の 内 の り り し い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	要がある。	マ・事実に基づき設定している 実が小さい値ではない がかようい値ではない がから、比較対象例におけ	s的な内容 ウ ク	○	② また ・ a b i i i i i i i i i i i i i i i i i i	とした理由の のない の で進と を で進と を で進と を で進と を が で が 皮 が で が 皮 が が 変 が が が な が な が な が な が な が な が な が	は一根定どおりでは現定による。 市民団体性がな   ・ 市民団体性がな   ・ 市民団体性がな   ・ 市民ではなっています。   ・ 市民ではないでは、   ・ 市民ではないではないではないでは、   ・ 市民ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	なかった原因>  は実施できなかった  おみが一層  記して  (又は今後、 その内容)  ●①②目標値値  ○②目標を発を  <適切に	都市計画  ○①当当 ○②③当  <期待し  ○②3当  <想定と  た理由/未達 ったため。	参加・協 初期待した以上 初期特したとおり 初の期待したとなった理 定どおりでなかった原	現定による。 協働の程度・I 理由/期待以 境への配慮 た 原因〉	内容	● 不 要 要
要性 (2) 市が実施する必多が実施する必多ができた。 (市を変更性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市が実施の必要性 (1) 市る大学を (1) では、 (本部では、 (本語では、 (本語では	要性は ) の協働を を進めて	●①民間企業、N(理由) ■ほと (理由) ■ は (理由) ■ は (理由) ■ は (理由) □ (型を) を (型を)	P O が市 が 推 め 供証 こる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	団体には ない ではまで ではまで では ない べきにと り の 内 りりり している ない ない ない の 内 りりり している しい (%) ■ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	要がある。	マチの他の内容>  「大の具体  「大の異体  「大の表体  「大の異体  「大の表体  「大の表	が内容 か内容 きを図る	○ <	② また計 ①②③ ④⑤⑥⑦ で	として 1 日本 1 日	は一根定どおりでは現定による。 市民団体学がな 等では 対抗定による 等では 対抗定に 中間 では 対抗 で の 目標 の 具体 が 確保 と お が 確保 は な な 内容 は が な 内容 は で は 水の 海 巻 を 図 る の で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	なかった原因>  宝実施できなかった  テみが一層  記して  ・ (又は今後、 その内容)  ・ (では今後、 ・ での内容)  ・ では今後、 ・ では今後、 ・ では今後、 ・ では今後、 ・ では今後、 ・ ではずればした。	都市計画  ○①②③③ ○ 期待し  ○②②③ ○ 対域を表現して、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では	参加・協 初期待したとより 初期特待したと下 の以上となった理 定定どおりでなかった原 でまるいった原因>	現定による。  協働の程度・  理由/期待以  技への配慮  た  原因>	内容	● 不 要 要
要性 (2) 市が実施する必必要性 (2) 市が実施する必必要性 (2) 市が実施する必要性 (1) 市るかにのの工夫 (1) 目標 (1) は適切が (1) 目標 (1) は適切が (1) 目標 (1) 目標 (1) に応う	要性は ) の協働を を進めて	●①民間 □ (理由) □ (型电) □	P O が市 市 が	団体には (する) (は) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な	要がある。		が内容 の内容 後を図る ク ・ る目標値(と現況値 ・ 工等民間資本の活. 者負担	○ <	② また計 ①②③ ④⑤⑥⑦での 実 な な な と を 浸透 値 (f)()	とした理由の とした 理由の とした 理由の とした 理由の とした 理由の こう まで	は一根定どおりでは現定による、市民団体性がない。 市民団体性がない 一年には実効 日標の 目標の まま 一年ではない 一年では、本年では、本年では、本年では、本年では、本年では、本年では、本年では、本	なかった原因〉  (実施できなかった  (実施できなかった  (大力が一層  (大力が	都市計画  ○①当当当当  ○②3当  ○別表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	参加・協 初期待した以上 初初期特したとと 初初期特したとと の以上となった で定 どおり でなかった に定 がおりでなかった に対 のは になった に対 になる になる になる になる になる になる にはなる にはなる にはなる	現定による。  協働の程度・I  関連の配慮  た  原因>  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容 下であった原因	● 不 要 要
要性 (2) 市が実施する必必要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市のの必要性 (2) 市のののでののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	要性は ) の協働を を進め で	●①民間 □ (理由) □ (型面) □ (□ (型面) □ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (	P P 市が市	団ない では で が で が で が で が で が で が で が で が で と が で か り り り り り し て こ こ こ こ こ こ こ の 内 り り り し て い の の り り り し て い の の り り り し て い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	要がある。  「他のは、		が内容 の内容 後を図る ク ・ る目標値(と現況値 ・ 工等民間資本の活. 者負担	○	② また ① ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (1) ③ ③ (1) ② ③ (1) ③ ② (2) ④ ⑤ ⑤ ⑦ ぞの とかった できない できない できない できない できない できない できない できない	として理由の とした 理由の ことの ことの ことの ことの ことの ことの ことの ことの ことの こと	は 規定 どおりで が 現 定 に は い が で は けれ に は で は けれ に は で は けれ に ま で れた に 策 か れた 確 保 さ れ が 確 保 さ れ が 確 保 さ れ が 確 な し は は し か な 内 容 し に 水 の 酒 養 を 図 る に は で (%) (f/b×100) 100	なかった原因>  (実施できなかった	都市計画  ○①当当当当  ○②3当  ○別表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	参加・協 参加・協 初期特したとより 初初の期待したと下 元となった到 定どどおりでなかった原 はななった原因〉	現定による。  協働の程度・1  理由/期待以  境への配慮  た 原因>  ・ 養理定ど  ・ 大きでである。	内容 下であった原因: 策について なかった	● 不 要 要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必多が 実施する必要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市が実施の必要性 参加・協働の工夫 参加・特別のでは、 (本) を表し、 (本) を表	要性は ) の協働を を進め で	●①民間 □ (理由) □ (型面) □ (□ (型面) □ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (	P 市施か (市 京 施 ス 髪図) ** 市市市 市 本 大 変	団ない では で が で が で が で が で が で が で が で が で と が で か り り り り り し て こ こ こ こ こ こ こ の 内 り り り し て い の の り り り し て い の の り り り し て い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	要がある。		が内容 の内容 後を図る ク ・ る目標値(と現況値 ・ 工等民間資本の活. 者負担	○	② また ① ② ③ (4) ⑤ ② で まな が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	として理由の とした 理由の ことの ことの ことの ことの ことの ことの ことの ことの ことの こと	が規定による は が規定には は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	なかった原因>  (実施できなかった	都市計画  ○①当当当当  ○②3当  ○別表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	参加・協 初期待した以上 初初期待した以上 がれた以上となった可 た以上となった可 定定どおりでなかった原 ざおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原	現定による。  協働の程度・1  理由/期待以  境への配慮  た 原因>  ・ 養理定ど  ・ 表現定とど  ・ と 表現 の 削減 り で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	内容 下であった原因: 策について なかった	● 不 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必多が 実施する必要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市が実施の必要性 参加・協働の工夫 参加・特別のでは、 (本) を表し、 (本) を表	要性は ) の協働を を進め で	●①民間 □企業、N等主件 (理由) □ □ (理由) □ □ (理由) □ □ (型度) □ □ (型度) □ □ (型度) □ (ZE) □ (ZE	P P 市が市	団ない では で が で が で が で が で が で が で が で が で と が で か り り り り り し て こ こ こ こ こ こ こ の 内 り り り し て い の の り り り し て い の の り り り し て い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	要がある。  「他のは、		が内容 の内容 後を図る ク ・ る目標値(と現況値 ・ 工等民間資本の活. 者負担	○	② また ① ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (1) ③ ③ (1) ② ③ (1) ③ ② (2) ④ ⑤ ⑤ ⑦ ぞの とかった できない できない できない できない できない できない できない できない	として理由の とした 理由の ことの ことの ことの ことの ことの ことの ことの ことの ことの こと	が規定による は が規定には は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	なかった原因>  (実施できなかった	都市計画  ○①当当当当  ○②3当  ○別表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	参加・協 初期待した以上 初初期待した以上 がれた以上となった可 た以上となった可 定定どおりでなかった原 ざおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原	現定による。  協働の程度・1  理由/期待以  境への配慮  た 原因>  ・ 養理定ど  ・ 表現定とど  ・ と 表現 の 削減 り で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	内容 下であった原因: 策について なかった	● 不 要 要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必多 かま 表 で (2) 市が実施する必要性 (2) 市が実施の必要性 (2) 市が実施の必要性 (4) 市民の必要性 (4) 市民の必要性 (4) 市民のの (4) 中本の (5) 中本の (5) 中本の (6) 中本の (7) 中本の	要性は ) の協働を を進め で	●①民間 ②企業、等等(理由) □ は で	P の	団ない べきにと り の 内 りりり し で が ない ない か い い い い い い い か い か い か い か い か	要がある。  「他のは、		が内容 (内容 (を図る) ク ・る目標値(と現況値 「等民間資本の活. 者負担	○	② また ① ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (1) ③ ③ (1) ② ③ (1) ③ ② (2) ④ ⑤ ⑤ ⑦ ぞの とかった できない できない できない できない できない できない できない できない	と l 章 第 l 的 l 的 l 的 l 的 l 的 l 的 l 的 l 的 l 的 l	対象	なかった原因〉  「実施でた」 をかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 のできなかった。 のできながった。 のできながった。 のできながった。 のできるながらない。 のできるなが、できまます。 のできるなが、できるなが、できまます。 のできるなが、できなが、できるなが、できるなが、できるなが、できるなが、できるなが、できるなが、できるなが、できるなが、できるなが、できるなが、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	都市計画  ○①当当当   ○②②3当   ○②3当   ○②2   ○③3   ○②4   ○②2   ○②2   ○②2   ○②2   ○②3   ○○2   ○○2   ○○2   ○○3   ○○2   ○○3   ○○4   ○○2   ○○4   ○○2   ○○2   ○○3   ○○4   ○○4   ○○5   ○○5   ○○5   ○○5   ○○6	参加・協 初期待した以上 初初期待した以下 た以上となった理 定定どおりりでなかった原 定定どおりでなかった原 全ででかった原 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	現定による。  協働の程度・I  単由 / 期待は  本 原因 / 東京定どどできなか	内容 下であった原因: 策について なかった った原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市おのかっ (市実施のの必要性 (2) 市おのかっ (市本ののでは、 1) 日標と (4) 日標と (3) 日標は (4) 日標は (4) 日標は (4) 日標は (5) 日報は (5) 日報	要性は の協働を を も も も も も も も も も も も も も	●①民間 ②企業、等等 (理由) □ 「日本 (国由) 「日本 (国本 (国) 「日本	P の が	団ない べきにと り の 内 りりり し で が ない ない か い い い い い い い か い か い か い か い か	要がある。		が内容 かな内容 ク かる目標値(と現況値 1 等員担 1 者他	○	② また ① ② ③ ⑤ ③ ② ② また ) ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ F の と	と 1 章 N P M な な 策 を	a / 想定 どおもりでは現定による 等がな 音 / では がな 音 / では かん 音	なかった原因>  (実施でた 暦 した できなかっ できなかが 一	都市計画  ○①①  ○②③  ○③  ○③  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○	参加・協 初期待した以上 初初期待した以上 がれた以上となった可 た以上となった可 定定どおりでなかった原 ざおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原 ごおりでなかった原	現定による。  協働の程度・I  単由 / 期待は  本 原因 / 東京定どどできなか	内容 下であった原因: 策について なかった った原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市が実施の必要性 (2) 市が高大学 (市本のののでは、 (4) 中では、 (4) 中では、 (5) 中では、 (5) 中では、 (6) 中では、 (7) 中では、 (8) 中では、 (8) 中では、 (9) 中では、 (1) 目標。 (1) 目標。 (2) 事に、 (3) 事業のか 率性 (2) 事に、 (4) 事業のが、 (2) 事に、 (5) 事業のの配慮 (2) 事に、 (3) 事業のの配慮 (4) 事業のの配慮 (4) 事業のの配慮 (5) 事業の配慮 (5) 事業	要性は の協働を を も も も も も も も も も も も も も	●①民間 ②企業、等等 (理由) □ 「日本 (国由) 「日本 (国本 (国) 「日本	P 市	団ない べきにと り 内 内 内 り り し が	要がある。		が内容 かな内容 ク かる目標値(と現況値 1 等員担 1 者他	○	② 見	と 1 章 N P M な な 策 を	A / 根定 どおりで   A / 根定 どおりで   A / 根定 に は   A / 根定 に は   A /	なかった原因>  「実施でた」を できなかった   「	都市計画  ○①①  ○②③  ○③  ○③  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○	参加・協 初期待した以上 初初期待した以下 た以上となった理 定定どおりりでなかった原 定定どおりでなかった原 全ででかった原 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	現定による。  協働の程度・I  単由 / 期待は  本 原因 / 東京定どどできなか	内容 下であった原因: 策について なかった った原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 S S S S S S S S S S S S
要性 (2) 市かの (2) 事い (3) 目標は (3) 日本 (4) できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	要性は の協働を を も も も も も も も も も も も も も	●① R間 企業、N 等 1 (理由) □ 保健	P 市	団体に は 等に と い か は で は まに と い か か い か い か い か か い か い か い か い か い	要がある。   「「ではいる」   「ではいる」   「はいる」   「はいる」		が内容 かな内容 ク かる目標値(と現況値 1 等員担 1 者他	○	② また ① ② ③ ⑤ ③ ② ② また ) ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ F の と	と 1 章 N P M な な 策 を	a / 想定 どおもりでは現定による 等がな 音 / では がな 音 / では かん 音	なかった原因>  (実施でた 暦 した できなかっ できなかが 一	都市計画  ○①①  ○②③  ○③  ○③  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○	参加・協 初期待した以上 初初期待した以下 た以上となった理 定定どおりりでなかった原 定定どおりでなかった原 全ででかった原 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	現定による。  協働の程度・I  単由 / 期待は  本 原因 / 東京定どどできなか	内容 下であった原因: 策について なかった った原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施でする必要性 (2) 市かるのと (市) 本ののと (市) からのに (1) 目標 できまれる (2) 事ののに (1) 目標 できまます (2) 事ののに (2) 事ののに (3) 目標に (3) 目標に (4) できまままます。 (4) できまままます。 (5) できまままます。 (5) できまままます。 (6) できまままます。 (6) できままままます。 (7) できまままままます。 (1) 目標に (2) 事ののに (2) 事ののに (3) 目標に (4) できまままままます。 (3) 目標に (4) できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	要性は の協働を を も も の は も の に か で も の に に の に る に る に の に の に の に 。 に の に る に る に 。 に る に 。	●①民間 企業、N (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (型点	P つが市が進程の かっぱい です で 本 が 本 で 本 が 本 で 本 が 本 で 本 が 本 で 本 が 本 で ま な す こ る す さ と な い か ず か ま と な に て で 本 が 本 で ま な す こ る す さ と な い か の の 動 を き を と に て い い 献 標	団ない きにとり の 内 何有有携 の りりりして いる とここ	要がある。	マチの他の内容>  「大の具体  「大の温養  「大の	x的な内容 ク ・ る目標値(と現況値) ・ 著負担 ・ は 単位/事業費用単位 ・ 法 単現児値) × 費用単位	○	② 見	と 1 章 N P M な な 策 を	A / 根定 どおりで   A / 根定 どおりで   A / 根定 に は   A / 根定 に は   A /	なかった原因>  (実施でた 暦 した できなかっ できなかが 一	都市計画  ○①①  ○②③  ○③  ○③  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○	参加・協 初期待した以上 初初期待した以下 た以上となった理 定定どおりりでなかった原 定定どおりでなかった原 全ででかった原 (成となった原因)	現定による。  協働の程度・I  単由 / 期待は  本 原因 / 東京定どどできなか	内容 下であった原因: 策について なかった った原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市かのの以来 環境への配慮 (2) 市かのの以来 環境への配慮 (2) 事がいりり (2) 事いる 標には 海のの (3) 日標に 標準 (3) 日標に 標準 (3) 日標に 標準 (3) 日本 (4) 日本 (4) 日本 (4) 日本 (4) 日本 (5) 日本 (5) 日本 (6) 日本 (6) 日本 (7) 日本	要性は の協働を を さ も る あ 正 O 拡充	●① R間 ② (理由) □ 日本 (理由) □ 日本 (理由) □ 日本 (理由) □ 日本 (理力	P の	団ない べきにと り 内 内 りりりし てい ない ない ない かい い い い い い い い か い か い か い	要がある。  「本語のでは、		が内容 かな内容 ク かる目標値(と現況値 1 等員担 1 者他	○	② 見	と 1 章 N P M な な 策 を	A / 根定 どおりで   A / 根定 どおりで   A / 根定 に は   A / 根定 に は   A /	なかった原因>  (実施のた) できなかった	都市計画  ○①①  ○②③  ○③  ○③  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○	参加・協 参加以上 初期特した以上 初初初の以上 を定 どより でなかった原 でなかった原 ●①② 定 を記 を記 ・協 ・協 ののが でなかった原 ・協 ・協 ・協 ・協 ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は	現定による。  協働の程度・I  単由 / 期待は  本 原因 / 東京定どどできなか	内容 下であった原因: 策について なかった った原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要
要性 (2) 市が実施する必要性 (2) 市がる大学施する必要性 (2) 市がる大学施する必要性 (3) 目標に高切が (本) 日本では、(1) 目標の (2) 事業者が (2) 事業者が (3) 目標に標準を事業 (3) 目標に標準を事業 (3) 目標に標準を表する (3) 目標に標準を表する (3) 目標に標準を表する (4) 日本では、(3) 目標には、(4) 日本では、(4) 日本では、(5) 日本では、	要性は の協働を を さ も る あ 正 O 拡充	●① R間 ② (理由) □ 日本 (理由) □ 日本 (理由) □ 日本 (理由) □ 日本 (理力	P の	団ない べきにと り 内 内 りりりし てい ない ない ない かい い い い い い い い か い か い か い	要がある。  「本語のでは、	マチの他の内容>  「大の具体  「大の温養  「大の	x的な内容 ク ・ る目標値(と現況値) ・ 著負担 ・ は 単位/事業費用単位 ・ 法 単現児値) × 費用単位	○	② 見	と 1 章 N P M な な 策 を	A / 根定 どおりで   A / 根定 どおりで   A / 根定 に は   A / 根定 に は   A /	なかった原因>  (実施のた) できなかった	都市計画  ○①①①②③③ 特し  ○②②③ 特し  ○②②③ 特し  ○②② 期待し  ○②② 想定と  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協 参加以上 初期特した以上 初初初の以上 を定 どより でなかった原 でなかった原 ●①② 定 を記 を記 ・協 ・協 ののが でなかった原 ・協 ・協 ・協 ・協 ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は	現定による。  協働の程度・I  単由 / 期待は  本 原因 / 東京定どどできなか	内容 下であった原因: 策について なかった った原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要

				于初于木叶叫公	(令和 2	2年度)					
事業コード	875		課コード	0705	会計種別	一般会計			予算の種類	□政策   ■経常	□なし
. 事業の概要(PLAN)											
	①事業名	基本事業 組合・何	個人施行による土地	2区画整理事業についての指導業務		実施計画へ		○有 ●無	②部課名	都市部・市街地整備課	
			画整理事業の業務全	般	`	位置づけ					
	③事業主体 ⑤事業期間	●市 Oそ0	の他( 平成	:16年度 ~	,	④対象地区 ⑥担当職員数	□□□□我孫子		胡北     □新木       3 人     (換算人数	□布佐 ■全市 0.25 人)	
)事業概要	⑦事業費	総事業費	,	0 千円		当該(開始)4	(当 初)	2, 195	5 千円 (うち人件		
	(人件費含む)	施策		重点プロジェクト		基本計画地區	(変更後)		千円 (うち人件変 部門別計画へ	Φ.	
	⑧施策の位置づけ	コード	61003	への位置づけ	なし	計画への位置	づけ	○有 ●無	位置づけ	(計画名)	
)目的	施策目的 · 展開方向	法により、良好なア	市街地整備を進めま	)、地区の特性をいかしながら、地区計画や土地区画 ミす。また、施行中の我孫子駅前土地区画整理事業と				<b>単事業を施行しようとす</b>	る個人又は団体等に対	して、事業化に向けた相談や助言	を行う。
		くり事業の早期完 土地区画整理事業(		はおきパンフレットで説明し、事業を誘導していく。				整理事業に係る資料の提 人施行の土地区画整理事		の胡弥業務を実施する	
						当該年度 執行計画		へ加1]の土地区回登理事	来に グいて、初放争系の	が相談未例を失肥する。	
)事業内容	内 容					,,,,,,,,					
						当該年度活動結果指		理事業に係る資料の提供	・照会件数	単位 件 想定値	360
)達成目標(期待する成果)			達成目	標(期待する成果)		指標種類	175	指	標	単位 (5)現況値	(6)目標値
当該年度	土地区画整理事業	に関する資料の提供	及び相談処理			直接	土地区画整理	<b>里事業に係る資料の提供</b>	・照会件数	件 356	360
令和 3年度	土地区画整理事業	に関する資料の提供	及び相談処理			直接	土地区画整理	理事業に係る資料の提供	・照会件数	件	36
令和 4年度		に関する資料の提供は				直接	土地区画整理	理事業に係る資料の提供	・照会件数	件	400
)事業実施上の課題と対応	組合・個人施行の: 必要とする。	土地区画整理事業に	係る新規事業の相談	《業務においては、土地区画整理事業や補助金等に高	度な専門的知識を	代替案検討	t l	○有 ●無			
		平成31年度		令和 2年度				令和 3年度		令和 4年度	
	政策	内 容	金額(千円)	東	額(千円) 決算額	策!	内	容金	額(千円) 政策	内 容	金額(千円)
	旅費消耗品費		1		10		耗品費		2 旅費 10 消耗品		10
	負担金		1	7	8	8 負	担金		17 負担金		13
実施内容											
)施行事項 費 用											
予算(決算)額		<b>計</b>		1 合計	20	15	合 :		29	合 計	25
国庫支出金県支出金	補助率	0 %		0     補助率     0 %       0     補助率     0 %	0	0 補助	<b>力率</b>	0 %	0 補助率	0 % 0 %	(
財源内訳 起債 一般財源	充当率	0 %	3		0 20	0 充計		0 %	0 充当率	0 %	25
その他の財源 換算人数(人) 正職員人件費	□ □符会 □党金	益 □基金 □その他	0. 3. 52		0 0. 25 2. 175	0 0. 25 2. 175	□特会 □受益 □៎	■金 □その他	0 □特金 0.4 3.480	会 □受益 □基金 □その他	0. 4 3, 480
0) 人件費等 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額			, i	0	0	0			0		3, 400
業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用		0.007 17 (#	3, 55	1	2, 195	2, 190			3, 509		3, 509
(事業費/活動結果指標) ・事業の評価(D0+CHECK	0	9.86千円/件		6.1千円/件		9. 05					
評価項目	T						事後:	 評 価(評価結果に応じ		会ま:) )	改善検討
		画整理事業の成果を注		"、 ** *** :、今後の施行希望者に対して市のまちづくり方針を		①事前確認での	想定どおり		. 3.03()(1) ()(3)		
(1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	. b.						想定どおりでなか	った  「でなかった原因>			○要 ●不要
月京16·(尹末の必安江)								「あり、新規事業について	ても可能性がある。		U11-92
	●①民間企業、N (理由) □法令等・	NPO、市民団体等で	では実施できない			①早問企業 N	PO、市民団体等 <sup>·</sup>	では実施できなかった			
		で市が実施すること		<その他の内容>			めなければ実効性だ		<市実施の具体的な内 土地区画整理法によ	容・必要性の理由> り、事業の規模によって組合・個	人施
(2) 市が実施する必要性は あるか?	□その他	体が市しかない		<その他の内容>		②市が主導で進 ③市が先導役と 促進された	なったことで市民	がなかった へ普及が一層	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を	り、事業の規模によって組合・個 行うこととされている。 含む施行済みの事業の成果は市か	
(市実施の必要性)	○②自治体である	体が市しかない る市が推進すべきであ	が定められている 5る	<その他の内容>		②市が主導で進 ③市が先導役と 促進された ④市の支援が政 ⑤サービス水準	なったことで市民 策・施策の目標の! が確保された	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を	り、事業の規模によって組合・個 行うこととされている。	引き
	○②自治体である (理由) □市が主流 □市が実施	体が市しかない る市が推進すべきであ 導で進めることにより 施・提供することによ	が定められている ある り実効性が得られる	<その他の内容>		②市が主導で進 ③市が先導役と 促進された ④市の支援が政 ⑤サービス水準 ⑥サービスの安 ⑦その他	なったことで市民の策・施策の目標の	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を	り、事業の規模によって組合・個 行うこととされている。 含む施行済みの事業の成果は市か	引き
	○②自治体である (理由) □市が主 □市が実 サービ □市が支持	体が市しかない る市が推進すべきであ 薄で進めることによい 施・提供することによ スが保証される 援することにより政!	が定められている ある り実効性が得られる より、良質で安定し	<その他の内容>		②市が主導で進 ③市が先導役と 促進された ④市の支援が政 ⑤サービス水準 ⑥サービスの安	なったことで市民 策・施策の目標の! が確保された	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を	り、事業の規模によって組合・個 行うこととされている。 含む施行済みの事業の成果は市か	引き
	○②自治体である (理由) □市が主 □市が実 サービ □市が支持	体が市しかない  5 市が推進すべきであ 導で進めることにより 施・提供することによった。 実ではことにより なが保証される 援することにより政党	が定められている  5る り実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	<その他の内容> 5 た		②市が主導で進 ③市が先導やと 促進された ④市の支援スト ⑤サービスの安 ⑦その他 その他の内容>	なったことで市民 策・施策の目標の: が確保された 定供給基盤が確保	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること:	り、事業の規模によって組合・値 行うこととされている。 含む施行済みの事業の成果は市か から市が対応する必要がある。	引き
	○②自治体である (理由) □市が主: □市が実! サービ: □市が支! 実現が[	体が市しかない  5 市が推進すべきであ 導で進めることにより 施・提供することにより なが保証される 援することにより 図られる 参加・協働の内容	が定められている  5る り実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	<その他の内容>		② 市が主導企と ③ 市が先導たと 係ではなれている。 のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	なったことで市民 策・施策の目標の! が確保された 定供給基盤が確保 ・協働の具体的なP が考えられる場合!	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること:	り、事業の規模によって組合・値 行うこととされている。 含む施行済みの事業の成果は市か から市が対応する必要がある。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ は働の程度・内容	引き
古足の参加が古戸してから	○②自治体である (理由) □市が主き □市が支 サービ □市が支 実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に	体が市しかない  お神で進めることによい  ないないないないないないないないないないないないないないないないないない	が定められている  5 る り実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	<その他の内容> 5 た		②市が主導で後と、 4 市が上導体と 4 市が進さ支ススの 2 下の他の内容 と を を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	なったことで市民・ 策・施策の目標の? が確保された 定供給基盤が確保・ ・協働の具体的なP・ が考えられる場合に 場合、組合は9割以	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  内容(又は今後、 にはその内容) には、個人能行は事業区 同の対象とならないた	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること: 参加	リ、事業の規模によって組合・値 行うこととされている。 含む施行済みの事業の成果は市か から市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容	○要●不要
市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	○②自治体である (理由) □市が実 サービ、□市が実 サービ、□市が支 実現が □その他  ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民と共同で	体が市しかない  お専作を表することには、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	が定められている  5 る り実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	<その他の内容> 5 た		②市が主導で後と、 4 市が上導体と 4 市が進さ支ススの 2 下の他の内容 と を を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	なったことで市民・ 策・施策の目標の: が確保された 定供給基盤が確保 ・協働の具体場合はのもれる場合: が考えられる場割 影合、組合ければ、	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  内容(又は今後、 にはその内容) し上、個人施行は事業区 記可の対象とならないた。 である。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること: 参加 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとよ ○③当初の期待以下	リ、事業の規模によって組合・値 行うこととされている。 含む施行済みの事業の成果は市か から市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容	引き
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	○②自治体である (理由) □市が主実 □市が支対 □市が支対 実現が □その他  ○①事業計画時に ○②管理・の自主的 ○⑤市民と共同で ⑥その他	体が市しかない  あ市が推進すべきである。  専で進供することにより取り  変することにより取り  変することにより取り  変するころ  接取するよろ  変図  参加・協働の内容  二市民の参参画有り  二市民の動と連携  で事業を実施	が定められている  5 る り実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	<その他の内容> 5 た		②市が主導で後と、 4 市が上導体と 4 市が進さ支ススの 2 下の他の内容 と を を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	なったことで市民・ 策・施策の目標の: が確保された 定供給基盤が確保 ・協働の具体場合はのもれる場合: が考えられる場割 影合、組合ければ、	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  内容(又は今後、 にはその内容) し上、個人施行は事業区 記可の対象とならないた。 である。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること: 参加 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとよ ○③当初の期待以下	リ、事業の規模によって組合・値 行うこととされている。 含む施行済みの事業の成果は市か から市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こ	○要 ● 不要
工夫しているか?	○②自治体である (理由) □市が実  サービ、□市が支  サービ、□市が支  東現が □その他  ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理、	体が市しかない  お 市が推進すべきである。	が定められている 56 58 り実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	<その他の内容> 5 た		②市が主導で後と、 4 市が上導体と 4 市が進さ支ススの 2 下の他の内容 と を を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	なったことで市民・ 策・施策の目標の: が確保された 定供給基盤が確保 ・協働の具体場合はのもれる場合: が考えられる場割 影合、組合ければ、	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  内容(又は今後、 にはその内容) し上、個人施行は事業区 記可の対象とならないた。 である。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること: 参加 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとよ ○③当初の期待以下	リ、事業の規模によって組合・値 行うこととされている。 含む施行済みの事業の成果は市か から市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こ	○要 ● 不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	○②自治体である (理由) □市が主実 □市が支   サービ: □市が支   実現が □その他  ○①事業計画時に ○②管理・運営に ○④市民のと共同で ●⑥その他  <その他の内容> 土地区画整理法に	体が市しかない  お専で進歩ることにより施・提供することとに、大場で進めます。 政党図られる 参加・協働の内容であるの参画面有りに市民の参画画有りに市民の参上連携していず事業を実施  基づき、区画整理審託 配慮の視点	が定められている 56 58 り実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	くその他の内容> ・た 工夫の具体的な内容	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	②市が主導で後と 本の 中の	なったことで市民・ 策・施策の目標の? が確保された 定供給基盤が確保 ・協働の具体的なP ・協働の具体的なP ・協働の具体的なP ・協働の具体的なP が考えら合はり割します。 最高がな理解が必要 実施した具体的なP	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された 内容(又は今後、 にはその内容) は上、個人施行は事業区 に可効象とならないた である。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること: 参加 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとよ ③③当初の期待以下 <期待した以上となっ:	リ、事業の規模によって組合・値 行うこととされている。 含む施行済みの事業の成果は市か から市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こ	○要 ● 不要
市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	○②自治体である (理由) □市が主実 サービ、□市が支実 サービ、□市・現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③市民とと ○④市民とと <その他の内容> 土地区画整理法に □①自然環境を生 □②生き物と共存	体が市しかない  お 市が推進すべきである。  お 導化 さとにといる。  お 連 な とことには、  な 選 な は な は な は な な な な な な な な な な な な	が定められている 56 58 り実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	大 <その他の内容> 工夫の具体的な内容 工夫の具体的な内容	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことで市民・ で、施策の目標の! が確保された 定供給基盤が確保 ・協働の具体場合。 ・協会え組合はの場合。 ・協会が考え組ければ、必要 要性が考えの理解が必必要 要性が表する。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまする。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りを取りをする。 をなな。 をなる。 を	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された 内容 (又は今後、 にはその内容) は上、個人施行は事業区 に可の対象とならないた。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること: 参加 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとよ ③③当初の期待以下 <期待した以上となっ:	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされている。合かに行済みの事業の成果は市かから市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こい た理由/期待以下であった原因>	○要 ● 不要
工夫しているか? (体制づくり)	○②自治体である (理由) □市が主実 □市市が主実 □市が支 実現が □その他 ○①事業計画時に ○②・管理のとせ ○③・管理のとせ ○⑤・市の他 <その他の整理法に ○③・管理法に ○③・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体が市しかない  お 市が推進することにはできない。  お 事で進供することにはない。  お 事で進供することにはない。  参加・協働の内容  市民のの参連携している。  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が定められている 56 58 り実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	大 <その他の内容> 工夫の具体的な内容 工夫の具体的な内容	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことで市民・ で、施策の目標の! が確保された 定供給基盤が確保 ・協働の具体場合。 ・協会え組合はの場合。 ・協会が考え組ければ、必要 要性が考えの理解が必必要 要性が表する。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまする。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りを取りをする。 をなな。 をなる。 を	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された 内容(又は今後、 にはその内容) は上、個人施行は事業区 おの対象とならないた である。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること: ●②当初期待した以上 ●②当初期待した以上 ○③当初の期待以下 <期待した以上となっ:	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされている。 合っととされている。 合った施行済みの事業の成果は市かから市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こ うり た理由/期待以下であった原因〉 環境への配慮	引き ○要要要 ● 不不要
工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて	○②自治体である (理由) □市が実性 サービス マード サービス マード サービス マード リー マード マード マード マード マード マード マード マード マード マー	体が市しかない  お専作が生産をはいる。  お専作が生産をはいる。  お専作が生産をはいる。  おおいるである。  おおいるである。  おいるである。  おいるである。  おいるである。  おいるである。  ないるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるののる。  はいるののののののののののののののののののののののののののののののののののの	が定められている 56 58 り実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	大 <その他の内容> 工夫の具体的な内容 工夫の具体的な内容	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことで市民・ で、施策の目標の! が確保された 定供給基盤が確保 ・協働の具体場合。 ・協会え組合はの場合。 ・協会が考え組ければ、必要 要性が考えの理解が必必要 要性が表する。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまする。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りを取りをする。 をなな。 をなる。 を	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された 内容(又は今後、 にはその内容) は上、個人施行は事業区 おの対象とならないた である。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること: ●②当初期待した以上 ●②当初期待したとよ ○③当初の期待したとよ ○③当初の期待したとよ ○3世初の期待したとなっ!	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされている。 合っととされている。 合った施行済みの事業の成果は市かから市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こ うり た理由/期待以下であった原因〉 環境への配慮	引き <b>○</b> 要要要 <b>○</b> ● 不要要
工夫しているか? (体制づくり)	○②自治体である。 (理由) □市がま実 □市市が一で支   サーバ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体が市しかない  お専作が生産をはいる。  お専作が生産をはいる。  お専作が生産をはいる。  おおいるである。  おおいるである。  おいるである。  おいるである。  おいるである。  おいるである。  ないるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるである。  はいるののる。  はいるののののののののののののののののののののののののののののののののののの	が定められている ある り実効性が得られる より、、良質で安定し 策・施策の目標の	大 <その他の内容> 工夫の具体的な内容 工夫の具体的な内容	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことで市民・ で、施策の目標の! が確保された 定供給基盤が確保 ・協働の具体場合。 ・協会え組合はの場合。 ・協会が考え組ければ、必要 要性が考えの理解が必必要 要性が表する。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまする。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りまる。 を取りを取りをする。 をなな。 をなる。 を	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された 内容(又は今後、 にはその内容) は上、個人施行は事業区 おの対象とならないた である。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること: ●②当初期待した以上 ●②当初期待したとよ ○③当初の期待したとよ ○③当初の期待したとよ ○3世初の期待したとなっ!	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされている。 合っととされている。 合った施行済みの事業の成果は市かから市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こ うり た理由/期待以下であった原因〉 環境への配慮	引き ○要要要 ● 不不要
工夫しているか? (体制づくり)	○②自治体である。 (理由) □市がま実 □市市が一で支   サーバ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体が市しかない  お専で進機をすることである。 ながすることを対している。 参加・移動を重要を重要を表している。 を対していいる。 を対していいる。 を対している。	が定められている  5 る り実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の  は いる  議会を設置し、換り	スキの他の内容> 工夫の具体的な内容 工夫の具体的な内容 取組む内容 取組む内容	製物を	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことで 根の では 保の では 保い では 保い では 保い では 保い では 保い では では 保い では では では でいます できる	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された 内容(又は今後、 にはその内容) は上、個人施行は事業区 おの対象とならないた である。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること: ●②当初期待した以上 ●②当初期待したとよ ○③当初の期待したとよ ○③当初の期待したとよ ○3世初の期待したとなっ!	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされている。 合っととされている。 合った施行済みの事業の成果は市かから市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こ うり た理由/期待以下であった原因〉 環境への配慮	引き ○要要要 ● 不不要
工夫しているか? (体制づくり)	○②自治体である (理由) □市がま □市市が三支 □市市が三支 「サーバ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体が市しかない  お専作が推進すべきでよった。  お専作が推進することに、  ないないないないないないないないないない。 参加・協働有りの内容では、  では、  では、  では、  では、  では、  では、  では、	が定められている  あるり実効性が得られる りまり、良質で安定し 策・施策の目標の  諸会を設置し、換地  設置している。		製物を	②市が生導注をは、	なったことで 市民・ 策・確保された で 目標の で は で に 標の で に で に 標の で に で に で に で に で に で に で に で に で に で	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された 内容(又は今後、 によるの内容) に上、個分を行は事業区 の内容) である。 内容 である。 内容 である。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされている。合かに行済みの事業の成果は市かから市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こうり た理由/期待以下であった原因> 環境への配慮 いった た原因>	引き ○● 要要要 要 要 要 要 要 要 要
工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	○②自治体である (理由) □市が実性 サーベを実施 サーベを実施 サーバを実施 サーバを実施 サーバを実施 サーバの できまれる できません マン・エル マール マー・マール マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	体が市しかない  お専作が推進すべきでは、  お専作が推進すこるもりである。  参加・協働ののりいでは、  では、  では、  では、  では、  では、  では、  では、	が定められている  あるり実効性が得られる りまり、良質で安定し策・施策の目標の  このででは、 はりのでは、 はりのでは、 はいる。		日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことで有民・ 策・施策の目標の記 ・施保されたで 定供給基盤が確保 ・妨害へ ・妨害へ ・妨害へ ・がきのとなりで ・がきので ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された 内容(又は今後、 にはその内容) にはんの内容) にはんの対象とならないた。 である。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされている。合かに行済みの事業の成果は市かから市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こうり た理由/期待以下であった原因> 環境への配慮 いった た原因>	引き ○● 要要 ● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 ■
工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	○②自治体である (理由) □市が実性 サーベラ マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体が市しかない  お神で進失された。  ないである。  お神で進失された。  ないである。  参加・参参を民のの動と連携  を下である。  参加・参参を連携  を下である。  を下である。  を下である。  をいるる。  をいるる。  をいるる。  をいいいがしていい。  をいるる。  をいるる。  をいるる。  をいいいがしている。  をいるる。  をいるる。  をいるる。  をがしていいる。  をがしていいる。  をがしている。  をがしている。  をがしている。  をがしている。  をがしている。  をがしている。  をがしている。  をがまる。  をがまる。 をがまる。  をがまる。  をがまる。  をがまる。  をがまる。  をがまる。  をがまる。  をがまる。	が定められている  あるりまり、  を  を  を  を  を  を  を  を  を  を  を  を  を	工夫の具体的な内容  工夫の具体的な内容  工夫の具体的な内容  工夫の具体的な内容  取組む内容  ・ 取組む内容  ・ 事実に基づき設定している  ・ 実現性が乏しい値ではない  ・ がいさい値ではない  ・ がいさい値ではない  ・ 対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況である  ・ 実施予定の対策	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことで市民・ 策・施策の目標の? が確とされた 定供給基盤が確保 ・協働の具体場合に が考えられる場合! 場高がな理解が必要 実施した具体的なに は、都市計画マスタ らことにより環境へ をことにより環境へ をことにより環境へ をことにより環境へ	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  内容(又は今後、 によその内容) に上、個分容(とはその内を) によ、個分線では事業区である。  「中語性を達成を実現する。  「「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること:  参加 ○①当初期待した以上 ●②当初初期待したとよ ○③当初の期待した以上となっ  ●①想定どおりでなかっ  ●①をおりでなかっ  ・ 想定どおりでなかっ ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	リ、事業の規模によって組合・値 行うこととされている。 同意に施行済みの事業の成果は市か から市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こ は り た理由/期待以下であった原因〉 環境への配慮 いった た原因〉	引き ○● 要要要 要 要 要 要 要 要 要
工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	○②自治体である (理由) □市が実 □市市が実 □中が現が □を支 実 その他 ○③事業計画施時に ○③③管市民と他 <その他の内理法に □①生き質境免を有る。 □①生き質境の他 <その医整理・のはのを受しますの。 ■⑤その他のを理法に □③までは、 □③生き質境のに ○④・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体が市しかない  お専作が生態を表すされるは、  の内容  であるである。  参加・協働の内容  であるである。  参大の大塚にして、  である。  参大の大塚にして、  である。  できる。  できる。 できる。	が定められている  5 る りまり、		日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことで 中民・ (大) と では、 (大) と でも、 (大) と でも	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  内容(又は今後、 にはその内容の (上と、個人族とならないた にはての力な。  「中語性を実現する。  「中語性を変が想に である。  「中語性を変が想に である。  「中語性を変が想に である。  「中語性を変が想に である。  「中語性を変が想に である。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること  ●①当初期待した以上 ●②当初初期特したとよ ○③当初の期待したとよ ○③当初の期待したとよ ○3世紀定どおりでなか  <想定どおりでなかっ  ・ 想定とどおりでなかっ ・ は 以内 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	リ、事業の規模によって組合・値 行うこととされている。 同から市が対応する必要がある。 から市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こ らり た理由/期待以下であった原因〉 環境への配慮 いった た原因〉	引き ○● 要要要 要 要 要 要 要 要 要
工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	○②自治体である。 (理由) □市が実に □市が実に □市が実に □市が実に □市が現   □市が現が □・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体が市しかない  お神で進供することに、  お神で進供することに、  ながすることがすることが 参加・参参を国際のの 参加・参参を国際のの参と連携  本では、  本では、  ながすることが の内容  である。  本では、  ながすることが の内容  である。  本では、  ながすることが の内容  である。  本では、  ながすることが の内容  である。  では、  ないるる。  ないるる。  ないるる。  は、  は、  は、  は、  は、  ないるる。  ないるる。  ないるる。  ないいいが、  は、  は、  は、  は、  は、  は、  は、  は、  は、	が定められている  あるりまり、 東効性が得られるしまり、 東次の目標の  を変している。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことでは、 (まな、 なったことにより環境へ をでは、 をでは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 を	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  内容(又は今後、 によその内容) に上、個分容(とはその内を) によ、個分線では事業区である。  「中語性を達成を実現する。  「「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること:  ●①当初期待した以上 ●②当初初期特したと ●③当初の期待した以上となっ  ●①引想定どおりでなか  ◆想定どおりでなかっ  ・記となった原 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされている。。合こととされている。合うこととされている。合うこととされて対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 このは、一切であった原因> であった原因> を理由/期待以下であった原因> を理由/期待以下であった原因> を理由/期待以下であった原因> を理由/期待以下であった原因>	引き ○● 要要要 要 要 要 要 要 要 要
工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	○②自治体である (理由) □市市が実 □市市が実 □市市が実 「サーが現が □を表 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	体が市しかない  お専作とには、 である。 である。 である。 である。 である。 である。 ないのののでは、 はいののののでは、 はいのののののでは、 はいのののののでは、 はいののののののののでは、 はいののののののののののののののののののののののののののののののののののの	が定められている あるりより が表 ・ 施策のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことで 中民・ (大) と では、 (大) と でも、 (大) と でも	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  内容(又は今後、 によその内容) に上、個分容(とはその内を) によ、個分線では事業区である。  「中語性を達成を実現する。  「「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。  「「の配慮を実現する。	土地区画整理法によ 行の事業の認可は市が 過去の組合施行等を 継ぎ管理していること ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リ、事業の規模によって組合・値 行うこととされている。 合かに行済みの事業の成果は市か から市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こ らり た理由/期待以下であった原因〉 環境への配慮 いった た原因〉	引き ○●不要要要  ● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○● ○●
工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	○②自治体である (理由) □市市が実 □市市が実 □市市が実 「サーが現が □を表 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	体が市しかない  お神で進供することに、  お神で進供することに、  ながすることがすることが 参加・参参を国際のの 参加・参参を国際のの参と連携  本では、  本では、  ながすることが の内容  である。  本では、  ながすることが の内容  である。  本では、  ながすることが の内容  である。  本では、  ながすることが の内容  である。  では、  ないるる。  ないるる。  ないるる。  は、  は、  は、  は、  は、  ないるる。  ないるる。  ないるる。  ないいいが、  は、  は、  は、  は、  は、  は、  は、  は、  は、	が定められている あるりより が表 ・ 施策のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことで 中民・ (大) と では、 (大) と でも、 (大) と でも	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  「空でである。 「である。	土地実施の場合施行等をという。  参加  ●②当初期待した以上となった  ●①割定どおりでなかった  ●①割定どおりでなかった  ●①までは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、ま	リ、事業の規模によって組合・値 行うこととされているの成果は市か 行うこととされているの成果は市か から市が対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 こ らり た理由/期待以下であった原因〉 環境への配慮 いった た原因〉 本類でどおり の想定どおり の想定どおりでなかった り削減できなかった原因〉	O
工夫しているか?         (体制づくり)         環境に配慮して事業を進めているか?         (1)目標設定は適切か?         (2)事業費削減の工夫をしているか?         (3)目標値を実現する為に	○②自治体である (理由) □市がま実 サーバ支 サーバ支 ・ マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体が市しかない  お神で進伏を である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	が定められている あるりより が実効性が得って のは、		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことで 根の (g/c) × 100 99. 77	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  内容(又は今谷) にはその内施には事業区 にはその内を には、の内人とならないた には、の対る。  〇①①目標値を達成 ・○②割標を連成を ・○②割標を連続を連続を ・○②割標を連続を ・○○②割標を変が想要を ・○○②割標を変が表する。  ○○○②割標を変が表する。  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	土地東東の経過を記された。 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型をごとおりでなかった。」 「一型でといった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「一型ではいった。」 「「単位にいった。」 「「「単位にいった。」 「「「単位にいった。」 「「「「単位にいった。」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされているの成果は市からこととされの事業の成果は市からられた対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 このでは、「人」であった原因  環境への配慮  いった た原因>  本業費の削減対策について の想定どおりでなかった り削減できなかった原因>  のた理由/目標値以下であった原	引き ○●
工夫しているか?         (体制づくり)         環境に配慮して事業を進めているか?         (1)目標設定は適切か?         (2)事業費削減の工夫をしているか?	○②自治体である (理由) □市がま実 サーバ支 サーバ支 ・ マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体が市しかない  お	が定められている ある。 まま、		日本   1   1   1   1   1   1   1   1   1	② (3) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	なったことで (家) ((g/c) × 100 ((h/e) × 100 ((h/e) × 100 ((96) ((h/e) × 100	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  「空(又は今後、 には、の内容)である。  「である。  「である。  「中請件を達成成成 で「申請件を連続を理する。  「中請件を連続を理する。  「「ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	土地東東の経過を記された。 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型をごとおりでなかった。」 「一型でといった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「一型ではいった。」 「「単位にいった。」 「「「単位にいった。」 「「「単位にいった。」 「「「「単位にいった。」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされているの成果は市からこととされの事業の成果は市からられた対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 このでは、「人」であった原因  環境への配慮  いった た原因>  本業費の削減対策について の想定どおりでなかった り削減できなかった原因>  のた理由/目標値以下であった原	O
工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用)	○②自治体である (理由) □市がま実 サーバ支 サーバ・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	体が市しかない  お	が定められている あるりより が実効性が得って のは、		日本   1   1   1   1   1   1   1   1   1	②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なったことでは、 ・協策のよれば、 ・協策のよれば、 ・協議をは、 ・、の。 ・ の。 ・	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  内容(又は今谷) にはその内施には事業区 にはその内施とならないた には、の内人となららないた の可が。  「中間が表現である。  「中間が表現である。」 「中間が表現である。  「中間が表現である。」 「中間が表現である。  「中間が表現である。」 「中間が表現である。 「中間が表現である。」 「中間が表現である。」 「中間が表現である。 「中間が表現である。」 「中間がまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	土地東東の経過を記された。 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型を記された。」 「一型をごとおりでなかった。」 「一型でといった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「一型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「「型ではいった。」 「一型ではいった。」 「「単位にいった。」 「「「単位にいった。」 「「「単位にいった。」 「「「「単位にいった。」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされているの成果は市からこととされの事業の成果は市からられた対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 このでは、「人」であった原因  環境への配慮  いった た原因>  本業費の削減対策について の想定どおりでなかった り削減できなかった原因>  のた理由/目標値以下であった原	引き ○● 不要要 ●
工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?	○②自治体である(理由) □市市が一である(理由) □市市が実にです。 □市市が実にです。 □市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体が市しかない  お	が定められている あるりより 施策 のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目標のの目のでは、		日本   1   1   1   1   1   1   1   1   1	② (3) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	なったことで (家) ((g/c) × 100 ((h/e) × 100 ((h/e) × 100 ((96) ((h/e) × 100	がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された  内容(又は今谷) にはその内施には事業区 にはその内施とならないた には、の内人となららないた の可が。  「中間が表現である。  「中間が表現である。」 「中間が表現である。  「中間が表現である。」 「中間が表現である。  「中間が表現である。」 「中間が表現である。 「中間が表現である。」 「中間が表現である。」 「中間が表現である。 「中間が表現である。」 「中間がまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	土地東東の経済では、 大の事業の経済では、 一の過去の関していることを 参加 の①当当初期待したいとを ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リ、事業の規模によって組合・値行うこととされているの成果は市からこととされの事業の成果は市からられた対応する必要がある。 ・協働の程度・内容 このでは、「人」であった原因  環境への配慮  いった た原因>  本業費の削減対策について の想定どおりでなかった り削減できなかった原因>  のた理由/目標値以下であった原	引き ○● 不要要 ●

· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					-			未开Щ	表( <b>令和</b>									
事業コート		876			課コード		0705		会計種類	削 一般组	会計			予算6	の種類	■政策	■経常	□なし
1. 事業の	D概要(PLAN)																	
		①事業名			北土地区画整理						計画への 置づけ	● 神	0無		②部課名	都市部・市	街地整備課	
		③事業主体	●市	び探丁駅前 〇その他		P未の作進				) ④対象均		■我孫子	口天王台	□湖北		□布佐	□全市	
(1)事業概要		⑤事業期間			令和	口 2年度 ~				⑥担当耶	職員数			4 人	(換算人数		1.25 人)	
(1) 爭未恢安		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		17,	, 900, 000 千円				当該(限	開始)年度	(当初)		295,830 千円	(うち人件費		0,875 千円)	
		(八斤貝百亿)	施策			1.	重点プロジェクト			# * = +	-画地区別	(変更後)		200,407 千円	(うち人件費 部門別計画への	'	0,875 千円)	
		⑧施策の位置づけ	コード		61003		全点プロジェグト への位置づけ		重点なし		の位置づけ	●≉	0無		位置づけ	(計画名)	都市計画マスタ・	ープラン
(2)目的		施策目的・					いかしながら、地 中の我孫子駅前土				業目的				・整備するため、土 商業圏の拡大を図る		業を施行する。	市の中心市街場
		展開方向	くり事業の	早期完了を	めざします。	又事務及び道路の						· 土地区画整理						
										4章	該年度				学が老朽化した道路	8の補修工事を	行う。	
(3)事業内容		内容									行計画							
(0) 7 7 11		" "										清算金徴収率					おウは	1 01
											該年度 結果指標	月异亚以仅平				単位	想定值 % 実績値	95
(4)達成目標(	期待する成果)				達成目	目標(期待する成果	<u>1</u> )			指標	漂種類			指標		単位	(5) 現況値	(6)目標値
当該年度		清算事務の実施								Ī	直接	清算金徴収率				%	0	9
令和 3年月	ŧ	清算事務の実施								Ī	直接	清算金徴収率				%		9
令和 4年月	ŧ	清算事務の実施								Ī	直接	清算金徴収率				%		99
(7)事業実施」	上の課題と対応	清算金の交付及び	徴収、分割絲	内付希望者な	ど適切に対応す	する必要がある。				代替	案検討	O#	· •無					
(// - // // // // // // // // // // // //			平成31	左曲				令和 2年度		1,42			3年度		$\overline{}$		1455	
		政	内 容	牛皮	金額(千円)	政策			予算額(千円) 決	算額(千円)	政	内容	3年度	金額(千円)	) 政:	内容	] 4年度	金額(千円)
		策 報酬(審議会委				- 本:	ウ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ		15	3	<u> *:                                   </u>	普通、研修旅費)			東 :	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		1
		報酬(評価員) 臨時職員人件費			97		肖耗品、燃料費他) <mark></mark> 動信運搬、手数料、		264 302	132 296		(消耗品、燃料費 (通信運搬、手数		I		肖耗品、燃料費 通信運搬、手数		264 302
		旅費		)		8 委託料	管理その他工事費		660 200	660 193								
		一	፱搬、手数料	、保険料)	30 1, 20	01 公課費			25	25	[清算金	金事務] 画整理事業清算金	徴収事務		[清算金事]	務] 整理事業清算金	徵収事務	
	実施内容	事務機器使用料道路維持管理で	4	•		19	<b>茲</b> ]											
(8)施行事項	費用	[換地処分事務]			20	* 我孫子駅前	が 介土地区画整理事業 介土地区画整理事業		159, 080 2, 399	159, 080 2, 399								
		*:換地計画書作成	t及び換地処		₹ 14, 82		。 3 ・我孫子駅停車場		26, 587	26, 513								
		* 広告料(官報提	曷載料)			59	7 * 我派丁凯宁平台	物水坦ជ干用多	20, 307	20, 313								
		* 通信運搬費(持 * 仮換地変更指定		<del>寸</del> )	65													
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	計	0 %		0 補助率	合計	0 %	189, 532 0	189, 301	補助率	合 計	0 %		81	合 計	0 %	581 C
(9) 財源内訳	県支出金 起債	補助率 充当率		0 %		0     補助率       0     充当率		0 % 0 %	0	0	補助率 充当率		0 % 0 %		0     補助率       0     充当率		0 % 0 %	0
(3) 90111111111111111111111111111111111111	一般財源 その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口	その他		0 □特会	□受益 □基金 ■	その他	74, 298 115, 234	74, 842 114, 459	□特金	会 □受益 □基金	■その他	△4, 65 5, 23		□受益 □基金	■その他	△4, 654 5, 235
(10) 人件費等	換算人数(人) 正職員人件費				1. 7 15, 40				1. 25 10, 875	1. 25 10, 875				1. 15, 2:				1. 75 15, 225
(10)人件負令	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額					0			0	0					0			0
事業費(予算(決 (11)単位費用	算)額+正職員人件費)		04 700-	m <td>34, 76</td> <td>52</td> <td>0 100 55-</td> <td>- FI (0)</td> <td>200, 407</td> <td>200, 176</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15, 80</td> <td>06</td> <td></td> <td></td> <td>15, 806</td>	34, 76	52	0 100 55-	- FI (0)	200, 407	200, 176				15, 80	06			15, 806
(事業費/	/活動結果指標)	^	34, 762 <del>千</del>	円/作			2, 109. 55千	-円/%		2, 819. 38								
	D評価(DO+CHECK	J			_							- "						_, _, _, _,
- I	平価項目	我孫子駅前(南口)	) は. J R ii	\$聲線.成田		前 評 価	都心部への诵勤圏	であるため人	口密集度も高く	●①事前確言	認での想定		<b>価(評価結果</b>	に応じ、改善済	とく と	3))		改善検討
(1) 事業#	が今必要である理由・		商業地域及び	が近隣商業地	域に指定されて	ているが、家屋が	未整備な在来街路	ド に沿って密集	し、スプロール			どおりでなかった						〇要
	は?(事業の必要性)	ることが必要であ		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		~ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	11 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1. 12. 2 2 2 11. 11.			由/想定どおりでク り、道路・公園等ク			成された			●不要
		●①民間企業、N	100 市民	団体等でける	主施できない	<その他のほ	内容〉					、市民団体等では			をの具体的な内容・	必要性の理は	1>	
必		(理由) □法令等		「ることが定		( ( 0) [20]	187			□②市が主導	尊で進めな	ければ実効性がな	かった		区であるため、公共			
要		□その他								促進され	れた	施策の目標の実現						
性 (2)市が写	€施する必要性は い?	〇②自治体である			*L++ +848 > 1 <sub>0</sub> 3	<その他の「	内容>			□⑤サービス	ス水準が確	保された						○要
(市実	施の必要性)		施・提供する	らことにより	効性が待られる 、良質で安定し					□⑦その他		給基盤が確保され	75					●不要
		口市が支		-	施策の目標の					<その他の内	谷>							
		実現が □その他	図られる								<b>☆</b> ±-	E O D I I I I	(FU * "					
		O() = , Mr = 1 =	参加・協作				工夫の具体	本的な内容		参加・	協働が考え	働の具体的な内容 えられる場合には	その内容)	TI: 000		働の程度・内	容	
参加		〇①事業計画時に 〇②事業実施時に	市民の参画	有り						換地処分後に ない。	-つき、今年	<b>年度については、</b> ₹	╆譲会を開催↓	<b>●②当</b>	初期待した以上初期待したとおり			
<ul><li>市民の参</li></ul>	加や市民との協働をいるか?	○③管理・運営に ○④市民の自主的	りな活動と連	携している											初の期待以下			〇要_
働 (体制づく		○⑤市民と共同で ●⑥その他	で事業を実施											<期待し	した以上となった理	里由/期待以T	であった原因>	●不要
도 夫		<その他の内容>																
		土地区画整理法に	基づき、土地	1区画整理審	議会を設置し、	意見を聞く旨定	められている。											
		□①自然環境を生	配慮の	視点			取組も	心内容		オブニ ***		した具体的な内容		A (2)+0		竟への配慮		
環		口②生き物と共有	すしている							ォ ぐに、都市	ム国を設置	置済みである。			定どおり 定どおりでなかっ	<i>t</i> =		
境への配慮 環境に配	慮して事業を進めて	□③手賀沼を意識 □④環境負荷低源		いる										<想定と	どおりでなかった原			○ 要
配慮		■⑤その他																● 不要
		<その他の内容>   土地区画整理法に		5公園を設置	している。													
		現況値(a)(%)	目標値(b	) (%)		目標値	の妥当性のチェッ	ク			達成状況	2	○①目標値通					
(1) 日 博=	受定は適切か?						びき設定している			実績値(f)(		達成率(%) (f/b×100)	●②目標値え					O要
(1)口标品	ヘゾ ( 1 0 万 3 1 1 1 . :	0	95		3現況値との	差が小さい値では		ナる日堙値 / レコ	現況値の美) と	71		.,			を成となった原因> なが想定を上回った			●不要
		1125-1	7 = 4 - 4 - 1		同等の水準	である		, で口1示胆(ご	シャルル (単マノ左) C	/1			○①相中市場	*		# O P. D. T. T.	I=	
		対策実施によ	る事業費削		1①国・県助成		関係予定の対策 □⑤ P F	■Ⅰ等民間資本	の活用	中结片()()	実施状況	対事業費(%)	○①想定事業 ●②概ね想題	<b>E事業費以内</b>	事業 ●①事前の想	費の削減対策 定どおり	について	
効(のませき	表別屋の一上 ・	事業費(c)(千円)	(千円	<u> </u>	■②現有体制で		□⑥受益 □⑦その	益者負担	}	実績値(g)(千	FHI)	(g/c) × 100	○③想定事業	<b>美</b> 頁超過	〇②事前の想		かった	
いるだ	き削減の工夫をして い?	200, 407	△165,	<sup>645</sup> [	3億円百年員 3億民間委託 削減の内容>			-		200, 176 <超過理由等		99. 88			<想定どおり肖	削減できなかっ	た原因>	—— ○要 ●不要
性		争耒賀削	1/15年(90)							··~~在田寺								<b>→</b> 1'女
		Δ4	76. 51															
(2) 🗆 🏣	古太宝珥ナフキに		目標値対事業	業費 (e)			計算方				達成状況	ł	〇①目標値以		  標値以上となった   3.5.6 号及び風道			
投じる	直を実現する為に る事業費は適正か? 対表用)	0.05		単位	費用単位		i標:目標値×費用 )指標:(目標値−3			実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100	<ul><li>○②目標値と</li><li>●③目標値以</li></ul>	大 いて	[356号及び県道 「、道路管理者との ・な↓ 東業费が増加	協議により、		
(白標	対費用)	0.05		%	10万円					0. 04		80			:なり事業費が増加	. U I		
3. 事後記	平価																	
●現状どお	り推進 〇拡充	〇縮小	〇結合	○休止	〇廃止	○事業手法見直	しくの他	(事業完了など	")						<u> </u>			
事 本事業は	、法令に基づく必要を	不可欠なものである	ため、今後	評価コメ も現状どおり									改善	<b>養策及び展開方</b> [	nj			
DT .																		

事業コート							<b>υ Λ</b> Ι Ζ				_				
	*	877		課コード	0705		会計種別	一般会計			予算(	の種類	□政策	■経常	□なし
1. 事業の	D概要(PLAN)														
		①事業名	基本事業 我孫	子駅南北土地区画整理	里事業の実施			実施計画へ		有 〇無		②部課名	都市部・7	市街地整備課	
				子駅北口土地区画整理	<b>聖事業の推進</b>			位置づけ							
		③事業主体 ⑤事業期間	●市 O <sup>2</sup>	その他 ( 四和			)	④対象地区 ⑥担当職員数	■我孫子	□天王台	4 人	□新木 ○ (換算人数	□布佐	0.45 人)	
(1)事業概要		⑦事業費							(当 初)		3,920 千円	(うち人件費		3,915 千円)	
		(人件費含む)	総事業費	13,	870,000 千円			当該(開始)年	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	61003	重点プロジェクト	重点なし		基本計画地區		有 〇無		部門別計画への	(計画名)	都市計画マスタ	ープラン
			コード 快適でくらしやる		への位置づけ つ、地区の特性をいかしながら、地I		業などの手	計画への位置			どの都市基盤を	位置づけ 整備するため、土			
(2)目的		施策目的 · 展開方向	法により、良好な		また、施行中の我孫子駅前土							紫圏の拡大を図る		7× C10117 00	1,00 1 0 1,00
			事業完了に向けて	て清算金の徴収事務を		午7月96日什不悔些加入	D.八生士仁			収事務を実施すること		f)			
			った。	ン C、 投旅で飲む側が	g14.7ヘクタールを整備し、平成25:	+7月20日刊 C 换地处力	72521	当該年度		予定 令和7年	зизта)				
(3)事業内容		内 容						執行計画							
								当該年度	清算徴収金の	徴収割合				想定值	99
								活動結果指					単位	支 % 実績値	
(4)達成目標(	期待する成果)	<b>注答人の</b> 無順声数	+	達成目	標(期待する成果)			指標種類		<b>他加克</b>	指 標		単位	立 (5)現況値	(6)目標値
当該年度		清算金の徴収事務						直接	清算徴収金の				%	99	99
令和 3年度	ŧ	清算金の徴収事務						直接	清算徴収金の				%		9:
令和 4年度	ŧ	清算金の徴収事務						直接	清算徴収金の	徴収割合 			%		100
(7)事業実施上	上の課題と対応	清算金未払者に対	しての対応。					代替案検言	t (	)有 ●無					
	I		平成31年度			令和 2年度			 	和 3年度	L		슈	和 4年度	
				金額(千円)	+ . ;	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	円)決算額	i(千円)			金額(千円	)			金額(千円)
		旅費	-		3 旅費	7, 100	3	0 旅	 費			3 旅費			;
		通信運搬費			2 通信運搬費		2	1 通	信運搬費			2 通信運搬費	!		'
	実施内容														
(8)施行事項	費用														
	予算(決算)額 国庫支出金	全 補助率	· 計 0 %		5   合計     0   補助率	0 %	5	0 補具	合計 計率	0 %		0 補助率	合 計	0 %	
(A) E LYET + EE	県支出金 起債	補助率 充当率	0 %		0 補助率 0 充当率	0 %	0	0 補助		0 % 0 %		0 補助率 0 充当率		0 % 0 %	(
(9)財源内訳	一般財源		益 □基金 □その他		5 □ □特会 □受益 □基金 □-	その他	5	1	□特会 □受益 □基	金 口その他		5	□受益 □基金	金 口その他	
	換算人数(人) 正職員人件費			0. 5, 28	6	0	45 915	0. 45 3, 915			0 5, 2	. 6			0. 0 5, 220
(10) 人件費等	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				0		0	0			0, 2	0			(
事業費(予算(決	算)額+正職員人件費)			5, 28	5		920	3, 916			5, 2	•			5, 22
(事業費/	/活動結果指標)		53.38千円/%		39.6千円	/%		39. 56							
2. 事業の	)評価(DO+CHECK	)													
評	平価項目	<b>非孩子即业口协区</b>	ナー四和46年に3		前 評 価 皆段が設置され、これを境に既成の	典道に売して無砂度なら	## 11 <b>△</b> (1	①事前確認での		価(評価結果	に応じ、改善家	経検討(拡充も含む	;))		改善検討
(1) 車券も	が今必要である理由・	が進む傾向が見ら;	れる。このため、鳥	訳前広場、都市計画道	直路などをはじめとする公共施設及 i市街地への基盤を作ることが必要	び供給処理施設を先行的			想定どおりでなかっ	<i>t</i> =					〇要
	は?(事業の必要性)	神し、郁川焼能の	以音及ひ七地の利用	ガロ連で囚り、健主で	い。日本では、日本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本	<i>്ത</i> ം			と理由/想定どおりで	でなかった原因	>				
					4 7 7 11 7 1 7 1				)徴収を行った。				N. T. M. e. T.		
必		(理由) □法令等	で市が実施すること	では実施できない とが定められている	<その他の内容>			②市が主導で進	PO、市民団体等で めなければ実効性が	なかった		色の具体的な内容・ った事業であるため		田 >	
要		■提供土1 □その他	本が市しかない					促進された	なったことで市民へ						
性 (2) 市が実 あるか	関施する必要性は ↑?	O②自治体である			<その他の内容>			5サービス水準							○要
(市実	施の必要性)	口市が実施	・提供すること!	より実効性が得られる こより、良質で安定し				つその他	定供給基盤が確保さ	<i>πτ</i> :					●不要
		口市が支持		<b>改策・施策の目標の</b>			<b> </b> < ₹	の他の内容>							
		実現が[ □その他	図られる												
			6 1 14 M - 1												
参加			参加・協働の内	容 ————	工夫の具体	的な内容		参加・協働	・協働の具体的な内 が考えられる場合に	はその内容)			働の程度・阝	内容	
<ul><li>市民の参</li></ul>		○①事業計画時に ○②事業実施時に	市民の参画有り	容	工夫の具体	的な内容		参加・協働: 処分後につき、		はその内容)		参加・協 初期待した以上 初期待したとおり	働の程度・ア	内容	
97	加や市民との協働を	○②事業実施時に ○③管理・運営に	市民の参画有り 市民の参画有り		工夫の具体	的な内容	換地	参加・協働: 処分後につき、	が考えられる場合に	はその内容)	<b>●②当</b>	初期待した以上	働の程度・Γ	内容	Oæ
,	いるか?	○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り な活動と連携して		工夫の具体	が的な内容	換地	参加・協働: 処分後につき、	が考えられる場合に	はその内容)	●②当 ○③当	初期待した以上 初期待したとおり			
Í ŧ	いるか?	○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ●⑥その他	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り な活動と連携して		工夫の具体	的な内容	換地	参加・協働: 処分後につき、	が考えられる場合に	はその内容)	●②当 ○③当	初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下			
Í ŧ	いるか?	○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ●⑥その他	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り な活動と連携して 事業を実施	เงอ	工夫の具体 意見を聞く旨定められている。	的な内容	換地	参加・協働: 処分後につき、	が考えられる場合に	はその内容)	●②当 ○③当	初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下			
ž *	いるか?	○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ●⑥その他 <その他の内容> 土地区画整理法に	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画携して 事業を実施 基づき、土地区画動	เงอ			換地   ない	参加・協働処外後につき、。	が考えられる場合に 今年度については、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はその内容) 審議会を開催!	●②当○③当	初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理			
	いるか?	○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の共同で ●⑥その他 <その他の内容> 土地区画整理法にご	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り な活動と連携して 事業を実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	เงอ	意見を聞く旨定められている。		換地   ない	参加・協働処外後につき、。	が考えられる場合に 今年度については、	はその内容) 審議会を開催!	●②当 ○③当 <期待し	初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理	理由/期待以 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
7 BB	いるか?(リ)	○②事業実施時に ○③管理・回主的 ○⑤市民と共同で ●⑥その他 <その他の内容> 土地区画整理法に ○①生き物沿を共 同②手質沼を共 同③手質沼を共	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画連携して 事業を実施 基づき、土地区画 配慮の視点 かしている にしている	เงอ	意見を聞く旨定められている。		換地   ない	参加・協働処外後につき、。	が考えられる場合に 今年度については、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はその内容) 審議会を開催!	●②当 ○③当 <期待 L ●①想	初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理 定どおりでなかった	里由/期待以 竟への配慮 た		●不要
7 BB	いるか?(リ)	○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民のも ●⑥その他 <その他の内容> 土地区画整理法に □①自然環境を生 □②生き物と共存	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画連携して 事業を実施 基づき、土地区画 配慮の視点 かしている にしている	เงอ	意見を聞く旨定められている。		換地   ない	参加・協働処外後につき、。	が考えられる場合に 今年度については、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はその内容) 審議会を開催!	●②当 ○③当 <期待 L ●①想	初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理 環境	里由/期待以 竟への配慮 た		
7 BB	いるか?(リ)	○②事業実施時に ○③管理・回主同で ・⑥・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画画有り 市民の参画連携して 事業を実施 配慮の視点 かしている している している してする	いる を理審議会を設置し、	意見を聞く旨定められている。		換地   ない	参加・協働処外後につき、。	が考えられる場合に 今年度については、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はその内容) 審議会を開催!	●②当 ○③当 <期待 L ●①想	初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理 定どおりでなかった	里由/期待以 竟への配慮 た		●不要 ○ 要
福	いるか?(リ)	②②事業理・回言を ②③事業理・回言を ③③管理・回言を ③⑤市氏民の他 <その他の内容> 土地区画を □③生育環境とを持て □③生育環境とを持て □④でする。 □・回動を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画画有り 市民の参と連施 基づき、土地区画 配慮の視点 かしている している しに可載している にでいる	いる を理審議会を設置し、	意見を聞く旨定められている。 取組む	<b>介容</b>	換地   ない	参加・協働処外後につき、。	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 を設置済みである。	はその内容) 審議会を開催し	●②当 <期待↓ ●①想 ●①想 <想定 &	初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理 定どおりでなかった	里由/期待以 竟への配慮 た		●不要 ○ 要
環境へのの記載	いるか?( り)	○②事業実施時に ○③管理・回主同で ・⑥・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画画有り 市民の参画連携して 事業を実施 配慮の視点 かしている している している してする	いる  を理審議会を設置し、  を設置している。	意見を聞く旨定められている。 取組む 日標値の妥当性のチェッ ータ・事実に基づき設定している	<b>介容</b>	換地ない	参加・協働が強力をいった。	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 を設置済みである。	はその内容) 審議会を開催!	●②当 <期待 L ●①当 <期待 L ●①想 ○②想 <想定と	初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理 定どおりでなかった	里由/期待以 竟への配慮 た		●不要 ○ 要 ● 不要
環境に配った。 環境に配った。 いるか?	いるか?(リ)	②②事業理・回言を ②③事業理・回言を ③③管理・回言を ③⑤市氏民の他 <その他の内容> 土地区画を □③生育環境とを持て □③生育環境とを持て □④でする。 □・回動を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画画有り 市民の参と連施 基づき、土地区画 配慮の視点 かしている している しに可載している にでいる	いる  を理審議会を設置し、  を設置している。  □①客観的なデ  ■②現況値と比・	意見を聞く旨定められている。取組む	<b>介容</b>	換地ない	参加・協働処外後につき、。	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 を設置済みである。 状況	はその内容) 審議会を開催し ●①目標標値 ○②目標を達成 <目標を達成	●②3当 <期待し ●①3当 <期待し ●①2想 <想定と	初期待した以上 初期特した以上 初期特したとおり 初初の期待以下 した以上となった理 定定どおりでなかっ ごおりでなかった ののでなかった ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは のので	理由/期待以 竟への配慮 た 原因>		●不要 ○ 要
環境に配った。 環境に配った。 いるか?	いるか?( り)	○②事業理・自言で ○③管理・回言で ○④市民との ・●⑥その他 <その他の内容> 土地区画整理法に □①生き賀沼債の ■⑤その他 <その他を理法に □①生き賀沼債 ■⑤その他  <その他の内容> 土地区画を明治に 現況値(a)(%)	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画画有り 市民の参画連携して 事業を実施 配慮の視点 かしている ししている しして貢献している しに貢献している	いる	意見を聞く旨定められている。  取組む  財組む  取組む  事実に基づき設定している  べ実現性が乏しい値ではない  差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけ	<b>7</b> 内容	換地ない	参加・協働が強力をいった。	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 を設置済みである。	はその内容) 審議会を開催し ●①目標標値 ○②目標を達成 <目標を達成	●②3当 <期待し ●①3当 <期待し ●①2想 <想定と	初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理 定どおりでなかった だおりでなかった原	理由/期待以 竟への配慮 た 原因>		●不要 ○ 要要 ● O 要
環境に配った。 環境に配った。 いるか?	いるか?( り)	②②事業理・自言で ③③管市市民と他 ○③市市民民・他 <その他の内容> 土地区画 ●⑤・を □①3度・表で □①3度・表で □③3度・表で □□3度・表で □□3度	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り で事業を をづき、土地区画 配慮の視点 かしている ししている ししている ししている ししている ししている ししている もしている もしている もしている もしている もしている もしている もしに もした もった。 あった。 もった。 もった。 もった。 もった。 もった。 もった。 もった。 も	いる  を設置している。  □①客観的なデー ■②現況値とい □③現通当ない地 □のの水準	意見を聞く旨定められている。 取組む 日標値の妥当性のチェッ ータ・事実に基づき設定している べ実現性が乏しい値ではない 差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけ である 実施予定の対策	7 ク ・る目標値(と現況値の差	換地ない	参加・協働 処外後につき、 。 「に、都市公園な 達成 (精値(f)(%)	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 を設置済みである。 状況 達成率(%) (f/b×100) 100	本の内容) 審議会を開催  □ ① ① 目標値値  ○ ② 目標を達者の  ○ ② 割棚を達者の  ○ ① 割糖を達者の  ○ ① 割糖を達者の	●②③当当 (期待し (型)	初期待した以上 初期待した以上 初期待したとおり初の期待以下 した以上となった理 定 と な おりでなかった に さ おりでなかった に は 成となった原因    成となった の 徴収が進ん 事業	理由/期待以 竟への配慮 た 原因>	下であった原因ン	●不要 ○ 要要 ● O 要
環境 環境に配かり 環境 いるか? (1)目標部	いるか?( り)	②②事業理・自言で ③③管市市民と他 ○③市市民民・他 <その他の内容> 土地区画 ●⑤・を □①3度・表で □①3度・表で □③3度・表で □□3度・表で □□3度	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り で表示を実施 をづき、土地区画 配慮の視点 かしている している している しに貢献している 目標値(b)(%)	を理審議会を設置し、 を設置している。 □ (2現現況値との: □ (3現の当なの水準 □ (1) 国・県助成で □ (2) 現有体制で	意見を聞く旨定められている。     取組む     日標値の妥当性のチェッ	ク プ プ プ で る目標値(と現況値の差 工等民間資本の活用 者負担	換地ない	参加・協働 処外後につき、 。 「に、都市公園な 達成 (精値(f)(%)	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 を設置済みである。 状況 達成率(%) (f/b×100)	本の内容) 審議会を開催  □ ① ① 目標値値  ○ ② 目標を達者の  ○ ② 割棚を達者の  ○ ① 割糖を達者の  ○ ① 割糖を達者の	●②③当当 (関係 では できます できます できます できます できます できます できます できます	初期待した以上 初期特した以上 初期特したとおり 初の期待以下  た以上となった理  定どおりでなかっ  おりでなかった  おりでなかった  の微収が進ん	理由/期待以 竟への配慮 た 原因> だため。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。	下であった原因ン	●不要 ○ 要要 ● O 要
環境(この) 環境(この) 環境(この) では、 (1) 目標(計) では、 (2) 事業業	いるか? ( り) 虚して事業を進めて  虚にな事業を進めて  登岸は適切か?	○②事業理・回言で ○③管理・回言で ○④市民と他 ○●・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画画有り 市民の参画画有り でまままた。 ・ 土地区画 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を設置し、 を設置している。 □①客観的なでデルの。 □②現況値を比めの。 □②現況値を比めの。 □②現況値を比較準 □①国・県助成で第一〇の3維料・関連のは、関連のは、関連のは、関連のは、関連のは、関連のは、関連のは、関連のは、	意見を聞く旨定められている。     取組む     日標値の妥当性のチェッ	ク プ プ プ で る目標値(と現況値の差 工等民間資本の活用 者負担	換地ない	参加・協働が 処別分後につき、 。 に、都市公園で 接値(g)(千円) 3,916	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 主設置済みである。 状況 達成率(%) (f/b×100) 100 状況 対事業費(%)	は 本の内容) では 不可能 は できます できます できます できます できます できます できます できます	●②③当当 (関係 では できます できます できます できます できます できます できます できます	初期待した以上 初期特した以上 初期特したとおり 初期特したと では	理由/期待以 竟への配慮 た 原因> ・だため。 ・費の削減対勢 定どおりでた	下であった原因ン 家について なかった	● 不要
環境 環境 に配 ? 環境 に配 ? (1) 目標 ii	いるか? ( り) 虚して事業を進めて  虚にな事業を進めて  登岸は適切か?	○②事業理・自言の(3)	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市大活動を連施 配慮の視点 かしている している している ししている ししている ししている ししている もしている もしている もしている もしている もしている もしている もしている もしている もした。 第二章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一	いる  を理審議会を設置し、  を設置している。  □①客観館が変更に □②現況値をからでいる。  □②現況にのできます。 □②は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	意見を聞く旨定められている。     取組む     日標値の妥当性のチェッ	ク プ プ プ で る目標値(と現況値の差 工等民間資本の活用 者負担	換地ない	参加・協働 処別分後につき、 。 に、都市公園 接値(f)(%) 99 実施	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 主設置済みである。 状況 達成率(%) (f/b×100) 100 :状況 対事業費(%) (g/c)×100	は 本の内容) では 不可能 は できます できます できます できます できます できます できます できます	●②③当当 (関係 では できます できます できます できます できます できます できます できます	初期待した以上 初期特した以上 初期特したとおり 初の期待したとおり でない た以上となった理 定定どおりでなかっ に定じおりでなかった に変している。 は算金の徴収が進ん 事前の 想 ○②事前の想	理由/期待以 竟への配慮 た 原因> ・だため。 ・費の削減対勢 定どおりでた	下であった原因ン 家について なかった	● 不要
環境 環境 に配。 環境 に配。 (1) 目標 iii 業 るか な (2) 事い な な	いるか? ( り) 虚して事業を進めて  虚にな事業を進めて  登岸は適切か?	○②事業理・回答は ○③衛市民との ●⑥その他の内容>土地区画を理法に □①全手環境と共産 □①全手環境と共産 □③生手環境を生産 □③生子環境を必要を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市大活動を連施 配慮の視点 かしている している している ししている ししている ししている ししている もしている もしている もしている もしている もしている もしている もしている もしている もした。 第二章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一章 第一	を設置し、 を設置している。 □①客観的なでデルの。 □②現況値を比めの。 □②現況値を比めの。 □②現況値を比較準 □①国・県助成で第一〇の3維料・関連のは、関連のは、関連のは、関連のは、関連のは、関連のは、関連のは、関連のは、	意見を聞く旨定められている。     取組む     日標値の妥当性のチェッ	ク プ プ プ で る目標値(と現況値の差 工等民間資本の活用 者負担	換地ない	参加・協働が 処別分後につき、 。 に、都市公園で 接値(g)(千円) 3,916	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 主設置済みである。 状況 達成率(%) (f/b×100) 100 :状況 対事業費(%) (g/c)×100	は 本の内容) では 不可能 は できます できます できます できます できます できます できます できます	●②③当当 (関係 では できます できます できます できます できます できます できます できます	初期待した以上 初期特した以上 初期特したとおり 初の期待したとおり でない た以上となった理 定定どおりでなかっ に定じおりでなかった に変している。 は算金の徴収が進ん 事前の 想 ○②事前の想	理由/期待以 竟への配慮 た 原因> ・だため。 ・費の削減対勢 定どおりでた	下であった原因ン 家について なかった	● 不要
環境 で配 環境 に配 で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	いるか? ( り) 虚して事業を進めて  虚にな事業を進めて  登岸は適切か?	○②事業理・自言で ○③管理・自言で ○④市民と回言に ○●⑥その他 <その他の内容> 土地区画を理法に □①全手でで □②生き智環境と共意識 □④をきる荷他 <その他の内容> 土地区画を理法に 現況値(a)(%)  99  対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,920 事業費削	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画連携して 事業を実施 配慮の視点 かしている ししてではしている ししてではしている ししてではしている しまでき、都市公園。 事業費削減額(d) (千円) 1,365 減率(%)	を設置し、 を設置している。  □①容親級的なテ比 □②現現に値と比較 ■②3現に値と比較 □②現場当の水準 □①2、県、制成で ■②3維持情で選託 <削減の内容>	意見を聞く旨定められている。 取組む 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している べ実現性が乏しい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 制度活用 の対応 の削減策の実施 □⑦その	ク ・る目標値(と現況値の差 工等民間資本の活用 者負担 他	換地ない	参加・協働 効処分後につき、 。 に、都市公園 養値(f)(%) 99 実施 養値(g)(千円) 3,916 過理由等>	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 主設置済みである。	は 本の内容) では 不可能 は できます できます できます できます できます できます できます できます	●②③当当 (型型 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	初期待した以上 初期特した以上 初期特したとおり 初の期待したとおり でない た以上となった理 定定どおりでなかっ に定じおりでなかった に変している。 は算金の徴収が進ん 事前の 想 ○②事前の想	理由/期待以、 竟への配慮 た 原因> ・だため。 ・費定どおりのでかいます。 ・できなかいます。	下であった原因〉 策について なかった った原因〉	● 不要  ● 不要  ● 不要  ● ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼
環境への配慮 環境に配? (1)目標部 (2)事業者が (3)目標値	いるか? ( り) 虚して事業を進めて  虚にな事業を進めて  登岸は適切か?	○②事業理・自言で ○③管理・自言で ○④市民と回言に ○●⑥その他 <その他の内容> 土地区画を理法に □①全手でで □②生き智環境と共意識 □④をきる荷他 <その他の内容> 土地区画を理法に 現況値(a)(%)  99  対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,920 事業費削	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り で事業を、土地区画 配慮の視点 かしている している している している している している 目標値(b)(%) 99 る事業費削減額(d) (千円) 1,365 減率(%)	を設置している。  を設置している。  □①客観的などの □②現況はなのでは、 □③ののでは、 □③のでは、 □○のでは、 □○のでは	意見を聞く旨定められている。  取組む  日標値の妥当性のチェッ  一タ・事実に基づき設定している  べ実現性が乏しい値ではない  差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである  実施予定の対策  別度活用 の対応 の削減策の実施  日⑥ 子  計算方:  〇①単年度の指標:目標値×費用	ク ク 1等民間資本の活用 者負担 他 法 単位/事業費	換地ない   すで   実	参加・協働 効処分後につき、 。 に、都市公園 養値(f)(%) 99 実施 養値(g)(千円) 3,916 過理由等>	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 を設置済みである。 状況 達成率(%) (f/b×100) 100 状況 対事業費(%) (g/c)×100 99.9	本の内容) では、	●②③当当   ●②②③当当   ●②②③当当   ●②②③当当   ●③②□   ●③□	初期待した以上 初期特した以上 初期特したとおり 初期特したと では	理由/期待以 竟への配慮 た (版因) た (版因) を を で を で を で を で を で を で を で を の に で が の に が の に が の に が の に が の に 。 に の に 。 に の に 。 に の に 。	下であった原因ン 家について なかった った原因>	● 不 要 要
環境への配慮 (1)目標影 対 率 性 (3) 目標に	いるか? (り) 虚して事業を進めて  設定は適切か?  を削減の工夫をして で で を実現する為に	○②事業理・自言で ○③管理・自言で ○④市民と回言に ○●⑥その他 <その他の内容> 土地区画を理法に □①全手でで □②生き智環境と共意識 □④をきる荷他 <その他の内容> 土地区画を理法に 現況値(a)(%)  99  対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,920 事業費削	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り でまままた。 ・ 土地区画 ・ ・ ・ 土地区画 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を設置している。  を設置している。  □①客観的などの □②現況はなのでは、 □③ののでは、 □③のでは、 □○のでは、 □○のでは	意見を聞く旨定められている。  取組む  日標値の妥当性のチェッ ータ・事実に基づき設定している ベ実現性が乏しい値ではない 差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 制度活用 の対応 の削減策の実施  同⑤受益 の削減策の実施	ク ク 1等民間資本の活用 者負担 他 法 単位/事業費	換地ない   すで   実	参加・協働が 一般の 一般では、 参加・協働が 連邦・ 一般では、 一をは、	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 を設置済みである。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	はその内容) ●①目目標標値 ●②②目標約付置に ●②②相定なの ●②②想定なの ●②②想定なの ●②③想に ●③②想に ●③②は ●③③は ●③②は ●③○な ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○○②は ●○○②は ●○○②は ●○○②は ●○○②は ●○○○○ ●○○○ ●○○○ ●○○○ ●○○○ ●○○ ●	●②③当当   ●②②③当当   ●②②③当当   ●②②③当当   ●③②□   ●③□	初期待した以上 初期特した以上 初期特した以上 初期特したと の は の は の は の は の は の は の は な な か の は な な か の は な な か の は な な か の は な な な の 微 収 が な か の の の の の の を は を な の で な な か の の の の の の を は を な の で は を な の で は を な の で は を な の で は を な の で は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	理由/期待以 竟への配慮 た (版因) た (版因) を を で を で を で を で を で を で を で を の に で が の に が の に が の に が の に が の に 。 に の に 。 に の に 。 に の に 。	下であった原因ン 家について なかった った原因>	● 不要  ● 不要  ● ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼
環境への配慮 (1)目標 (3)目標 (1) 目標 (3)目標 (1) 目標 (1)	いるか? (5 り)  虚して事業を進めて  とない。  を定は適切か?  を関連である場合で  を実現する場合で  を実現する場合で  を表する場合で  を対費用)	○②事業理・自言の(3) (3) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民活動を実施 配慮の視点 かしている にしてがしている にしてす献している 目標値(b)(%) 99 る事業費削減額(d) (千円) 1,365 減率(%)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意見を聞く旨定められている。  取組む  日標値の妥当性のチェッ  一タ・事実に基づき設定している  べ実現性が乏しい値ではない  差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである  実施予定の対策  別度活用 の対応 の削減策の実施  日⑥ 子  計算方:  〇①単年度の指標:目標値×費用	ク ク 1等民間資本の活用 者負担 他 法 単位/事業費	換地ない   すで   実	参加・協働を	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 を設置済みである。 状況 達成率(%) (f/b×100) 100 状況 対事業費(%) (g/c)×100 99.9	はその内容) ●①目目標標値 ●②②目標約付置に ●②②相定なの ●②②想定なの ●②②想定なの ●②③想に ●③②想に ●③②は ●③③は ●③②は ●③○な ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○○②は ●○○②は ●○○②は ●○○②は ●○○②は ●○○○○ ●○○○ ●○○○ ●○○○ ●○○○ ●○○ ●	●②③当当   ●②②③当当   ●②②③当当   ●②②③当当   ●③②□   ●③□	初期待した以上 初期特した以上 初期特した以上 初期特したと の は の は の は の は の は の は の は な な か の は な な か の は な な か の は な な か の は な な な の 微 収 が な か の の の の の の を は を な の で な な か の の の の の の を は を な の で は を な の で は を な の で は を な の で は を な の で は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	理由/期待以 竟への配慮 た (版因) た (版因) を を で を で を で を で を で を で を で を の に で が の に が の に が の に が の に が の に 。 に の に 。 に の に 。 に の に 。	下であった原因ン 家について なかった った原因>	● 不 要 要
(1)目標 (1)目標 (2)事いる (3)目標に (3)目標に	いるか? (リ) 虚して事業を進めて を定は適切か? を削減の工夫をして で を実現する為に を実業費は適正か? 対費用)  平価	○②事業理・回言で ○③事業理・回言で ○④市市民との ●⑥・その他の内容・主地区画 □①生手環境と □②は手環境と表で □③は、でのは <その他の内容・主地区画・一〇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 市民活動を実施 配慮の視点 かしている にしてがしている にしてす献している 目標値(b)(%) 99 る事業費削減額(d) (千円) 1,365 減率(%)	とという。  を設置している。  □②現況値をいか。 ■②現況値をいか。 ■②現況値をいか。 □③現場当等のはのは、水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意見を聞く旨定められている。  取組む  日標値の妥当性のチェッ  一タ・事実に基づき設定している  べ実現性が乏しい値ではない 差がからする場合、比較対象例におけてある  実施予定の対策 制度活用 の対応 の削減策の実施  □⑦その  計算方: ○①単年度の指標:目標値×費用  ●②複数年度の指標:(目標値-更	ク ク 1等民間資本の活用 者負担 他 法 単位/事業費	換地ない   すで   実	参加・協働を	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 を設置済みである。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	はその内容) ●①目目標標値 ●②②目標約付置に ●②②相定なの ●②②想定なの ●②②想定なの ●②③想に ●③②想に ●③②は ●③③は ●③②は ●③○な ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○③は ●○○②は ●○○②は ●○○②は ●○○②は ●○○②は ●○○○○ ●○○○ ●○○○ ●○○○ ●○○○ ●○○ ●	●②③当当   ●②②③当当   ●②②③当当   ●②②③当当   ●③②□   ●③□	初期待した以上 初期特した以上 初期特した以上 初期特したと の は の は の は の は の は の は の は な な か の は な な か の は な な か の は な な か の は な な な の 微 収 が な か の の の の は を な の で な な か の の の の の の を 表 を は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	理由/期待以 竟への配慮 た (版因) た (版因) を を で を で を で を で を で を で を で を の に で が の に が の に が の に が の に が の に 。 に の に 。 に の に 。 に の に 。	下であった原因ン 家について なかった った原因>	● 不 要 要
環境への配慮 (1)目標影 対 率性 (3)目標に標 で 事 状 ど お の の の の の の の の の の の の の の の の の の	いるか? (リ) 虚して事業を進めて を定は適切か? を削減の工夫をして で を実現する為に を実業費は適正か? 対費用)  平価	○②事業理・自言の(3) (3) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	市民の参画有り 市民の参画有りり 市民の参画画有りして 市民の参画画有りして 事業・土地区画報 配慮の視点 かしている してて貢献している してて貢献している 目標値(b)(%) 99 る事業費削減額(d) (千円) 1,365 減率(%) 83 目標値対事業費(e)	を設置している。  を設置している。  「②現況現面をといる。」 「③2現況現のをといる。」 「③2現況にない。」 「③3現況にない。」 「③3現況には、といい。」 「③3は共間をという。」 「③4は特間を表し、」 「③4は特間を表し、」 「③4は特別を容し、」 「③4は特別を容し、」 「③4は特別を容し、」 「③4は特別を容し、」 「③5は特別を容し、」 「○5は、「○5は、「○5は、「○5は、「○5は、「○5は、「○5は、「○5は、	意見を聞く旨定められている。  取組む  日標値の妥当性のチェッ  一タ・事実に基づき設定している  べ実現性が乏しい値ではない  差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである  実施予定の対策 制度活用 の対応 □⑤ P 左  の削減策の実施 □⑦その  計算方:  ○①単年度の指標:目標値×費用  ●②複数年度の指標:目標値・費用  ●②複数年度の指標:(目標値・  ○○・事業手法見直し  ○○・の他(	クク 「る目標値(と現況値の差 「等民間資本の活用者負担 他 法 単位/事業費 現況値)×費用単位/事業	換地ない   すで   実	参加・協働を	が考えられる場合に 今年度については、 実施した具体的な内 を設置済みである。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	はその内容) ●①目標標値値 ○②目標的付置に変す。 ・○③想を開発にできませます。 ・○③想を表示する。 ・○③割にできませます。 ・○③割にできまます。 ・○③割にできままます。 ・○③割にできままます。 ・○③割にできまままます。 ・○③割にできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	●②③当当   ●②②③当当   ●②②③当当   ●②②③当当   ●③②□   ●③□	初期待した以上 り 初期待した以上 り 初期待した以上 り 初期待した と か の 以上 と な っ た 原 と が か か っ た 原 と が な か っ た 原 と が で な か っ た 原 医 と か で な か っ た 原 を と か で な か っ た 原 と と か で な か っ た 原 と と か で な か っ た 原 と と か で な か っ た 原 と と か で な か っ た 原 と と か で な か っ た 原 と と か っ た 原 と と か っ た 原 と と か で な か っ た 原 と と か で な か っ た 原 と と か っ た よ は 値 似 上 の 伽 想 り 削 標 橋 値 似 上 の の お り 削 標 橋 値 以 上 の の よ と か っ た よ	理由/期待以 竟への配慮 た (版因) た (版因) を を で を で を で を で を で を で を で を で が の に で が の に が の に が の に が の に に の に の に の に の に の に 。 に	下であった原因ン 家について なかった った原因>	● 不 要 要

							12年度)								
事業コード		2226		課コード	0705	会計種	別 一般会計				予算の	種類	〕政策	□経常	■なし
1. 事業の概要	要(PLAN)														
		①事業名	基本事業				実施計画	~の	O #	● 無	(3)		<b>郑</b> 古郊,古	街地整備課	
				らくり事業の業務全般			位置づり	t							
		③事業主体 ⑤事業期間	●市 Oそ	·の他( 平成30			<ul><li>④対象地区</li><li>⑥担当職員</li></ul>	₿tr	□我孫子		]湖北 2 人	□新木  (換算人数	□布佐	●全市 0.15 人)	
(1)事業概要		⑦事業費	60 = alle +b	1 12.00				-	(当 初)		<u>2 八</u> 05 千円	(うち人件費		1,305 千円)	
		(人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始)	年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策 コード	61003	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし	基本計画地計画への位置		〇有	●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
		施策目的・	快適でくらしやす		地区の特性をいかしながら、地図		の手		平成29年度で布	i佐駅南側まちづく	(り事業は5		づくり事業に	関する問い合せ	こ対応する。
(2)目的		展開方向	法により、良好な くり事業の早期完		ᅡ。また、施行中の我孫子駅前土♭	也区画整理事業と布佐駅南側ま	事業目的	的							
			・まちづくり事業	に関する問い合わせへ	への対応				・まちづくり事業	に関する問い合わ	つせに対応す	する。			
							当該年原 執行計画								
(3)事業内容		内 容					,,,,,,,,	_							
							当該年原		まちづくり事業に	関する問い合わせ	<u>+</u>		単位	想定值	
							活動結果技							実績値	(2) = 1=11
(4) 達成目標 (期待す ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	する成果)	まちづくり事業に	関する問い合わせ処		票(期待する成果)		指標種類直接	領	まちづくり事業に		標 生処理件数		単位件	(5) 現況値	(6)目標値
		まちづくり事業に	関する問い合わせ処	<u></u> 理					まちづくり事業に	.関する問い合わせ	±処理件数			•	
令和 3年度 			関する問い合わせ処				直接		まちづくり事業に				件		
令和 4年度				事業の計画等を行う。			直接			- IXI 7 O IXI V II 17 C			件		
(7)事業実施上の課題	題と対応	フ抜、よりコくり/	ア必安になりた际に	- 争来の計画寺を11 プ。			代替案検	討	〇有	●無					
			平成31年度			令和 2年度			令和 3	3年度			令和	D 4年度	
		政策	内 容	金額(千円)	政 内容	予算額(千円) 🧎	央算額(千円) 政策		内 容	ź	验額(千円)	政策	内 容	!	金額(千円
		まちづくりに関	する問合わせ対応	0	まちづくりに関する問合わせ	対応 0	0 8	まちづく	りに関する問合わ	サ対応	C	まちづくり	に関する問合	合わせ対応	
	実施内容														
(8) 施行事項	費用														
	7 Mr /\_ Mr\ \+=		=1		, <u>.</u>				A =1				A =1		
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	0 %		補助率	0 0 0		助率	合 計	0 %	C	前 補助率	合 計	0 %	
(0) 財循内部	県支出金 起債	補助率 充当率	0 % 0 %	0	補助率 充当率	0 % 0	0 充	助率 :当率		0 %	C	補助率       充当率		0 % 0 %	
	一般財源 その他の財源	□特会 □受益	益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □1		0	□特会	: □受益 □基金 [	コその他	0	) □特会 [	□受益 □基金	∶□その他	
	與算人数(人) E職員人件費			0. 2 1, 760		0. 15 1, 305	0. 15 1, 305				0. 2 1, 740				0. 1, 74
明島吉	託職員報酬額 時職員賃金額			0		0	0					)			
事業費(予算(決算)額 <del>-</del> (11) 単位費用				1, 760		1, 305	1, 305				1, 740	)			1, 74
(事業費/活動網		<u> </u>	1,760千円/件		1,305千円	<b>/</b> 件	1, 305								
2. 事業の評価	曲 (DO+CHECK	)													
評価項目	i <b>B</b>	ナナズノリ市衆	(- BB + 7 BB ) 、		· 評 価		● <b>②</b> 東美療器で	0 #I C		・ (評価結果に応し	<b>じ、改善案</b> 権	検討(拡充も含む	3) )		改善検
/1\ <b>=</b> # /2 A > =	<b></b>			:等に対応するため。 終に、事業の計画等を行	テうため。		●①事前確認での ○②事前確認での								0.7
(1)事業が今必要 背景は?(事	要である理田・ 事業の必要性)								/想定どおりでな						○要 ●不要
									業の成果等に関す						
必		(理由) ■法令等	IPO、市民団体等で で市が実施すること		<その他の内容>				市民団体等では実					h>	
要		Ⅰ □提供主任					□②市が主導でi					の具体的な内容・ した事業であるた		47	
性 (2)市が実施する あるか?	る必要性は	口その他	体が市しかない				□②市が主導で記 □③市が先導役の 促進された	となった	ことで市民へ普及	が一層					
のるか?		口その他		<b>ある</b>	<その他の内容>		□②市が主導で記 □③市が先導役の 促進された	となった 政策・施	ことで市民へ普及	が一層					〇要
	必要性)	口その他 〇②自治体である (理由) 口市が主義	の市が推進すべきで <i>を</i> 導で進めることによ	り実効性が得られる			□②市が主導で注 □③市が先導役。 促進された □④市の支援が正 □⑤サービス水差 □⑥サービスの5	となった 政策・施 準が確 <b>頃</b>	ことで市民へ普及	対が一層					〇要 ●不要
	必要性)	□その他 ○②自治体である (理由) □市が主 □市が実  サービ	o市が推進すべきでる 導で進めることによ 施・提供することに スが保証される	り実効性が得られる より、良質で安定した			□②市が主導で済 □③市が先導役で 促進された □④市の支援が正 □⑤サービス水2	となった 政策・施 準が確保 安定供終	ことで市民へ普及 画策の目標の実現に Rされた	対が一層					
	必要性)	□その他 ○②自治体である (理由) □市が主 □市が主 ・サービ □市が支封 ・実現が[	の市が推進すべきでを 尊で進めることによ 施・提供するる ズが保証される 援することにより政 図られる	り実効性が得られる より、良質で安定した			□②市が主導で注 □③市が先導役。 促進された □④市の支援が〕 □⑤サービス水注 □⑥サービスの5 □⑦その他	となった 政策・施 準が確保 安定供終	ことで市民へ普及 画策の目標の実現に Rされた	対が一層					
	必要性)	□その他 ○②自治体である (理由) □市が主部 □市が実施 サービン □市が支持	の市が推進すべきでを 尊で進めることによ 施・提供するる ズが保証される 援することにより政 図られる	: り実効性が得られる: より、良質で安定した		的な内容	□②市が主導で: □③市が先導役: 促進された □④市の支援が □⑤サービスの3 □⑦その他 <その他の内容>	とないまでは、とないまでは、とないまでは、これでは、とないまでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	ことで市民へ普及 産業の目標の実現に まされた 合基盤が確保された の具体的な内容(	文は今後、		した事業であるた			
参	必要性)	□その他 ○②自治体である (理由) □市が主 □市が実 サービ □市が実 実現が □その他  ●①事業計画時に	市が推進すべきできる 導で進めることによい 施・提供することに スが保証される 援することにより政 図られる 参加・協働の内容 市民の参画有り	: り実効性が得られる: より、良質で安定した	=		□②市が主導で: □③市が先導役: 促進された □④市の支援が □⑤サービスの3 □⑦その他 <その他の内容>	と 政集安 ・ 旅保 ・ 旅保 ・ 旅場 ・ 旅場 ・ できる ・ できる できる できる できる でき できる できる できる	ことで市民へ普及 産策の目標の実現に 長された 合基盤が確保された の具体的な内容 られる場合にはそ	なが一層 貢献した - - 又は今後、 の内容)	市が実施	した事業であるた 参加・協 D期待した以上			
参加: 市民の参加や市		□その他  ○②自治体である (理由) □市が主 □市が支 □市が支 実現が □その他  ●①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に	市が推進すべきでは 導で進めることによい 準に提供するることによい 大が保証さとにより政 図られる 参加・協働の内容 市市民の参画有り 市市民の参画有り	: り実効性が得られる より、良質で安定した 対策・施策の目標の	工夫の具体		□②市が主導でででは、	と 政集安 ・ 旅保 ・ 旅保 ・ 旅場 ・ 旅場 ・ できる ・ できる できる できる できる できる できる できる できる	ことで市民へ普及 産策の目標の実現に 長された 合基盤が確保された の具体的な内容 られる場合にはそ	なが一層 貢献した - - 又は今後、 の内容)	市が実施 ○①当初 ●②当初	した事業であるた			●不要
<ul><li>市民の参加や市</li></ul>	市民との協働を	□その他 ○②自治体である (理由)□市が主 ・サービ ・ロ市が実 ・サービ ・ファック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市が推進すべきでは 導で進始ることによ 嫌・提供することに なが保証される 関図られる 参加・協働の内容 で市民の参画有り 市市民の参画有り では、の参画有り では、の参画有り では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	: り実効性が得られる より、良質で安定した 対策・施策の目標の	工夫の具体		□②市が主導でで □③市が先導及で □③市が先導及で 同の中でで □⑤サービスの5 □⑦その他 <その他の内容>	と 政集安 ・ 旅保 ・ 旅保 ・ 旅場 ・ 旅場 ・ できる ・ できる できる できる できる できる できる できる できる	ことで市民へ普及 産策の目標の実現に 長された 合基盤が確保された の具体的な内容 られる場合にはそ	なが一層 貢献した - - 又は今後、 の内容)	市が実施  ○①1当初初  ●②2当初  ○③3当初	参加・協 割期待した以上 1期待したとおり	働の程度・内	<b>]</b> 容	
・ 市民の参加や市 協 工夫しているか (体制づくり)	市民との協働を	□その他  ○②自治体である (理由) □市が主 ・サービ ・サービ ・サービ ・サービ ・サービ ・サービ ・サービ ・東現が ・サービ ・東スの他  ●①事業計画時に ・○②事業理・値営的 ・○③管理・の生共にで ・○⑤その他	市が推進すべきでは 導で進始ることによ 嫌・提供することに なが保証される 関図られる 参加・協働の内容 で市民の参画有り 市市民の参画有り では、の参画有り では、の参画有り では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	: り実効性が得られる より、良質で安定した 対策・施策の目標の	工夫の具体		□②市が主導でで □③市が先導及で □③市が先導及で 同の中でで □⑤サービスの5 □⑦その他 <その他の内容>	と 政集安 ・ 旅保 ・ 旅保 ・ 旅場 ・ 旅場 ・ できる ・ できる できる できる できる できる できる できる できる	ことで市民へ普及 産策の目標の実現に 長された 合基盤が確保された の具体的な内容 られる場合にはそ	なが一層 貢献した - - 又は今後、 の内容)	市が実施  ○①1当初初  ●②2当初  ○③3当初	参加・協 別期待した以上 別期待したとおり の期待以下	働の程度・内	<b>]</b> 容	●不要
・ 市民の参加や市 協 工夫しているか (体制づくり)	市民との協働を	□その他 ○②自治体である (理由)□市が主 ・サービ ・ロ市が実 ・サービ ・ファック ・マック ・マック ・マック ・マック ・マック ・マック ・マック ・マ	市が推進すべきでは 導で進始ることによ 嫌・提供することに なが保証される 関図られる 参加・協働の内容 で市民の参画有り 市市民の参画有り では、の参画有り では、の参画有り では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	: り実効性が得られる より、良質で安定した 対策・施策の目標の	工夫の具体		□②市が主導でで □③市が先導及で □③市が先導及で 同の中でで □⑤サービスの5 □⑦その他 <その他の内容>	と 政集安 ・ 旅保 ・ 旅保 ・ 旅場 ・ 旅場 ・ できる ・ できる できる できる できる できる できる できる できる	ことで市民へ普及 産策の目標の実現に 長された 合基盤が確保された の具体的な内容 られる場合にはそ	なが一層 貢献した - - 又は今後、 の内容)	市が実施  ○①1当初初  ●②2当初  ○③3当初	参加・協 別期待した以上 別期待したとおり の期待以下	働の程度・内	<b>]</b> 容	●不要
・ 市民の参加や市 協 工夫しているか (体制づくり)	市民との協働を	□その他  ○②自治体である (理由) □市が主 ・サービ ・サービ ・サービ ・サービ ・サービ ・サービ ・サービ ・東現が ・サービ ・東スの他  ●①事業計画時に ・○②事業理・値営的 ・○③管理・の生共にで ・○⑤その他	市が推進すべきでは 導で進始ることによ 嫌・提供することに なが保証される 関図られる 参加・協働の内容 で市民の参画有り 市市民の参画有り では、の参画有り では、の参画有り では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、の参画を では、のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	: り実効性が得られる より、良質で安定した 対策・施策の目標の	工夫の具体事業化する際は、市民との協同	で地区計画等を策定する。	□②市が主導でで □③市が先導及で □③市が先導及で 同の中でで □⑤サービスの5 □⑦その他 <その他の内容>	と 攻隼安 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ことで市民へ普及 原案の目標の実現に まされた 会基盤が確保された の具体的な内容( られる場合にはそ ちづくり事業がない	なが一層 貢献した - - 又は今後、 の内容)	市が実施  ○①1当初初  ●②2当初  ○③3当初	参加・協 別期待した以上 期待したとおり の期待以下 た以上となった理	働の程度・内	<b>]</b> 容	●不要
<ul><li>市民の参加や市協 協 工夫しているか (体制づくり)</li></ul>	市民との協働を	□その他 ○②自治体である (理由)□市が主 □市が実 サーヴ 実現が □その他 ○②事業計画時に ○②事業実施に ○③管市市民と共 ○⑤をの他 <その他の内容>	市が推進すべきでは 連で進供することにより 施・提供されるよとに 実施・提供証さとにより政 参加・協働の内容 一市民の参画有有り 市市市民の参画有有り 市市市民の参画有りり 市な活動と連携 配慮の視点 たかしている	: り実効性が得られる より、良質で安定した 対策・施策の目標の	工夫の具体	で地区計画等を策定する。	□②市が主導でで □③市が先導及で □③市が先導及で 同の中でで □⑤サービスの5 □⑦その他 <その他の内容>	と 攻隼安 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ことで市民へ普及 産策の目標の実現に 長された 合基盤が確保された の具体的な内容 られる場合にはそ	なが一層 貢献した - - 又は今後、 の内容)	市が実施  ○①当初  ○②当初  ○別当初  ○別当初  ○別もした	参加・協 別期待した以上 期期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境	働の程度・内理由/期待以下	<b>]</b> 容	●不要
・協働の工夫 環	市民との協働を か?	□その他 ○②自治体である(理由)□市が実法 □市がまま。サービ注 □市実現の他 ●①事業計画時に ○②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市が推進すべきでは ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に	: り実効性が得られる より、良質で安定した 対策・施策の目標の	工夫の具体事業化する際は、市民との協同	で地区計画等を策定する。	□②市が主導でで □③市が先導及で □③市が先導及で 同の中でで □⑤サービスの5 □⑦その他 <その他の内容>	と 攻隼安 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ことで市民へ普及 原案の目標の実現に まされた 会基盤が確保された の具体的な内容( られる場合にはそ ちづくり事業がない	なが一層 貢献した - - 又は今後、 の内容)	市が実施  ○①当初  ○②当初  ○③当初  ○3当初  ○別特しが  ○②担定	参加・協 別期待した以上 別期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境 ことおりでなかった	働の程度・内 目由/期待以口 竟への配慮 た	<b>]</b> 容	●不要
・協働の工夫と (体制づくり)	市民との協働を か?	□その他 ○②自治体である (理由)□市が実法 □市が実法 □市がまま 実現の他 ○③管理のは ○③管理のは ○③管理のの共 ○⑤をの他 ○○の中の内容>	市が推進すべきでは ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に	: り実効性が得られる より、良質で安定した 対策・施策の目標の	工夫の具体事業化する際は、市民との協同	で地区計画等を策定する。	□②市が主導でで □③市が先導及で □③市が先導及で 同の中でで □⑤サービスの5 □⑦その他 <その他の内容>	と 攻隼安 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ことで市民へ普及 原案の目標の実現に まされた 会基盤が確保された の具体的な内容( られる場合にはそ ちづくり事業がない	なが一層 貢献した - - 又は今後、 の内容)	市が実施  ○①当初  ○②当初  ○③当初  ○3当初  ○別特しが  ○②担定	参加・協 別期待した以上 期期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境	働の程度・内 目由/期待以口 竟への配慮 た	<b>]</b> 容	●不要
・協働の工夫と (体制づくり)	市民との協働を か?	□その他 ○②自治体である(理由)□市がままに、□本のでは、サールの	市が推進すべきでは ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に	: り実効性が得られる より、良質で安定した 対策・施策の目標の	工夫の具体事業化する際は、市民との協同	で地区計画等を策定する。	□②市が主導でで □③市が先導及で □③市が先導及で 同の中でで □⑤サービスの5 □⑦その他 <その他の内容>	と 攻隼安 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ことで市民へ普及 原案の目標の実現に まされた 会基盤が確保された の具体的な内容( られる場合にはそ ちづくり事業がない	なが一層 貢献した - - 又は今後、 の内容)	市が実施  ○①当初  ○②当初  ○③当初  ○3当初  ○別特しが  ○②担定	参加・協 別期待した以上 別期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境 ことおりでなかった	働の程度・内 目由/期待以口 竟への配慮 た	<b>]</b> 容	●不要
・協働の工夫と (体制づくり)	市民との協働を か?	□その他 ○②自治「中本の主法」 □市がすべい。 □中の一である。 「理由) □市がまま、 □市がすがいい。 □では、「中本のでは、「中本	市が推進すべきでは ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に	: り実効性が得られる より、良質で安定した 対策・施策の目標の	工夫の具体事業化する際は、市民との協同	で地区計画等を策定する。	□②市が主導でで □③市が先導及で □③市が先導及で 同の中でで □⑤サービスの5 □⑦その他 <その他の内容>	と 攻隼安 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ことで市民へ普及 原案の目標の実現に まされた 会基盤が確保された の具体的な内容( られる場合にはそ ちづくり事業がない	なが一層 貢献した - - 又は今後、 の内容)	市が実施  ○①当初  ○②当初  ○③当初  ○3当初  ○別特しが  ○②担定	参加・協 別期待した以上 別期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境 ことおりでなかった	働の程度・内 目由/期待以口 竟への配慮 た	<b>]</b> 容	●不要
・協働の工夫と (体制づくり)	市民との協働を か?	□その他 ○②自治「中本の主法」 □市がすべい。 □中の一である。 「理由) □市がまま、 □市がすがいい。 □では、「中本のでは、「中本	市が推進すべきでは ・ でを ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に	: り実効性が得られる より、良質で安定した な策・施策の目標の なないる	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同 取組む	で地区計画等を策定する。	□②市が主導では □③市が先導化 促進すれた □④市のビススの □⑤サービスの □○7その他の内容> 実施した参加・協督 事業化を予定して	と 攻準好 c n h l l l l l l l l l l l l l l l l l l	ことで市民へ普及 原策の目標の実現に 戻された 会基盤が確保された の具体的な内容 られる場合にはそ ちづくり事業がない	まが一層 貢献した : 	市が実施  ○①当初を対  ○②当初を対  ○③当初を対  ○②担  ○②担  ○②担  ○②担  ○②担  ○②担  ○②担  ○②	参加・協 別期待した以上 別期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境 ことおりでなかった	働の程度・内 目由/期待以口 竟への配慮 た	<b>]</b> 容	●不要
・協動 市民の参加や市工夫しているか (体制づくり)	市民との協働を か? で事業を進めて	□その他 ○②自治体である: (理由) □市がままだ。□ □市がままだ。□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	市が推進すべきでは 連が進機することに 連が進機はすることに 操作・提供話さとにより政 参加・協働有り 市市民の参画有り 市市民の参画書りりている 配慮の視点 配している にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にして にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にして にして にして にして	・り実効性が得られるより、良質で安定した な策・施策の目標の な策・施策の目標の なないる  ・進める。  □①客観的なデー ■②現況値と比べ	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同 取組む 取組む タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない	で地区計画等を策定する。	□②市が主導では □③市が先導化 促進すれた □④市のビススの □⑤サービスの □○7その他の内容> 実施した参加・協督 事業化を予定して	と 放集女	ことで市民へ普及 原策の目標の実現に 戻された 会基盤が確保された の具体的な内容 られる場合にはそ ちづくり事業がない た具体的な内容	取は今後、 の内容) いためなし。 ●①目標値達成 ②②目標値未達成	市が実施  ○①当当初初初初	参加・協 別期待した以上 期期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境 さどおりでなかった原	働の程度・内型由/期待以下	<b>]</b> 容	● 不要
・協動の工夫 環境への配慮 環境への配慮	市民との協働を か? で事業を進めて	□その他 ○②自治体である(理由)□市がまま、サーボながに□をの他 ●①事業計画時に○②事業計画時に○②のである(理由)□市が支がに□その他 ○②事業を施置自共のでのである。 □①自然環境とき意はのであるでは、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一	市が推進すべきでは 連が進機することに 連が進機はすることに 操作・提供話さとにより政 参加・協働有り 市市民の参画有り 市市民の参画書りりている 配慮の視点 配している にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にして にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にしてい にして にして にして にして	はり実効性が得られるより、良質で安定した。 な策・施策の目標の な策・施策の目標の を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している	内容	□②市が主導では □③市が先導化 促進さ支援が 同・サービスの □○テービスの □○テービスの □○テービスの マその他の内容> 実施した参加 事業化を予定して	と 放集女	ことで市民へ普及 事業の目標の実現に 最された 会基盤が確保された の具体的な内容 られる場合にはそ ちづくり事業がない た具体的な内容	まが一層 貢献した : 	市が実施  ○①当初初初初  ○②当初初初初  ○□②出数  ○□②担定定  ○□②担定定  ○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	参加・協 別期待した以上 別期待したとおり の期待したとおり の期待以下 た以上となった理 ほどおりでなかった原 とどおりでなかった原	働の程度・内 自由/期待以下 竟への配慮 た	<b>]</b> 容	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 ■
・協動の工夫 環境への配慮 環境への配慮	市民との協働を か? で事業を進めて	□その他 ○②自治□市がまま。 □市がががい。□下では、「中のでは、「中のでは、「中のでは、「中のでは、「中のでは、」」では、「中のでは、	市が推進するとにとに 導・提供証ととは、 とは、 を動画を動画を動画を を動している。 をしている。 にしている。 にしている。 にしている。 には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	はり実効性が得られるより、良質で安定した。 な策・施策の目標の な策・施策の目標の を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同 取組む 取組む 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある	内容	□②市が主導では □③市が先導水が ・促進支援スポジーのサービスの地 ・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・	と 改集分 こ のがい 実 成	によって市民へ普及 原案の目標の実現に 最された 会基盤が確保された の具体的な内容 られる場合にはそ ちづくり事業がない た具体的な内容	▼ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	市が実施  ○①当当初初初初  ○②当当 しか  ○②担定と  ○②担定と  ○②担定と  ○②担定と  ○○②担定と  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協 期待した以上 別期待したとおり の期待したとなった理 ほどおりでなかった 話りでなかった 所 なとなったあった なとなったあった たい	働の程度・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・	7をあった原因>	● 不要
・協動の工夫 環境への配慮 環境への配慮	市民との協働を か? で事業を進めて	□その他 ○②自治体である(理由)□市がまま: □中のでは、	市が推進すべきでは 連が進機することに 連が進機なることに 地・提供証されにより政 参加・協働の内容 一市市氏の参画面有有り 市市氏の参と連施 配にのる している ししている しにして可能している はに貢献している はに貢献している はに貢献している。 はに貢献している。 はにする。 はにする。 はにする。 はにする。 はにする。 はいる。 はにする。 はとな。 はとな。 はとな。 はとな。 はとな。 はとな。 はとな。 はとな。 はとな。 はとな。 はとな。	はり実効性が得られるより、良質で安定した な策・施策の目標の な策・施策の目標の な策・施策の目標の はなる。 □②現況値と対応との対対ではといを対対では、の対対では、の対対では、の対対では、の対対では、の対対では、の対対では、の対対では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない。 まないる。大きないがから、比較対象例における。 実施予定の対策	で地区計画等を策定する。 内容 な目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用	□②市が主導では □③市が先導水と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と 牧集女 - いがし 実 成   施   施   と 牧集女 - いがこ	まことで市民へ普及 原策の目標の実現に 最された 会基盤が確保された の具体的な内容で られる場合にはそ ちづくり事業がない た具体的な内容 た関体的な内容 を を を を を を を を の の の の の の の の の の の の の	▼ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	市が実施  ○①当当初初初初	参加・協 期特したとより の期待したとおり で以上となった理 ほどおりでなかった原 なさわせがあった原 本されます。 本されまする。 本されまる。 本される。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。	働の程度・内型由/期待以下 ・大型の配慮 ・大型のの配慮 ・大型ののでは、対策をいる。	下であった原因>	● 不要
・協動の工夫 環境への配慮 (1)目標 設定には (1)目標 設定には が	市民との協働を か? で事業を進めて 適切か?	□ (中) 日本の (	市が推進すべきでは 連が進機することに 連が進機することに 地・提供証さとにより政 参加・協働の内容 市市市民の参画面有有り 市市民の参と連施 配にのる している してしてしまがしている はに貢献している はに貢献している はに貢献している はに貢献している。 はに貢献している。 はに貢献している。 はに貢献している。 はに「一本」を はに「一本」を はに「一本」を はに「一本」を は、「一本」と は、「一本」を は、「一本」を は、「一本」と は、 は、 は、 は、 は、 は、 は 、 は 、 は 、	はり実効性が得られるより、良質で安定した。 な策・施策の目標の な策・施策の目標の はないる。 ○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同  日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない ないがっさい値ではない ないがっさい値ではない を変活する場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 対応	で地区計画等を策定する。 内容 内容 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	□②市が主導では □③市が先導水に ・	と 牧集女 - いがし 実 成   施   施   と 牧集女 - いがこ	ことで市民へ普及 原策の目標の実現に 最も本た によされた 会基盤が確保された の具体的な内容で られる場合にはそ ちづくり事業がない た具体的な内容 た関体的な内容 である場合には である場合には である場合には である。 である。 である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	▼ (本)	市が実施  ○①当当初初初初	参加・協 期待した以上 別期待したとおり の期待したとおり の期待したとなった 環 は とどおりでなかった 誘 さどおりでなかった 原 なとなったあった 本 ま	働の程度・内型由/期待以下 ・大型の配慮 ・大型のの配慮 ・大型ののでは、対策をいる。	下であった原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要 B
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市民との協働を か? で事業を進めて 適切か?	□ その他  ○②自治 □ 市ができまた。   □ 市がががいい   □ 市実現の他  ●① 事業書でのは、   ●① 事業書でのは、   ○③ 市市民の他  ○② 市市民の他  ○② 市市の民の他  ○○ 市の民の他  ○○ 市の内容。   ○○ 市大のでは、   ○○ 市のでは、   ○○ ・	市が推進すべきでは 連・で進機をあるとことに 連・提供証さとにより政 参加・協働有有りの 市市市民の参を画画携 配にのる 配にいる。 にしているしているしているしている。 はに貢献している。 はに貢献している。 はに可能値(b)(件)	はり実効性が得られる。より、良質で安定した。 な策・施策の目標の なで、施策の目標の なで、施策の目標の など、表対では、表対では、表対では、表対では、表対では、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対では、表対での対で、表対では、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同  日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない かが小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 対応 □⑤PF	で地区計画等を策定する。 内容 内容 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	□②市が主導では □③市が先導水と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と 牧集女 - いがし 実 成   施   施   と 牧集女 - いがこ	まことで市民へ普及 原策の目標の実現に 最された 会基盤が確保された の具体的な内容で られる場合にはそ ちづくり事業がない た具体的な内容 た関体的な内容 を を を を を を を を の の の の の の の の の の の の の	▼ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	市が実施  ○①当当初初初初	参加・協 期特したとより の期待したとおり で以上となった理 ほどおりでなかった原 なさわせがあった原 本されます。 本されまする。 本されまる。 本される。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。 本もれる。	働の程度・内型由/期待以下 意への配慮 た 国国>	Pを であった原因> について かった	● 不要
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市民との協働を か? で事業を進めて 適切か?	□ その他  ○②自治 □ 市ができまた。   □ 市がががいい   □ 市実現の他  ●① 事業書でのは、   ●① 事業書でのは、   ○③ 市市民の他  ○② 市市民の他  ○② 市市の民の他  ○○ 市の民の他  ○○ 市の内容。   ○○ 市大のでは、   ○○ 市のでは、   ○○ ・	市が推進すべきでは 連が進機することに 連が進機することに 地・提供証さとにより政 参加・協働の内容 市市市民の参画面有有り 市市民の参と連施 配にのる している してしてしまがしている はに貢献している はに貢献している はに貢献している はに貢献している。 はに貢献している。 はに貢献している。 はに貢献している。 はに「一本」を はに「一本」を はに「一本」を はに「一本」を は、「一本」と は、「一本」を は、「一本」を は、「一本」と は、 は、 は、 は、 は、 は、 は 、 は 、 は 、	はり実効性が得られるより、良質で安定した。 な策・施策の目標の な策・施策の目標の な策・施策の目標の なでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同  日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない かが小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 対応 □⑤PF	で地区計画等を策定する。 内容 内容 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	□②市が主導では □③市が先導水が 促進された □③サービスの地 <その他の内容> 実施した参加 事業化を予定して 事業化を予定して 1、305	と 牧集女 - いがし 実 成   施   施   と 牧集女 - いがこ	ことで市民へ普及 原策の目標の実現に 最も本た によされた 会基盤が確保された の具体的な内容で られる場合にはそ ちづくり事業がない た具体的な内容 た関体的な内容 である場合には である場合には である場合には である。 である。 である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	▼ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	市が実施  ○①当当初初初初	した事業であるた 参加・協 期待した以上 別期待したとお 別の期待したとい た以上となった理 ほどおりでなかった ほとどおりでなかった あったた 事前の想 ○②事前の想	働の程度・内型由/期待以下 意への配慮 た 国国>	Pを であった原因> について かった	● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更更更更
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市民との協働を か? で事業を進めて 適切か?	□ その他  ○②自治 □ 市 から主演 サーボ かが で □ で から で で から で で で で で で で で で で で で で で	市が推進すべきでは 連・で進機をあるとことに 連・提供証さとにより政 参加・協働有有りの 市市市民の参を画画携 配にのる 配にいる。 にしているしているしているしている。 はに貢献している。 はに貢献している。 はに可能値(b)(件)	はり実効性が得られる。より、良質で安定した。 な策・施策の目標の なで、施策の目標の なで、施策の目標の など、表対では、表対では、表対では、表対では、表対では、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対では、表対での対で、表対では、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同  日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない かが小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 対応 □⑤PF	で地区計画等を策定する。 内容 内容 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	□②市が主導では □③市が先導水が 促進された □③サービスの地 <その他の内容> 実施した参加 事業化を予定して 事業化を予定して 1、305	と 牧集女 - いがし 実 成   施   施   と 牧集女 - いがこ	ことで市民へ普及 原策の目標の実現に 最も本た によされた 会基盤が確保された の具体的な内容で られる場合にはそ ちづくり事業がない た具体的な内容 た関体的な内容 である場合には である場合には である場合には である。 である。 である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	▼ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	市が実施  ○①当当初初初初	した事業であるた 参加・協 期待した以上 別期待したとお 別の期待したとい た以上となった理 ほどおりでなかった ほとどおりでなかった あったた 事前の想 ○②事前の想	働の程度・内型由/期待以下 意への配慮 た 国国>	Pを であった原因> について かった	● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更更更更
・協働の工夫 環境への配慮 環境への配慮 (1)目標 要なか 変 性 (2)事いるかか 変 性	市民との協働をか? で事業を進めて 適切か?	□ その他 ○②自治 □ 市ができまい □ 下 を で を で を で で で で で で で で で で で で で で	市が推進すべきによりでは 連が進機することに 連が進機することに 地・提供証されにより政 参加・協働の内容 市市市民の参画面有りり 市市民の参き連直携 配にのるましているましたしているましたしているまたしているまたでは、 には、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	はり実効性が得られる。より、良質で安定した。 な策・施策の目標の なで、施策の目標の なで、施策の目標の など、表対では、表対では、表対では、表対では、表対では、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対での対で、表対では、表対での対で、表対では、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で、表対で	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同  日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない かが小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 対応 □⑤PF	で地区計画等を策定する。 内容 る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担	□②市が主導では ・	と 牧集女 - いがし 実 成   施   施   と 牧集女 - いがこ	によって市民へ普及 ・ で市民へ等級 ・ で 市民へ等の ・ で で 市民へ等の ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	なが一層 ・	市が実施  ○①当当 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	した事業であるた 参加・協 期待した以上 別期待したとお 別の期待したとい た以上となった理 ほどおりでなかった ほとどおりでなかった あったた 事前の想 ○②事前の想	働の程度・内間 を ・内間 を	容    下であった原因>   について   かった   った原因>	●
・協働の T夫 環境への配慮 (1) 目標と 環ル・なか (2) 事い (3) 事い (3) 日標に (3) 日報に (4) 日報に (4) 日報に (4) 日報に (5) 日	市民との協働をか? で事業を進めて 適切か? の工夫をして 現費は適正か?	□ その他 ○②自治 □ 市から主演 サーボ かった できる (理由) □ 市が が できまず サーボ が が □ できます できます できます できます できます できます できます できます	京市が推進すべきによりでは、	: り実効 良質で は で が で で で で で で で で で で で で で で で で	エ夫の具体 事業化する際は、市民との協同  日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤受益 削減策の実施 □⑦その・ 計算方注  ●①単年度の指標:目標値×費用	で地区計画等を策定する。 内容  内容  る目標値(と現況値の差)と  I 等民間資本の活用  着負担  他  去 単位/事業費	□②市が主導では ・	と 改集女 こ 「がい」 実 成 施	まことで市民へ普及 語彙の目標の実現に 最高なれた の具体的な保された の具体的な内容 でもするではます。 た具体的な内容 た具体的な内容 たり事業がない たりののではます。 たりののではます。 たりののではます。 たりのののではます。 ではまする。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではななる。 ではなる。	型が一層 でである。 では今後、の内容) の力容) のうつ。 のうっ。 のうつ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のう。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のうっ。 のう。 のうっ。 のう。 のう。 のう。 のう。 のう。 のう。 のう。 のう	市が実施  ○①当当 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	した事業であるた 参加・協 期待したと下 に以上となった理 であるた に以上となった理 をとどおりでなかった原 のがあ のの②事前前の へた 悪想想 ●①②事 お想 ●②②事 おおり	働の程度・内間 を ・内間 を	容    下であった原因>   について   かった   った原因>	●
・協働の工夫 環境への配慮 環境への配慮 (1)目標 要当 の配 (2)事い (2)事 には (3)目標 値を実実	市民との協働をか? で事業を進めて 適切か? の工夫をして 現費は適正か?	□ その他 ○②自治 □ 市ができまい □ 下 を で を で を で で で で で で で で で で で で で で	京市が推進すべきによりでは、	: り実効 良質で は で が で で で で で で で で で で で で で で で で	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同  財組む  日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない かかいさい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 削減策の実施 □⑦その	で地区計画等を策定する。 内容  内容  る目標値(と現況値の差)と  I 等民間資本の活用  着負担  他  去 単位/事業費	□②市がき事では ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と 改集女 こ 「がい」 実 成 施	まことで市民へ普及 原案の目標の実現に 最高策の目標の実現に 最高策の目標の実現に 最高策の目標の実現に 最高では、 の具体的な内容で もちづくり事業がない た具体的な内容 たり事業がない たりまでは、 たりまでは、 たりまでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	なが一層 ・	市が実施  ○①当当 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	した事業であるた 参加・協 期待したと下 に以上となった理 であるた に以上となった理 をとどおりでなかった原 のがあ のの②事前前の へた 悪想想 ●①②事 お想 ●②②事 おおり	働の程度・内間 を ・内間 を	容    下であった原因>   について   かった   った原因>	● 不 要 要
・協働の T夫 環境への配慮 (1) 目標と 環ル・なか (2) 事い (3) 事い (3) 日標に (3) 日報に (4) 日報に (4) 日報に (4) 日報に (5) 日	市民との協働をか? で事業を進めて 適切か? の工夫をして 現費は適正か?	□ その他 ○②自治 □ 市から主演 サーボ かった できる (理由) □ 市が が できまず サーボ が が □ できます できます できます できます できます できます できます できます	高市が推進すべきによる。 連応・提供証さととに 連応・提供証さとにより政 参加・協働有有りのを参画画携している。 を配けるのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	: り実効 と は は が 得 の	エ夫の具体 事業化する際は、市民との協同  日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤受益 削減策の実施 □⑦その・ 計算方注  ●①単年度の指標:目標値×費用	で地区計画等を策定する。 内容  内容  る目標値(と現況値の差)と  I 等民間資本の活用  着負担  他  去 単位/事業費	□②市がきった。 □③市がきゅうに □③市がきゅうに □④市がきゅうに □④ホービンの地 □⑤サービの   マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と 改集女 こ 「がい」 実 成 施	ことで市民へ普及 原策の目標の実現に 最大された の具体的な内容 の具体的な内容 たり事業がない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない にはない たりまない にはない たりまない にはない たりまない にはな にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはな	なが一層 ・	市が実施  ○①当当 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	した事業であるた 参加・協 期待したと下 に以上となった理 であるた に以上となった理 をとどおりでなかった原 のがあ のの②事前前の へた 悪想想 ●①②事 お想 ●②②事 おり	働の程度・内間 を ・内間 を	容    下であった原因>   について   かった   った原因>	●
・協動のII夫 環境(の配慮	市民との協働をか? で事業を進めて 適切か? の工夫をして 現費は適正か?	□ その他 ○②自治 □ 市 か を を で か る を で か る を で か る を で か る を で か で か か で か で か で か で か で か で か で か	高市が推進すべきによる。 連応・提供証さととに 連応・提供証さとにより政 参加・協働有有りのを参画画携している。 を配けるのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	: り実効良質の目標の は : りま物良質で安定した	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではないが小さい値ではないがからる場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥ 受益・削減策の実施 □⑦ その・ 計算方  ●① 単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値−3	で地区計画等を策定する。 内容  内容  る目標値(と現況値の差)と  I 等民間資本の活用  着負担  他  去 単位/事業費	□②市がきった。 □③市がきゅうに □③市がきゅうに □④市がきゅうに □④ホービンの地 □⑤サービの   マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と 改集女 こ 「がい」 実 成 施	ことで市民へ普及 原策の目標の実現に 最大された の具体的な内容 の具体的な内容 たり事業がない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない にはない たりまない にはない たりまない にはない たりまない にはな にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはな	なが一層 ・	市が実施  ○①当当 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	した事業であるた 参加・協 期待したと下 に以上となった理 であるた に以上となった理 をとどおりでなかった原 のがあ のの②事前前の へた 悪想想 ●①②事 お想 ●②②事 おり	働の程度・内間 を ・内間 を	容    下であった原因>   について   かった   った原因>	●
・	市民との協働をか?  で事業を進めて  適切か?  の工夫をして  現費は適正か?	□ その他 ○②自治体である(理由) □ 市ができまい □ 下 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	京市が推進すべきにより政策を持ち、大学には、大学により、では、大学には、大学により、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には	: り実効性が得られる: より、良質で安定した (策・施策の目標の (東京 ) は、 (東京	工夫の具体 事業化する際は、市民との協同 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではないが小さい値ではないがからる場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥ 受益・削減策の実施 □⑦ その・ 計算方  ●① 単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値−3	で地区計画等を策定する。 内容  内容  「特民間資本の活用者負担  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は	□②市がきった。 □③市がきゅうに □③市がきゅうに □④市がきゅうに □④ホービンの地 □⑤サービの   マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と 改集女 こ 「がい」 実 成 施	ことで市民へ普及 原策の目標の実現に 最大された の具体的な内容 の具体的な内容 たり事業がない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない たりまない にはない たりまない にはない たりまない にはない たりまない にはな にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはな	をが一層 ・	市が実施  ○①当当 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	した事業であるため	働の程度・内間 を ・内間 を	容    下であった原因>   について   かった   った原因>	●

様式第3号 ──────						争務争	<b>美評価</b>	<b>長(令和</b>	2年度	ξ)							
事業コード	2253			課コード		0705		会計種別	一般	会計			予算	の種類	■政策	□経常	□なし
1. 事業の概要(PLAN)																	
	①事業名	基本事業								計画への	0	)有 ●無		②部課名	都市部・市	街地整備課	
	③事業主体	個別事業	宅地耐震⁴	比推進事業 <sub>地(</sub>					(4)対象	Z置づけ  : 地区	□我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市	
(4) the alle low to	⑤事業期間	U 112	0 (0)		2年度 ~				_	職員数			4 人	(換算人数	- Tiple	0.35 人)	
(1)事業概要	⑦事業費	総事業費			0 千円				当該(	(開始)年度	(当 初)		13,708 千円	(うち人件費		3,045 千円)	
	(人件費含む)						Ι				(変更後)		12,603 千円	(うち人件費		3,045 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策 コード		70101		点プロジェクト への位置づけ	1	重点3		計画地区別 ・の位置づけ	C	)有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
(2) E 65	施策目的・			するため、防災訓練						**日仇				皮害を軽減するため ま等なび対策である		間査を行い住民へ	の情報提供等
(2)目的	展開方向	災意識向上	を図りまっ	もに、自主防災組約 す。また、避難行動						業目的				定等及び対策工事等		letter end of	
			(クリーニ	ング(大規模盛土社	造成地マップの作	■成、宅地カルテ(	の作成)を国が	実施し、大規模						−ニング結果をもと 計画及び宅地カルラ			Y查、優先度評
(3)事業内容	内 容	するための ・第二次ス おそれのあ ・第二次ス	(クリーニ) 第二次スペクリーニ (クリーニ) (クリーニ)	ングにより抽出され クリーニング計画 ング計画に基づき、 盚土造成地を抽出す ングより滑動崩落の	(基礎資料の整理 . 第二次スクリー する。 のおそれのあると	E、現地踏査、優 f -ニング(地盤調: : 評価した大規模!	先度評価)を作 査、安定計算)	成する。 を行い、滑動崩	ング 執 答の 当	該年度 行計画 該年度 該年度 接果指標	第二次スクリ	ーニング計画ス	ひび宅地カルテの	の作成の達成率	単位	想定值 実績値	
(4)達成目標(期待する成果)		の他の影響	撃を判断し、	<u>必要な際には防ジャルの</u> 達成日料	<u>災区域の指定等を</u> 票(期待する成果)					標種類			指標		単位	1	(6)目標値
当該年度	第二次スクリーニ	ング計画及び	『宅地カル							直接	第二次スクリ	ーニング計画及	ひ宅地カルテの	の作成の達成率	%	0	
	第二次スクリーニ				第二次スクリーニ	ング(地盤調査	、安定計算)を	行い、滑動崩落の	のお	 直接	第二次スクリ	ーニング調査率	区(調査件数/抽	出件数)	%		1
	それがある大規模 第二次スクリーニ	ング計画に基	まづき、優:	先度の高い所から	第二次スクリーニ	ニング(地盤調査	、安定計算)を	行い、滑動崩落	のお	直接	第二次スクリ	ーニング調査率	区 (調査件数/抽	出件数)	%		2
	それがある大規模 第二次スクリーニ				二次スクリーニン	vグのためには原 <sup>v</sup>	位置地盤調査が	必要となる。こ									
(7)事業実施上の課題と対応	の作業及びそれ以	外においても	、説明会	等で住民の理解と	協力を求めること	:が不可欠となり	、住民への丁寧	な対応が必要と	なる 代稿	替案検討		O有 ●無					
		平成31	年度				令和 2年度				令	和 3年度			令和	日 4年度	
	政策	内 容		金額(千円)	政策	内 容	1	算額(千円) 決		策:	内		金額(千円	策:	内 容	1	金額(千円)
						リーニング計画作 リーニングの情報		9, 558	9, 558	*:第二次	スクリーニング	計画の精査		*: 第二次スク		D情報提供	10, 00
実施内容 (8) 施行事項 費 用					*:第二次スク	リーニング計画の	情報提供										
予算(決算)額		음 計	0.0/	0		슴 計	FO 0/	9, 558	9, 558		合 計			0 ++++	合 計	0.0/	10, 00
国庫支出金 県支出金	補助率補助率		0 %	0	補助率		50 % 0 %	4, 778 0	4, 778 0	補助率		0 % 0 %		0 補助率 0 補助率		0 % 0 %	
(9) 財源内訳 起債 一般財源	充当率		0 %	0	充当率		0 %	0 4, 780	4, 780	充当率		0 %		0 充当率		0 %	10, 00
その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受	益 口基金 口	]その他	0		]受益 □基金 □-	その他	0 0.35	0, 35		会 口受益 口基:	金 □その他	0		□受益 □基金	〕□その他	0. 3!
(10) 人				0				3, 045	3, 045				3, (	)45			3, 04
嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				0				0	0					0			(
事業費(予算(決算)額+正職員人件費 (11)単位費用	()	0千円/	· • •	0		126.03千円	2 / 0%	12, 603	12, 603 126, 03				3, (	045			13, 045
(事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価(D0+CHEC	K)	91137				120.0011	, , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , </u>		120.00								
評価項目				車が							車	· /邢 / 郭/邢 終	甲に広じ 改善:		2) )		改善検討
n im A t	近年、地震による	宅地被害が多	多発したこ			セマップの公表や	安全性の調査を	推進している	●①事前確	認での想定		M (81  M402	KIC/60 OT 40 B	* (MA)C O E C			<b>VE1XII</b>
(1)事業が今必要である理由				弱な可能性が高く、 令和2年度までに			すべての盛土造	成地の造成年	〇②事前確	認での想定	どおりでなかっ	た					〇要
背景は?(事業の必要性)											自/想定どおりで きの想定及び大も			推進ガイドライン	等による		●不要
	●①民間企業、N		団体笙では	宇体できない	<その他の内						、市民団体等で			施の具体的な内容・		h \	
必	(理由) ■法令等	で市が実施す	しることが		( ( の 個 の ) 対	4			□②市が主	導で進めな	ければ実効性が	なかった	宅地造	或等規制法第4章0	D規定及び大規		)滑動
要	□提供主	体が市しかな	, L						促進さ	れた	たことで市民へ		朋洛刈!	策推進ガイドライン	ノ寺による。		
性 (2) 市が実施する必要性は あるか?	〇②自治体である	る市が推進す	べきである	)	<その他の内	容>				援が政策・ ス水準が確	施策の目標の実 保された	現に貢献した					〇要
(市実施の必要性)	(理由) 口市が主			実効性が得られる り、良質で安定した。	<i>t-</i>				□⑥サービ □⑦その他		給基盤が確保さ	れた					●不要
	サービ	スが保証され	ıる	<ul><li>・施策の目標の</li></ul>					<その他の								
	実現が	図られる	-67以來	旭米の日帰の													
	□その他	参加・協作	動の内容			工夫の具体	的な内容				動の具体的な内容			参加・協	・ 内銀 の程度・ 内	]容	
*	〇①事業計画時に	こ市民の参画	有り						<u>参加</u> 該当なし	・励働か考え	えられる場合に	はての内容)		初期待した以上			
参   加   ・   市民の参加や市民との協働を	○②事業実施時に ○③管理・運営に	た市民の参画	有り											i初期待したとおり i初の期待以下			
協してナレマいてもの	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で	りな活動と連	携している											した以上となった理	里由/期待以 <sup>-</sup>	下であった原因>	O要 ●不要
加  工夫しているか?   (体制づくり)   工夫	●⑥その他																
^	<その他の内容> 対象なし						_										
		配慮の	カー			取組む	中家			physic :	した具体的な内!	<b>☆</b>			境への配慮		
	□①自然環境を生	上かしている				4X組む	ਾ ਸਦੀ		該当なし	夫肔	した 六 仲 印 仏 内	H		定どおり			
環 境   環境に配慮して事業を進めて	□②生き物と共存 □③手賀沼を意識												O28	定どおりでなかっ	<i>t</i> =		
<sup>児</sup> 環境に配慮して事業を進めて への いるか? 配 慮	□ ④ 環境負荷低派 ■ ⑤ その他		いる										<想定	どおりでなかった原	(因)	_	 〇 要 ● 不要
虚	<その他の内容>																
	対象なし																
	現況値(a)(%)	目標値(b	b) (%)		目標値の	)妥当性のチェッ	ク			達成状況	!	●①目標値					
(1) 日播歌中は落垣より				■①客観的なデー □②租湿値と比べ	タ・事実に基づ	き設定している			実績値(f)	(%)	達成率(%)	〇②目標値					
(1)目標設定は適切か?	0	100	)	□②現況値と比べ □③現況値との差	が小さい値では	ない	7.00	· · · · · · · · · · · · · · · · ·			(f/b×100)		成した理由/未返 そ行ったため。	達成となった原因>		_	—— ○要 ●不要
				□④適当な比較対 同等の水準で		比較対象例におけ 	る目標値(と現)	況値の差)と	100		100						
	対策実施によ					施予定の対策	* Mr 🗆 == **	A.B.		実施状況		<ul><li>○①想定事</li><li>●②概ね想</li></ul>	業費未満 定事業費以内		費の削減対策	について	
効	事業費(c)(千円)	事業費削減	3)	■①国・県助成制 □②現有体制での	対応	口⑥受益		/ 占用	実績値(g)(		対事業費(%) (g/c)×100	〇③想定事		●①事前の想 ○②事前の想		かった	
率 (2)事業費削減の工夫をして いるか?	12, 603			□③維持管理費の □④民間委託	削減策の実施	□⑦その	他		12, 603		100			<想定どおり肖	削減できなかっ	った原因>	O要
性	事業費肖	削減率(%)		<削減の内容> 通常、国費率 1 / 3	 3 のところ、令和	 12年度までは国	豊率 1 / 2 に嵩.	上げ	<超過理由	等>							●不要
		_					. – 144										
		日播炸工士	坐掛 /->			السمام الت	:±			****		O①目標値	UF 7/5	── 目標値以上となった	理由ノ日増は	1以下でなった店	因>
(3)目標値を実現する為に		目標値対事業	業費(e) 単位			計算方 票:目標値×費用	単位/事業費		<b>⇔</b> 4±1± 1	達成状況	! 対目標値(%)	●②目標値	と同程度		・全四/ 日標値	ェベ ι ∈めつに原	·因> O要
投じる事業費は適正か? (目標対費用)	7. 93		単位 %			指標:(目標値-5		i位/事業費	実績値(	n)	(h/e) × 100	○③目標値	以 ト				●不要
			70	ועטאוו					7. 93		100						
3. 事後評価	C link :	O4+ ^	0# 1	Orbid	) 古来ティロー	077	古来中国 5 1 1 1 1										
●現状どおり推進 ○拡充		〇結合	〇休止 評価コ.	メント	)事業手法見直し	しその他(	事業完了など)					少	善策及び展開方	向			
評 本事業は、法令に基づく必要	不可欠なものである	ため、今後も	も現状どお	り推進していく。												_	_
価																	